

シラバス

リハビリテーション学科

作業療法専攻

◎ リハビリテーション学科 作業療法専攻

◆ 総合教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ	
教養教育科目	人間と科学	生物学	1年次前学期	辻 圭一	28
		情報リテラシー	1年次後学期	福岡大輔	30
		物理学	1年次前学期	中村 琢	32
		化学	1年次前学期	武藤吉徳	34
		人間工学	1年次前学期	山田宏尚	36
		環境と人間	1年次後学期	大藪千穂	38
		人間と社会	社会学	1年次前学期	伊原亮司
	人間関係論		1年次前学期	益川優子	42
	ボランティア論		1年次前学期	後藤誠一	44
	哲学		1年次後学期	竹内章郎	46
	教育学		1年次後学期	益川浩一	48
	心理学		1年次後学期	益川優子	50
	生命倫理学		3年次前学期	谷口泰弘	52
	基礎教育科目	コミュニケーション	基礎演習	1年次前学期	加藤清人、世良龍哉
文章表現法			1年次前学期	田口正芳	56
コミュニケーション学			1年次後学期	早川佳穂、藤崎和彦	58
外国語		英語Ⅰ(教養英語)	1年次前学期	林 久人	60
		英語Ⅱ(日常英会話)C	1年次後学期	林 久人	62
		英語Ⅲ(専門英語)	1年次後学期	ミルボド・セイエド・モハマド	64
		ドイツ語	1年次後学期	安藤彰浩	66
		中国語	1年次後学期	東 華岳	68

◎ リハビリテーション学科 作業療法専攻

◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ
専門基礎科目	人体の構造	解剖学Ⅰ(骨・筋肉系)	1年次前学期 東 華岳	70
		解剖学Ⅱ(内臓系)	1年次前学期 東 華岳	72
		解剖学Ⅲ(神経系)	1年次後学期 堀 信宏、東華岳、大場かおり、藤橋雄一郎	74
		解剖学演習(体表解剖 骨)	1年次前学期 浅野莉沙	76
		解剖学演習(体表解剖 筋)	1年次後学期 浅野莉沙	78
	人体の機能	生理学Ⅰ(動物的機能)	1年次前学期 石田裕保	80
		生理学Ⅱ(植物的機能)	1年次後学期 佐竹裕孝	82
		生理学演習	1年次後学期 竹中孝博、加藤清人	84
		運動学総論	1年次前学期 堀 信宏	86
		運動学各論	1年次後学期 曾田直樹	88
		運動学演習	2年次前学期 加藤清人、竹中孝博	90
	心身の発達	人間発達学	1年次前学期 大森周太郎	92
	疾病の成り立ち	病理学概論	1年次後学期 武内康雄、林 将大	94
		内科学	2年次前学期 武内康雄、平野智久、山本眞由美、高田信幸、多田晃司、古田弥生	96
		整形外科学	2年次前学期 西本 裕	98
		神経内科学	2年次前学期 木村暁夫、下畑享良、山田恵、吉倉延亮、下郷雅也、竹腰頭、大野陽哉、山原直紀	100
		精神医学	1年次後学期 宮地幸雄	102
		小児科学	2年次前学期 松井永子、堀田 亮	104
	障害の成り立ち	リハビリテーション医学	1年次後学期 西本 裕	106
		老年医学	1年次後学期 武内康雄	108
	回復過程の促進	公衆衛生学	1年次後学期 岸田敏彦	110
		画像診断学	3年次後学期 竹中孝博、加藤清人、永井貴士、古桧山建吾	112
		リハビリテーション栄養学	1年次前学期 久保和弘	114
		薬理学	2年次前学期 大塚智裕	116
		医療安全管理論	1年次後学期 三品弘司、出口睦雄、林 宗典、三輪陽子	118
	保健・医療・福祉の連携	保健医療論	1年次前学期 加藤清人	120
社会福祉学		1年次後学期 竹内章郎	122	
数理・データサイエンス		2年次前学期 古桧山建吾、福岡大輔	124	
多職種連携演習(IPE)		2年次後学期 世良龍哉、加藤清人、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古桧山建吾	126	

◎ リハビリテーション学科 作業療法専攻

◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ	
基礎作業療法学	作業療法総論	1年次前学期	永井貴士	128	
	基礎作業療法学	1年次前学期	坂田崇好、建石光貴	130	
	基礎作業療法学実習	1年次前学期	世良龍哉、石田啓子	132	
	作業療法研究方法論 ※	2年次前学期	古松山建吾、福岡大輔	134	
	作業療法研究方法論	2年次前学期	古松山建吾	136	
	卒業研究	3年次前学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	138	
作業療法管理学	作業療法管理学Ⅰ	3年次前学期	古松山建吾、加藤清人	140	
	作業療法管理学Ⅱ	3年次後学期	古松山建吾、竹田徳則	142	
作業療法評価学	作業療法評価学概論	1年次後学期	世良龍哉、永井貴士	144	
	作業療法評価学Ⅰ(身体機能)	2年次前学期	竹中孝博、永井貴士、川本徹、杉原拓也	146	
	作業療法評価学Ⅱ(精神・認知・医用画像)	2年次前学期	古松山建吾、立川真也、中嶋淳士	148	
	作業療法評価学演習Ⅰ(身体機能)	2年次前学期	竹中孝博、永井貴士、川本徹、杉原拓也	150	
	作業療法評価学演習Ⅱ(精神・認知・医用画像)	2年次前学期	古松山建吾、世良龍哉、立川真也、中嶋淳士、石原魁介	152	
作業治療学	作業療法治療技術理論	1年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	154	
	認知症予防論	2年次前学期	加藤清人	156	
	ニューロリハビリテーション論	2年次前学期	古松山建吾	158	
	精神障害治療論	2年次前学期	世良龍哉	160	
	作業行動理論	2年次前学期	永井貴士	162	
	整形外科系障害治療論	2年次前学期	竹中孝博	164	
	日常生活・環境アセスメント論	2年次前学期	浅野莉沙	166	
	老年期障害学	2年次前学期	加藤清人	168	
	中枢神経障害学	2年次後学期	立川真也、酒井四季子	170	
	整形外科系障害学	2年次後学期	竹中孝博、川本 徹	172	
	内部機能障害学	2年次後学期	長谷部武久、寺本佳津明、坂田崇好	174	
	高次脳機能障害学	2年次後学期	古松山建吾、酒井四季子	176	
	義肢装具学	2年次前学期	竹中孝博	178	
	精神障害学Ⅰ(総論)	2年次前学期	世良龍哉、堀 義治	180	
	精神障害学Ⅱ(各論)	2年次後学期	世良龍哉、片桐正博	182	
	発達機能障害学Ⅰ(総論)	2年次前学期	立岩慧士、野川淳平、久納健太、代田英里奈	184	
	発達機能障害学Ⅱ(各論)	2年次後学期	立岩慧士、野川淳平、久納健太、代田英里奈	186	
	日常生活活動学	2年次前学期	佐藤篤史	188	
	生活技術学演習	2年次前学期	浅野莉沙	190	
	応用生活技術学演習	2年次後学期	佐藤篤史	192	
	作業療法特論Ⅰ(含喀痰等吸引)	3年次前学期	永井貴士、古田弥生、萩野勝也	194	
	作業療法特論Ⅱ	3年次後学期	加藤清人、永井貴士、古松山建吾	196	
	作業療法学総合演習Ⅰ(基礎)	3年次前学期	加藤清人、世良龍哉、早矢仕充寿	198	
	作業療法学総合演習Ⅱ(専門)	3年次後学期	世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、川本 徹、石井文康	200	
	地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ(制度・支援・連携)	2年次前学期	永井貴士、加藤清人	202
		地域作業療法学Ⅱ(実践・就労支援)	3年次前学期	加藤清人、永井貴士、竹田徳則、塩崎章嘉	204
生活環境・福祉機器学		2年次後学期	浅野莉沙、鈴木愁季	206	
臨床実習	臨床実習Ⅰ(基礎)	1年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	208	
	通所／訪問リハ実習	2年次前学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	210	
	通所／訪問リハ実習セミナー	2年次前学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	212	
	評価実習前セミナー	2年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	214	
	臨床実習Ⅱ(評価)	2年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	216	
	作業療法総合セミナーⅠ(評価)	2年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	218	
	臨床実習Ⅲ(総合前期)	3年次前学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	220	
	作業療法総合セミナーⅡ(評価と介入①)	3年次前学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	222	
	臨床実習Ⅳ(総合後期)	3年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	224	
	作業療法総合セミナーⅢ(評価と介入②)	3年次後学期	加藤清人、世良龍哉、永井貴士、竹中孝博、浅野莉沙、古松山建吾	226	

※2025年度までの入学生対象

授業科目名		担当教員				
生物学		辻 圭一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LHC101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		辻圭一(理学療法士)				
授業概要						
本講義はヒトが生きるために必要な生命活動について学びます。そして、生物の基本構造である「細胞」の理解をもとに、遺伝、発生、生命の進化と多様性などについて学び「生命」とは何かを考えます。生物学で得た知識と理解が、将来、医療に携わるために修めなければなりません。特に解剖学と生理学の学習にとって直接関係のある事象が多く出て来ますので、その部分については特に理解を深めてください。						
学修の到達目標						
① ヒトの生命活動について説明できる。 ② 細胞の構造と働きについて説明できる。 ③ 生物の発生について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ヒトの体とエネルギーについて	①	辻	講義	教科書の「はじめに」「1章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
2	糖の種類と性質、糖からエネルギーを得るしくみ	①	辻	講義	教科書の「2章、3章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
3	脂質の構造と性質、輸送と代謝	①	辻	講義	教科書の「4章、5章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
4	ビタミンとミネラルのはたらき	①	辻	講義	教科書の「6章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
5	細胞の構造と機能	①	辻	講義	教科書の「7章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
6	DNAの構造とはたらき	①	辻	講義	教科書の「8章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
7	DNAからタンパク質へ	②	辻	講義	教科書の「9章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
8	タンパク質のはたらき	②	辻	講義	教科書の「10章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
9	細胞内外の情報伝達	②	辻	講義	教科書の「11章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	細胞分裂のしくみと制御	②	辻	講義	教科書の「12章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
11	発生と分化	②	辻	講義	教科書の「13章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
12	細胞のストレス応答機構	③	辻	講義	教科書の「14章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
13	免疫システムのしくみ	③	辻	講義	教科書の「15章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
14	ES細胞とiPS細胞、再生医療の現在と未来	③	辻	講義	教科書の「16章、17章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
15	アポトーシスと老化	③	辻	講義	教科書の「18章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
中間テスト(40%)、期末試験(60%)						
使用教科書						
大学で学ぶ 身近な生物学(第2版) / 吉村成弘.--羊土社, 2025年, 978-4-7581-2183-5						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験の出題内容は適宜お伝えします。そのため、不要な欠席はしないようにしましょう。					
実務経験をいかした教育内容	ヒトが病気になったり、回復するメカニズムの基礎をお話します。					
備考						

授業科目名		担当教員				
情報リテラシー		福岡大輔				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	LHC205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となる情報技術とデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識を獲得することを授業のねらいとしています。 デジタル社会の基礎的な素養としての初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する。						
学修の到達目標						
①データ表現やセキュリティ・情報倫理などコンピューターリテラシーについて説明できる。 ②情報技術にデータ分析能力の基礎となるやデータ可視化や統計処理などデータサイエンスについて説明できる。 ③人工知能(AI)のしくみを理解し、その利用にあたって留意事項を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	情報技術基礎(数と表現, コンピュータのしくみ)【4-3】	①	福岡	講義	高校情報の復習を行うこと(120分)	授業内容を復習する(120分)
2	社会で起きている変化, データと活用領域【1-1, 1-2, 1-3】	①	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
3	統計分析(表計算ソフトの利用)【2-1, 2-2】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	講義内容を復習し演習課題を行う(120分)
4	データ集計とデータ可視化(表計算ソフトの利用)【2-2, 2-3】	② ③	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	演習課題を行う(120分)
5	データ・AI活用のための技術(予測とシミュレーション)【1-4】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	講義内容を復習し授業内容を復習する(120分)
6	情報倫理とセキュリティ【3-1, 3-2】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
7	医療におけるデータ・AI利活用【1-5, 3-2】	② ③	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
8	AIのしくみと利活用と留意事項, データサイエンスの社会応用【1-6, 3-1】	② ③	福岡	講義	人工知能の仕組みについて事前調査を行う(120分)	専門用語の意味を説明できるようにまとめる(120分)
9	レポート					

評価基準・評価方法	
<p>評価基準は、知識理解、思考判断、授業への関わり方を総合して評価する。 評価方法は、レポート（50%）、平常点（小テスト30%、授業への関わり方20%）</p>	
使用教科書	
<p>データサイエンス入門 / 竹村彰通・姫野哲人・高田聖治 編。—学術図書出版社，978-4-7806-0729-1</p>	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポートのコメントや評価をを返却しフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	
備考	教員からの連絡・指示・相談はgoogle classroomを利用して行う。

授業科目名		担当教員				
物理学		中村 琢				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この授業は物理学の様々な分野について短期間で概観的に学習するものである。特に看護やリハビリテーションなど医療・看護の職に就く際には物理学の知識は必須であり、本授業では現場で働く際に役に立つ物理学の法則、原則についても扱う。後半では放射線の性質を扱い、実習を含める。授業の形態は情報伝達でなく、簡単なグループワークなど、学習者の主体的な学び(アクティブラーニング)を取り入れる。高等学校で物理を履修していない学習者も本科目を履修できる。						
学修の到達目標						
①物理学の学習内容について理解し表現できる。 ②学習した内容を活用して計算し、思考し、探究に活かすことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物理学の基礎知識 第1回と第2回はパワーポイントで説明します。	①	中村	講義	シラバスと教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
2	自然界の階層性	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
3	力学の基礎	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
4	速さと速度、加速度、等速直線運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
5	等加速度運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
6	力と等加速度運動・ニュートンの三法則	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
7	波動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
8	波の表し方	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
9	光と音	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	電気と磁気	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
11	電流と電圧	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
12	原子と原子核	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
13	放射線の特徴と性質	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
14	放射性崩壊	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
15	放射線被ばく防護	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
知識・理解、思考・判断・表現、技能、関心・意欲・態度の観点を総合的に判断する。 定期試験（50%）、時間内レポート・課題（30%）、授業参加態度（20%）						
使用教科書						
ここからスタート物理学 / 為近和彦、裳華房、2018年、978-4-785322649 必ずしも教科書に沿って扱うわけではありません。学習者の実態に応じ授業中で使い方を説明します。						
参考図書						
自然科学の基礎としての物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 2014年, 体系看護学 基礎科目 物理学, 平田雅子, メヂカルフレンド社, 2006年						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験についての内容や勉強法については授業中に詳しく説明します。レポート課題を出す前に、評価指標について詳しく説明します。					
実務経験をいかした教育内容	担当教員は高等学校で理科・数学の指導歴を有し、また、大学において教員養成の10年以上の授業実践歴、現職教員の研修で講師を務めるなどの職歴がある。これらの実務経験を活かして、本授業においては、知識の伝達ではなく学習者の主体的な学びを促進させる学習法を取り入れている。					
備考	1. オフィスアワー：講義終了後20分程度。電子メールでの質問に随時対応します。 2. 質問等：講義時間中や授業終了後に受け付けます。受講者数が多い場合は電子メールで問い合わせてください。 3. 電子メールアドレス：nakamura.taku.a5@f.gifu-u.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
化学		武藤吉徳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
化学は「物質」を理解することを目的とする。医療技術に関わる多くの装置や薬品、そして人体など全てのものが様々な物質で構成されているので、化学の知識は医療分野の基礎としても非常に重要である。この講義では、化学の基礎的な内容を無機化学、有機化学の全般に亘ってなるべくわかり易く解説するように努める。また、医療に関連する事項をできる限り多く取り上げて、専門科目への橋渡しとなるようにしたい。						
学修の到達目標						
①生体物質や医薬品を構成する元素や化学結合の特徴が理解できる。 ②主要な有機化合物について、その構造や性質を説明できる。 ③医療の場で出会う様々な物質、薬品について科学的特性を把握できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物質の特性	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
2	原子と分子	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
3	化学結合	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
4	物質の三態・溶液とコロイド	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
5	塩化物	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
6	酸・アルカリ	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
7	無機化合物	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
8	放射性元素	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
9	有機化合物概要	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脂肪族炭化水素	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
11	酸素、窒素を含む有機化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
12	カルボン酸、その他	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
13	芳香族化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
14	脂環・複素環化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
15	生体物質	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<p>評価基準：化学物質に関する知識・理解を重要視する。 評価方法：定期試験 (100%)</p>						
使用教科書						
<p>系統看護学講座基礎分野「化学」 / 奈良雅之.--第8版--医学書院, 2026年, 978-4-260-06192-6</p>						
参考図書						
<p>若山信行・一國雅巳・大島泰郎 訳「ブラディー一般化学 上・下」東京化学同人 ISBN 9784807903474 額綱 守 著「楽しく学ぶ 暮らしの化学」化学同人 ISBN 9784759820553</p>						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートにコメントをつけて返却する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	授業中に質問の時間を取るほか、質問紙による質問には、次回の授業時に回答する。					

授業科目名		担当教員				
人間工学		山田宏尚				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC106		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
人間が普段無意識に行っている身体運動や生命維持活動は、筋肉・骨格・内臓・血管など身体の各部位に働く力やモーメントをはじめとした物理学的メカニズムによって成立している。本講義では、医療行為の具体例に基づいて、身体活動の物理学的なメカニズムを学習する。						
学修の到達目標						
①人間の身体活動に関わる物理学の基礎を身につけることができる。 ②物理的根拠に基づく治療行為を実践するための基礎を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス・モーメントの定義と働き	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
2	重いものを持つにはどうしたらよいか	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
3	てこの原理と計算	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
4	看護ボディメカニクスの物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
5	看護の物理的重点事項	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
6	身近な圧力(1)	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
7	身近な圧力(2)	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
8	呼吸器と吸引の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
9	チェストドレーンバックの原理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	点滴静脈内注射の物理（1）	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
11	点滴静脈内注射の物理（2）	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
12	循環器の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
13	血圧測定 of 物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
14	感覚器の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
15	体温制御の物理，総復習	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準：知識の修得度と計算能力（目標①）、応用的思考能力（目標②） ・評価方法：定期試験（70%）、小テスト・宿題・授業態度（30%）で評価する。 						
使用教科書						
看護学生のための物理学 / 佐藤和良.--第6版--医学書院，2022年，978-4-260-04685-5						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題について全体の総評コメントを口頭にて公開する					
実務経験をいかした教育内容						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で小テストを実施し、随時課題を課す。 ・オフィスアワー：講義前後の時間に非常勤講師室で待機する。 ・質問：講義中やオフィスアワーに直接、それ以外にメール（yamada.hironao.a5@f.gifu-u.ac.jp）で随時受け付ける。 					

授業科目名		担当教員				
環境と人間		大藪千穂				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LHC207		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
資源・環境問題を解決し、持続可能な社会を構築することが、21世紀最大の課題である。しかし、そのためのアプローチの方法は、まだ、見出されていない。この講義では、環境問題は人間の問題であるとの観点に立ち、環境と人間の関係を、生活と情報によってむすびつけ、環境問題を根本的にとらえなおし、環境問題の解決法を考え、持続可能な社会を展望する。また、人間の成長・発達や脳疾患のリハビリ等に対して、環境が果たす重要な役割を考察する。						
学修の到達目標						
①受講者ひとりひとりが、自分で問題解決の手がかりを、考え、見出すことができる。 ②既存の考え方や方法にとらわれることなく、自分自身の考え方をもち、発展させることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	環境問題とは何か？	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
2	環境問題の原点、水俣病の問題を、生産、消費、環境から考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
3	家庭生活から環境問題の本質を探る。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
4	衣生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
5	食生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
6	簡易生ゴミ分解器を製作し、その活用法を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
7	河川環境と人間の関係を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
8	情報から環境と人間を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
9	人間形成に対する情報と環境の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳障害者の発達、脳疾患のリハビリを、環境と情報の観点から捉えなおす。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
11	環境教育のあり方を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
12	アーミッシュと現代社会を比較する。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
13	近代のライフスタイルを再考する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
14	生態学の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
15	環境と情報から、持続可能な社会を展望する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
	定期試験 (レポート)					
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解、思考・判断、授業態度の総合であるが、特に、各自のオリジナルな思考を重視する。評価方法は、レポート (50%)、小レポート・小テスト (30%)、授業態度等 (20%) による。						
使用教科書						
21世紀の情報とライフスタイル / 杉原利治。--論創社、2001年、978-4-8460-0261-9 教科書はこちらで準備します。1回目に2000円をおつりがないように持参してください。						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポートから紹介し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編を紹介し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					

授業科目名		担当教員				
社会学		伊原亮司				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		伊原亮司(企業勤務)				
授業概要						
この講義は、現代社会のあり方について学ぶ。なかでも、ほとんどの人にとって切実なテーマである「働くこと」に焦点をあてて、現代社会のあり方を理解する。わたしたちは、人生の早い段階から「働くこと」を意識させられ、その準備をするように囁かれている。しかし、働く場の実態については無知なまま、耳に優しい言葉ばかりを聞かされている。本講義は、現代社会における労働を取り巻く環境と労働の特徴を理解し、それを踏まえたうえで、自分たちの働き方を構想することを目的とする。医療関連の仕事に就く予定である受講者は、「就活」にはさほど困らないかもしれない。しかし、働き出してから、「いじめ」、「うつ病」、「過労死」といった様々な問題に直面する可能性がある。医療従事者は「感情労働者」ともいわれ、専門知識のみならず、コミュニケーションの仕方や感情の表出の仕方など、人格に関わる側面が重視される。本講義は、それらの能力の向上に注力するだけでなく、感情労働に付随する問題点を理解し、「うつ病」や「過労死」から自分の身を守る術(すべ)を習得して欲しい。						
学修の到達目標						
①現代社会における労働を取り巻く環境と労働現場の実態を理解できる ②その際に、いかなる視点から「現実」を切り取ればいいのか、分析枠組みを理解することができる ③自分自身で職場の実態を捉えられるようになる ④「働くこと」に対する自分のスタンスを考えることができる ⑤その際、狭義の「能力」の形成に励むだけでなく、自分の「身の守り方」にも留意することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクションー「働くこと」とは	②	伊原	講義	テキストの「はじめに」と「おわりに」を読み、概要を理解する(120分)	講義を踏まえた上で、テキストの全体像をイメージする(120分)
2	従来の社会と働き方ー「日本の経営」と「企業社会」	① ②	伊原	講義	テキストの第一章を読み、概要を理解する(120分)	第一章を読み直し、ドラッカーの経営思想を復習する(120分)
3	労働社会の変容ー学校、会社、家庭の関係	① ③	伊原	講義	テキストの第一章から、現代社会の変容の概要を理解する(120分)	戦後日本の労働社会の変容を自らたどる(120分)
4	働く場の実態Ⅰー過労死・過労自殺	① ③	伊原	講義	テキストの第四章を読み、概要を理解する(120分)	テキストの第四章から、過労死と過労自殺の違いを復習する(120分)
5	組織や役割への過剰適応	④	伊原	講義	テキストの第四章から、組織への「過剰適応」について頭に入れる(120分)	逸脱と過剰適応との違いを復習する(120分)
6	働く場の実態Ⅱー「うつ病」	① ③	伊原	講義	テキストの第三章を読み、概要を理解する(120分)	第三章を読み直し、精神疾患と労働との関係を復習する(120分)
7	感情労働の特質	④	伊原	講義	テキストの第三章から、「感情労働」の特徴をつかむ(120分)	肉体労働、知的労働との違いを理解する(120分)
8	働く場の実態Ⅲー「ハラスメント」	① ③	伊原	講義	テキストの第二章を読み、概要を理解する(120分)	日産の事例を追いながら、いじめとハラスメントとの違いを理解する(120分)
9	経営合理化と過度のプレッシャー	④	伊原	講義	テキストの第二章から、相互扶助と相互監視のメカニズムを理解する(120分)	職場における過度のプレッシャーが生じる理由を考える(120分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	働く場の実態Ⅳ－職場秩序の悪化	① ③	伊原	講義	職場秩序の悪化のメカニズムについて、概要を理解する (120分)	現在の職場における「秩序」の崩壊理由を整理する (120分)
11	非正規雇用の増大	① ③	伊原	講義	雇用規制の緩和と非正規雇用の増大の実態について理解する (120分)	非正規雇用が増大した契機・時期・理由を整理する (120分)
12	新しい働き方とは	① ④	伊原	講義	テキストの第六章を読み、概要を理解する (120分)	「日本的経営」から新自由主義に基づく経営への推移を整理する (120分)
13	社会貢献という働き方	① ④	伊原	講義	テキストの第七章を読み、概要を理解する (120分)	「社会貢献」の問題点について整理する (120分)
14	働くということを考え直す	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第七章を読み、<働く>ということを考え直す (120分)	賃労働とは何かを考え直す (120分)
15	労働を規制する、勤勉さを相対化する	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第八章を読み、概要を理解する (120分)	講義を踏まえた上で、自らの働き方を構想する (120分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業への参加態度 (20%)、レポート (20%)、テスト (60%) などから総合的に評価。						
使用教科書						
新版 私たちはどのように働かされるのか / 伊原亮司.--アトリエ花粉館, 2025年5月出版, 978-4911530016						
参考図書						
講義中に適宜紹介する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	次回の講義までに読んでおく「章」を事前に伝える。講義までに目を通しておくこと。講義ははじめに、予習時にわからなかったことをうかがい、補足説明を行う。					
実務経験をいかした教育内容	わたし自身、サラリーマン経験があり、また、調査手法として「参与観察」を取り入れているため、「現場の視点」から労働の実態を語る。もちろん、「現場」を捉える理論的なフレームは不可欠であるが、「現場感覚」も重要視し、受講者には「追体験」してもらいたい。					
備考	理解を補強する教材として、適宜、映像も活用する。					

授業科目名		担当教員				
人間関係論		益川優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、日常生活や職場、家族、医療の現場などで起こる様々な人間関係について理解し、より良い人間関係を築くために人間関係の基本的な意義・視点、職場での人間関係、生涯にわたる人間発達と人間関係、人間関係を構成する自己と他者、人間関係の成立と維持、対立等の基礎知識を学びます。						
学修の到達目標						
①人間関係の意義・視点について考えることができる。 ②人間関係における自己について理解できる。 ③人間関係における他者について理解できる。 ④生涯の人間発達と人間関係の広がりについて理解できる。 ⑤人間関係が成立し、維持するルール、葛藤・対立への対処法を理解し、実践できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション：学習対策、成績評価 人間関係論とは：自己開示について	①	益川	講義	これまでの自身について振り返り800字程度にまとめておく。(120分)	学習した内容を基に改めて自身について振り返り1600字程度でまとめる。(120分)
2	第一印象：第一印象がその後の人間関係に与える影響	① ② ③	益川	講義	前回の学習内容を復習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活で使える可能性を考える。(120分)
3	自己呈示：印象管理と自己呈示の違い	① ② ③	益川	講義	前回の学習内容を復習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
4	コミュニケーションの種類：言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
5	非言語コミュニケーション①：対人態度	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
6	非言語的コミュニケーション②：承認欲求	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
7	非言語的コミュニケーション③：対人距離	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
8	非言語的コミュニケーション④：状況に応じた座席位置	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
9	言語的コミュニケーション：人間関係に影響を与える順番	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	援助行動①：傍観者効果	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
11	援助行動②：援助行動が開始されるまでの葛藤	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
12	援助行動③：援助行動をとる心理	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
13	援助要請④：社会的インパクト理論	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
14	集団心理：集団意思選択、集団浅慮、集団極性化	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
15	攻撃行動：フロイト、ローレンツ、ダラード、テダスキーの理論	② ③ ④ ⑤	益川	講義	①インターネットや②SNSの利用状況、注意点 ③人間関係への影響について考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
16	レポート作成					
評価基準・評価方法						
レポート試験（60%）、平常点（40%）						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	※授業時間内で取り組んでいただいた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	学科を越えたメンバー形成をし、グループワークを行うことがあります。グループワークには積極的に参加してください。					

授業科目名		担当教員				
ボランティア論		後藤誠一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		後藤誠一(ぎふ地域学校協働活動センター(岐阜県・岐阜大学共同設置)センター員(学生ボランティアマッチング・現場での指導助言担当))				
授業概要						
本講義では、ボランティアについて、その言葉が持つイメージから検討をはじめ、ボランティアの歴史、普及・定着の社会的背景、ボランティア活動の個人、組織、地域、社会にとっての意味・意義、そしてボランティア活動によって切り拓かれる可能性について基本的な知識を得るとともに、そうした知識を活用して現代社会の諸問題・課題の解決に主体的・能動的に参画しようとする、ボランティアとしての態度・心構えを形成することを目標とする。ディスカッション、グループワーク等の学び合いの機会も設ける。						
学修の到達目標						
①ボランティア活動の定義について歴史的背景を踏まえながら説明できる。 ②ボランティア活動の意義と社会的役割について説明できる。 ③ボランティア活動を支援する意味とボランティア活動支援機関の役割について理解し、説明することができる。 ④ボランティア活動を通じて社会に参画しようとする主体的・能動的な態度・心構えが形成されている。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ボランティアとは何か①(イメージを共有する)	① ②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	ボランティアとは何か②(イメージを分析する)	① ②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージを分析した結果をまとめる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	ボランティアの本質・特徴	① ②	後藤	講義	ボランティアにおいて大切なこと、特徴などをノートに書きだす。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	ボランティアにおける学び	① ②	後藤	講義	ボランティアにおける成長や学びにはどのようなものがあるかをノートに書きだす。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	ボランティアにかかわる思想と歴史	① ②	後藤	講義	ボランティアの歴史や福祉との関係について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	ボランティアの組織とマネジメント	① ②	後藤	講義	NPO・ボランティア団体の法制度、組織運営について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	ボランティアの情報提供や支援方策、コーディネーター	① ② ④	後藤	講義	自治体等のボランティア情報提供、中間支援について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	青少年教育とボランティア	① ② ③	後藤	講義	子ども・若者のためのボランティアについて調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	体験活動におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	自然体験活動等の体験活動に関する事例や課題を調べる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学校と地域の連携・協働とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	学校と地域の連携協働、地域学校協働活動について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	地域学校協働活動におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	地域学校協働活動の事例について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	社会教育・生涯学習とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	社会教育・生涯学習におけるボランティアや学習成果の還元について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	社会教育・生涯学習におけるボランティア事例の検討	② ③ ④	後藤	講義	地域の課題、子ども食堂、学習支援の事例等について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	ボランティアの可能性と展望	④	後藤	講義	これからの社会におけるボランティア活動の意義や可能性について考察してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	ボランティア活動と自分	④	後藤	講義	これまでの学習を踏まえ、自身にとってのボランティアの意義と社会的役割、自分でできることや挑戦したいことについて考察してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
受講態度（グループワーク・発表含む）30%、授業時に書く振り返りシート30%、試験40%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	振り返りシートに書かれた内容や質問に対しては、次回授業時の冒頭にコメントや説明をする。					
実務経験をいかした教育内容	ボランティア活動そのものに加えて、ボランティア活動を支えるための人や組織、支援方法についても解説したい。					
備考	質問等ありましたら授業終了後、声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
哲学		竹内章郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3) 視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
自由・平等・友愛(共同性)は、近代社会全般の基礎とされるが、この講義では、自由と共同性との関連も重視しながら、平等とはいかなることかの解明を中心に、格差や不平等が広まる現実を根本から(ラディカルに)理解することを目指す。あわせて、平等ということが社会保障や社会福祉の実践において非常に大切であることが感得されるような講義としたいと考えている。近代思想史や哲学史の理解も、そうした本講義のための手段であるという位置づけで、講義をするつもりである。						
学修の到達目標						
①大きな問題を根本から考える姿勢を身に付けるために、抽象度の高い言葉を理解しこれがある程度使えるようにする。 ②近代思想・近代哲学の基本を一定程度理解できる。 ③現代社会の課題の基本を捉える姿勢を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス(全体の進行について、資料の使い方など)	①	竹内	講義	資料の前書きの熟読(120分)	講義内容の復習(120分)
2	現代において平等を問うことの意味<教科書iii~vii頁>	③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
3	平等はなぜ避難されることが多いのか? 平等の根本的定義(1)<教科書1~14頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
4	平等はなぜ避難されることが多いのか? 平等の根本的定義(2)<教科書14~31頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
5	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(1)<教科書33~44頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
6	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(2)<教科書44~54頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
7	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(3)<教科書54~68頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
8	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(4)<教科書68~78頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
9	悪平等はなぜ生まれたのか? 伝統的平等論の意義と問題(1)<教科書69~93頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	悪平等はなぜ生まれたのか？ 伝統的平等論の意義と問題(2) <教科書93～117頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
11	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(1) <教科書119～143頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
12	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(2) <教科書143～166頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
13	新たな平等論の体系の構築に向けて(1) <教科書 167～185頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
14	新たな平等論の体系の構築に向けて(2) <教科書185～200頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
15	新たな平等論の体系の構築に向けて(3) <教科書200～215頁>	① ②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
評価基準・評価方法						
最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。						
使用教科書						
使用しない(講義に先立って、講義全体に関する資料を配布する。)						
参考図書						
必要に応じて講義中に紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義について、適宜配布する質問用紙に記入してもらい、その都度応答する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
教育学		益川浩一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		益川浩一(児童福祉司)				
授業概要						
本講義は、人間が生き、成長・発達していく上で教育がどのような意義を持ち、社会においてどのような役割を果たすのかについて考察していきます。また、教育をとりまく現代の諸問題を多面的に捉えつつ、教育という営みの現代的意義についても考察していきます。						
学修の到達目標						
①教育の概念と機能、その役割について説明できる。 ②人間の生涯発達理論について説明できる。 ③他者とのかかわりを導く技法を使うことができる。 ④現代の教育と教育を取り巻く諸問題について自分の考えを持つことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	教育の概念	①	益川	講義	自身の持つ「教育」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	学ぶということ・教えるということ	①	益川	講義	第1回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	生涯発達理論①乳児期～幼児期	②	益川	講義	第2回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	生涯発達理論②児童期～青年期	②	益川	講義	第3回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	生涯発達理論③成人期～老年期	②	益川	講義	第4回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	教育の営みと教育を取り巻く諸問題	① ④	益川	講義	第5回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	他者とのかかわり	③	益川	講義	第6回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	他者とのかかわりを導く技法	③	益川	講義	第7回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	教育の目標と評価	①	益川	講義	第8回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	教育のデザイン	①	益川	講義	第9回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	キャリア教育	④	益川	講義	第10回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	ジェンダーとセクシュアリティ	④	益川	講義	第11回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	④	益川	講義	第12回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	生涯教育	④	益川	講義	第13回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	シティズンシップ教育	④	益川	講義	第14回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
受講態度30%、定期試験70%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	※定期試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容	児童相談所における児童福祉司としての経験を活かして、困難を抱える子ども・若者の実態を踏まえた上で、教育の意義・役割等について講義を行う。					
備考	質問等ございましたら授業終了後、気軽に声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
心理学		益川優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0206		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
心理学は人の行動から心の動きを科学的に推察する学問です。心理学についてそれぞれが抱くイメージは様々であると思いますが、本授業では、基礎心理学を中心に他者と自身の心の動きを客観的に理解し、医療現場で他者との関係をより良くするために必要な基礎知識を学びます。						
学修の到達目標						
①相手の「心」を直接把握することができないことを理解できる。 ②相手の「心」は推測でしか扱えないことを理解できる。 ③同じ状況でも人によって違う心が推測されうることを理解できる。 ④自分の心を相手にわかってもらうためには推測し易い情報を提供しなければならないことを理解できる。 ⑤上記の関する知識を実際の人間関係に活用することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション：授業の概要、評価の方法 心理学とは何か：心理学の種類について	① ②	益川	講義	心理学に抱くイメージを、レポート(1000字程度)にまとめてくる。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
2	社会心理学：パーソナルスペース	② ③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
3	社会心理学：同調行動	② ③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
4	社会心理学：初頭効果と光背効果	② ③ ④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
5	人格心理学：類型論と特性論	② ③ ④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
6	人格心理学：性格検査	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
7	認知心理学：錯覚	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
8	認知心理学：体制化	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
9	認知心理学：ストループ効果、選択的注意力	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学習心理学：古典的条件づけ、道具的条件づけ	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
11	学習心理学：観察学習、学習性無力感	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
12	発達心理学：乳児期～児童期	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
13	発達心理学：青年期～老年期	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
14	産業心理学：二段階要請法	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
15	臨床心理学：発達障害、パーソナリティ障害	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験70%、平常点（小テストを含む）30%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	※授業時間内で取り組んで頂いた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
生命倫理学		谷口泰弘				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0707		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>バイオエシックス(生命倫理学)の基礎的な事項を学ぶ。現代の医療においては医師だけではなく、多くの医療に関係する職種が協力し、チーム医療を担っている。それぞれの職種に高い倫理観が求められている。本講義では、バイオエシックスに係る歴史的背景から最新の医療に関する倫理的問題群にいたるまで、デジタル教材を活用しながら講義形式で分かり易く解説する。</p>						
学修の到達目標						
<p>医療専門職に不可欠な倫理観を身につけるため、バイオエシックスに係る問題群について、倫理的・法的・社会的問題として捉え、思考し行動に移せる能力を修得する。 ①バイオエシックスの歴史的背景等から、人間の尊厳を理解する。 ②講義の各論から、医療に係る倫理的問題の本質を見極め、立場の違いを理解したうえで、解決に向けた多角的な思考ができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	バイオエシックス総論①(ガイダンス、基礎概念)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第1章前半部分	復習(120分) 教科書第1章前半部分と配布資料
2	バイオエシックス総論②(歴史的背景WW II以前)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第1章後半部分	復習(120分) 教科書第1章後半部分と配布資料
3	バイオエシックス総論③(歴史的背景WW II以後)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第2章前半部分	復習(120分) 教科書第2章前半部分と配布資料
4	自己決定と人間の尊厳(インフォームド・コンセント)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第3章部分	復習(120分) 教科書第3章部分と配布資料
5	倫理理論の考え方(応用倫理学からのアプローチ)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第2章後半部分	復習(120分) 教科書第2章後半部分と配布資料
6	生殖補助医療の問題①(人工授精、体外受精、代理母)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第4章前半部分	復習(120分) 教科書第4章前半部分と配布資料
7	生殖補助医療の問題②(出生前診断、着床前診断、人工妊娠中絶)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第4章後半部分	復習(120分) 教科書第4章後半部分と配布資料
8	遺伝子をめぐる問題(ヒトゲノムの利用、遺伝子特許、個人情報、エンハンスメント)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第5章部分	復習(120分) 教科書第5章部分と配布資料
9	ライフサイエンス研究をめぐる問題(再生医療、ヒトES細胞研究、ヒトiPS細胞研究)	②	谷口	講義	予習(120分) 再生医療に関する倫理的問題を調べる	復習(120分) 配布資料を復習する

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳死・臓器移植をめぐる問題（脳死の定義、臓器移植法、移植システム）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第6章部分	復習（120分） 教科書第6章部分と配布資料
11	終末期をめぐる問題①（尊厳死、安楽死）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章前半部分	復習（120分） 教科書第7章前半部分と配布資料
12	終末期をめぐる問題②（治療中止、鎮静、緩和医療）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章後半部分	復習（120分） 教科書第7章後半部分と配布資料
13	医療と法律（医療事故関係、医療契約）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第14章部分	復習（120分） 教科書第14章部分と配布資料
14	広義のバイオエシックス（医療と社会、動物倫理、環境倫理）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第10章部分	復習（120分） 教科書第10章部分と配布資料
15	研究をめぐる倫理（研究不正、倫理委員会、オーサーシップ、利益相反等）	②	谷口	講義	予習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を予め調べる	復習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を復習する
	定期試験（筆記）	① ②	谷口	試験		
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解および思考とする。その評価方法は、定期試験を実施して評価する（80%） ミニレポート等の提出物の内容も評価に入れる（20%）						
使用教科書						
第3版 生命倫理・医事法 / 塚田敬義ほか、--改訂版--医療科学社、2022年、978-4-86003-133-6						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実施する定期試験および提出物について、総評を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	適宜、補足資料を配布し、理解が深まるよう講義する。 特段、オフィスアワーは設けないが、講義終了後に教室に残り質問等について対応する（この時間を活用してください）。					

授業科目名		担当教員				
基礎演習		加藤清人・世良龍哉 (代表教員 加藤清人)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	LCM101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)作業ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		加藤 清人(作業療法士)・世良 龍哉(作業療法士)				
授業概要						
<p>学内ルールや学習方法、レポートの書き方、プレゼンテーション、社会的ルール、マナーなどについて学ぶ。特に、学習方法に関する演習では、医療従事者に求められる知識・技術を修得するための基盤づくりを行い、学習習慣の定着につなげる。演習方法は、グループワークを基本とし、シェア学習を通してルールやマナー、コミュニケーションに関してその実践を経験する。グループ討論、プレゼンテーションのスキルを向上させ、他者の意見を傾聴し自身の意見を発信できる。グループワークを通して、必要な医療の基礎知識の学習方法を学ぶ。</p>						
学修の到達目標						
<p>①学校生活を送る上でのルールやマナーを理解し実践できる。 ②社会人・医療職として求められる常識、ルール、マナーなどを習得し、遂行できる。 ③グループ討論、プレゼンテーションのスキルを向上させ、他者の意見を傾聴し自身の意見を発信できる。 ④グループ学習や課題を通して重要な基礎知識である解剖学を中心に学び、知識を定着することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、学内及び臨床における接遇	① ②	世良	講義	入学前に習得した一般常識・マナーについてまとめる(30分)	講義で説明した内容について整理しておく(30分)
2	学内及び臨床における接遇の実践	① ②	世良	演習	第2回でまとめた資料を事前に確認する(30分)	講義の要点についてまとめる(30分)
3	学内及び臨床におけるSNSリテラシー	① ②	世良	演習	配布した資料を事前に目を通す(30分)	演習で学んだことを整理する(30分)
4	学内及び臨床におけるSNSリテラシーの活用	② ③	世良	講義	配布した資料を事前に目を通す(30分)	講義で提示した課題(30分)
5	レポートの書き方	② ③	世良	講義	配布した資料を事前に目を通す(30分)	講義で提示した課題(30分)
6	PCによる課題作成①	① ② ③	加藤	講義	個人のノートPCでOfficeの動作を確認(15分)	講義で提示した課題を取り組む(45分)
7	PCによる課題作成②	① ② ③	世良	講義	講義で提示した課題(45分)	講義で提示した課題(30分)
8	オリエンテーション、基礎知識の学習方法(骨)①	③ ④	加藤	演習	解剖学で学んだ骨の名称を確認しておく(30分)	講義で提示した課題(30分)
9	基礎知識の学習方法(骨)②	③ ④	加藤	演習	解剖学で学んだ骨の名称を確認しておく(30分)	講義で提示した課題(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	基礎知識の学習方法（骨）③	③ ④	加藤	演習	講義で提示した課題 (30分)	講義で提示した課題 (30分)
11	基礎知識の学習方法（骨）④	③ ④	加藤	演習	講義で提示した課題 (30分)	講義で提示した課題 (30分)
12	基礎知識の学習方法（筋）①	③ ④	加藤	演習	講義で提示した課題 (30分)	講義で提示した課題 (30分)
13	基礎知識の学習方法（筋）②	③ ④	加藤	演習	講義で提示した課題 (30分)	講義で提示した課題 (30分)
14	基礎知識の学習方法（筋）③	③ ④	加藤	演習	講義で提示した課題 (30分)	講義で提示した課題 (30分)
15	基礎知識の学習方法（筋）④	③ ④	加藤	演習	講義で提示した課題 (30分)	講義で提示した課題 (30分)
評価基準・評価方法						
各セクションごとに提示する課題ならびに小テストで評価・判定する。						
使用教科書						
PT・OT 基礎から学ぶ解剖学ノート / 中島雅美.--第3版--医歯薬出版, 2017年, 978-4-263-21675-0 PT・OT 基礎から学ぶ運動学ノート / 中島雅美/中島喜代美.--第3版--医歯薬出版, 2023年, 978-4-263-26676-2 PT・OT 基礎から学ぶ生理学ノート / 中島雅美.--第3版--医歯薬出版, 2018年, 978-4-263-26551-2						
参考図書						
Platzer Fritsch, Kühnel Kahle, Frotscher [原著] : 解剖学アトラス [原著第10版] (文光堂)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	演習内ないし演習終了後にフィードバックの時間を設ける					
実務経験をいかした教育内容	作業療法における職務経験(10年以上)から医療職に求められる人物像に対して接遇やマナーなどの基本的態度、教育経験(17年以上)から医療職を目指すうえで学内で備えておきたい態度や知識・技術についての基礎をについて触れていく。さらに、演習を通して模擬経験を行うことで対応力がみにつけられるよう授業を展開していく。					
備考	演習内で質問の時間を設ける。また演習外でも適宜メール等で質問を受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
文章表現法		田口正芳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LCM102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3) 視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>将来医療や介護等の現場で働く者にとっては、患者や患者の家族・同僚スタッフ・福祉関係者等とのコミュニケーション力や文章作成力が必要である。授業を通して自身の国語力を知り基礎力を高めると共に、授業以外の日常生活の様々な場面でも意識して適切な言葉を遣うことをめざす。テキストとトレーニングシートを活用し、説明する力・聴く力を養うと共に、手紙文や公用メールのマナー・レポート等の書き方の実践を通して文章表現力を身に付ける。回によって、ペアワークやグループワークの授業をしたり、トレーニングシートや適宜課題の提出を求めることがある。</p>						
学修の到達目標						
<p>①正しく適切な日本語について学び、正確に情報や意見交換を行う力を身に付け、現場で生かせるようになる。 ②自分の感情がコントロールでき、相手に配慮した言葉で良好な人間関係を築くことによって問題解決ができる。 ③日々の生活において、メモをとったり書いたりすることを習慣にする。 ④専門科目で求められるレポートや、社会人・職業人に必要な様々な文章を作成することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	授業の進め方やテキストとトレーニングシートの活用についての説明。	①	田口	講義	シラバスとテキスト、トレーニングシートに目を通し、学習の目標を理解する。(30分)	授業で学んだ内容を現場で生かせることを意識し、言葉に対する関心知識を高める。(30分)
2	テキスト(スタディスキル編)第1章「正しい日本語を使うー正確で豊かに表現する」トレーニングシート1の解説と自己採点。	①	田口	講義	テキストP4~7を読み、トレーニングシート1を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート1の内容を確かなものにする。(30分)
3	テキスト(スタディスキル編)第2章「敬語を使うー相手を尊重する気持ちを伝える」トレーニングシート2の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP8~12を読み、トレーニングシート2を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート2の内容を確かなものにする。(30分)
4	テキスト(スタディスキル編)第3章「メモをとるー要点をおさえて記録する、伝える」トレーニングシート3の解説と自己採点。	① ③	田口	講義	テキストP14~17を読み、トレーニングシート3を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート3の内容を確かなものにする。(30分)
5	テキスト(スタディスキル編)第4章「説明する・発表するー相手がわかる説明をする」トレーニングシート4の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP18~21を読み、トレーニングシート4を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート4の内容を確かなものにする。(30分)
6	テキスト(スタディスキル編)第5章「電話をするーその場でのやり取りに対応する」トレーニングシート5の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP22~25を読み、トレーニングシート5を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート5の内容を確かなものにする。(30分)
7	テキスト(スタディスキル編)第6章「メールを書くー学生生活でメールを使う」トレーニングシート6の解説と自己採点。	① ② ③ ④	田口	講義	テキストP26~29を読み、トレーニングシート6を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート6の内容を確かなものにする。(30分)
8	テキスト(スタディスキル編)第7章「手紙を書くー病院・施設に宛てて書く手紙のマナー」トレーニングシート7の解説と自己採点。時候の挨拶を知る。時候の挨拶を知る。	① ② ③ ④	田口	講義	テキストP30~33を読み、トレーニングシート7を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート7の内容を確かなものにする。(30分)
9	テキスト(スタディスキル編)第8章「レポートを書く(1)：内容編ーレポートに何を書くのか」トレーニングシート8(裏表2枚)の解説と自己採点。	① ③ ④	田口	講義	テキストP34~37を読み、トレーニングシート8を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート8の内容を確かなものにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	テキスト（スタディスキル編）第9章「レポートを書く（2）：表現編—レポートをどう書くのか」トレーニングシート9（裏表2枚）の解説と自己採点。文章の基本を知る。	① ③ ④	田口	講義	テキストP38～42を読み、トレーニングシート9を解く。（30分）	授業を振り返り、トレーニングシート9の内容を確かなものにする。（30分）
11	テキスト（ソーシャルスキル編）「ソーシャルスキルの学び方」第1章「挨拶をする、自己紹介をする—さわやかな印象を」トレーニングシート1（P23, 24）を実践する。	① ②	田口	講義	テキストP44～49を読み、自分の特徴・長所・短所、会話のネタ等の準備。（30分）	授業を振り返り、場面に応じた自己紹介のスキルを身に付け、良好な人間関係に繋げる。（30分）
12	テキスト（ソーシャルスキル編）第2章「話すスキルと聴くスキル—互いにつながるために」トレーニングシート2（P25, 26）を実践・発表する。	① ②	田口	講義	テキストP51話すスキルとP53聴くスキルのモデリングで練習しておく。（30分）	実際の生活の場で試してみる。誤解や思い込みのないコミュニケーション力を身に付ける。（30分）
13	テキスト（ソーシャルスキル編）第3章「上手に断る—相手を傷つけないように」トレーニングシート3（P27, 28）を実践・発表する。	① ② ③	田口	講義	テキストP56～59を読み、トレーニングシートP27の課題1, 2に意見を書く。（30分）	相手の期待に応えられず上手に断るポイントを学び、応用してみる。（30分）
14	テキスト（ソーシャルスキル編）第4章「感情をコントロールするスキル—さまざまな感情を感じ、ともに生きていく」トレーニングシート4（P29, 30）を実践・発表する。	① ② ③	田口	講義	テキストP60～63を読み、トレーニングシートP29, 30に意見や考えを書く。（30分）	自分の苦手な場面で冷静に感情をコントロールする方法を学び、応用してみる。（30分）
15	テキスト（ソーシャルスキル編）第5章「うまく問題を解決するスキル—対人葛藤と向き合い、主張的に解決する」のモデル（例題）について、国語力・文章表現力を生かし論文を作成し、提出する。	① ② ③	田口	講義	テキストP65のモデルについて、解決索を400字程度にまとめておく。（30分）	事前学習の下書きを参考に、自身の問題解決のスキルと文章表現力を自己評価する。（30分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
①テキストとトレーニングシートに基づき必ず事前学習を行い、授業に臨むこと【授業に対する意欲】 ②トレーニングシートの他に適宜与えられた課題に取り組み、提出すること【課題提出の厳守】 ③定期試験【日本語表現力、ソーシャルスキルの習得と定着】						
使用教科書						
看護系学生のための日本語表現トレーニング / 野呂幾久子/渡辺弥生/味木由佳〔編著〕.--三省堂 , 2013年, 978-4-385-36328-8						
参考図書						
必要に応じて授業中に紹介する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	①トレーニングシートの提出→完成度（授業に対する意欲・知識の定着）の確認 ②課題文の提出→問題解決のスキルと文章力の確認					
実務経験をいかした教育内容						
備考	質問は随時受け付けます。学習相談等があれば、授業時間の前後に対応したいと思います。時間を要する内容については口頭ではなく文章にして渡してください。次の授業で極力回答したいと思います。					

授業科目名		担当教員				
コミュニケーション学		早川佳穂・藤崎和彦 (代表教員 早川佳穂)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LCM203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの重要性を理解する。 ・自分自身のコミュニケーションのスキルについて深く振り返り、医療現場において、患者さん・医療スタッフとの間でよりよい人間関係を構築するための具体的なコミュニケーション能力を身につける。 ・グループディスカッション、ペアワークなど体験、実践を中心とした講義を行う。 						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ①非言語コミュニケーションの重要性を理解し、実践できる ②年代が違う人への挨拶、返事など、日常的なコミュニケーションができる ③自分の気持ち・考えなどを明確に相手に伝えることができる ④相手の言葉の背景にある気持ちや考えを想像しコミュニケーションすることができる ⑤医療現場におけるコミュニケーションの重要性と求められているスキルを学ぶ 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・この授業の目的・到達目標について知る ・コミュニケーションの重要性とトレーニング方法について学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義		授業で習得したスキルを日常生活で実践する(60分)
2	・医療コミュニケーションの特徴とポイントを学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義	医療コミュニケーションの特徴について考えてみる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
3	・相手の本当に伝えたいことを受けとめるための聴き方について学ぶ	② ④ ⑤	藤崎	講義	自分は普段どのような聴き方をしているか考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
4	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義	初対面の人と会話するときに困っていることを考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
5	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	② ④ ⑤	藤崎	講義	クライアントとどんな話し方が相応しいかを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
6	・コミュニケーションの基本スキル① 日常生活におけるコミュニケーションの基本概念を学ぶ	① ②	早川	講義	日常生活において自身のコミュニケーションを振り返る(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
7	・コミュニケーションの基本スキル② 相手との信頼関係をつくるコミュニケーションについて学ぶ	① ② ④	早川	講義	信頼関係をつくるために自身が実践していることを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
8	・コミュニケーションの基本スキル③ 話すこと・受け止めることについて学ぶ	③ ④	早川	講義	相手の気持ちを理解するためにどうしたらよいか考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
9	・コミュニケーションの基本スキル④ 聴くこと・共感について学ぶ	① ④	早川	講義	共感について調べてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・コミュニケーションスキルを高める ワークをとおしてスキルを高める	① ③ ④	早川	講義	これまで講義学んだことを振り返る (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
11	・患者を理解する① 患者の様々な背景に関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	患者さんの様々な背景に関して考えてくる (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
12	・患者を理解する② 解釈モデルに関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	解釈モデルに関して調べてくる (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
13	・医療コミュニケーションのスキル① 様々な背景の患者や患者家族に対してわかりやすく且つ正しく伝える説明をワークを通して学ぶ	③ ⑤	早川	講義	わかりやすく説明するために重要なことを考えてくる (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
14	・医療コミュニケーションのスキル② 行動変容に関してワークを通して学ぶ 多職種連携におけるコミュニケーションを学ぶ	④ ⑤	早川	講義	行動変容とは何か調べてくる (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
15	・まとめ	① ② ③ ④ ⑤	早川	講義	医療現場でどのような職種とのコミュニケーションが必要か考えてくる (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
	定期試験 無し					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（授業への関わり方） 60% ・レポートの内容（複数回レポート提出） 40% 						
使用教科書						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進行に伴って、その都度紹介する。 ・適宜、教材として使用するプリントなども配付する。 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	・コメント、口頭でフィードバック					
実務経験をいかした教育内容						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のコミュニケーションの問題・悩みなどなんでもいので課題をもって授業に臨んでください。 ・担当教員への連絡方法は、初回講義時間内にお知らせします。 					

授業科目名		担当教員				
英語 I (教養英語)		林 久人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LFL101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では英語の読解能力を向上させることをねらいとする。身近なトピックスを題材を使ったテキストを使用し、英語の語彙、語法、表現等を学ぶことにより大学レベルの読解力を養うことを目指します。						
学修の到達目標						
辞書を引くことにより ①インターネットなどで英語検索をした文章が読める ②自分の分野の論文が読めるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション		林	講義		
2	Weather	① ②	林	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
3	The Internet	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
4	Animals	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
5	Friends	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
6	Helping Others	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
7	Traveling	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
8	Collections and Gifts	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
9	Careers	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	European Cultures	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
11	Gifted Children	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
12	Restaurants	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
13	Transportation	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
14	Homes	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
15	Space	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	定期試験の準備 今までに学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
小テスト・授業参加度など30%、筆記試験70%を総合的に判断する						
使用教科書						
Reading Links 2 / Andrew E. Bennett.--南雲堂, 978-4-523-17923-8						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。試験に関しても質問に応じる。					
実務経験をいかした教育内容	リスニング、ディクテーションを取り入れる。					
備考						

授業科目名		担当教員				
英語Ⅱ（日常英会話）C		林 久人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義は英語のコミュニケーション能力を高めるための授業で、英会話能力を養うことを目的とする。身近で起こることを英語で表現したり、ペアで会話練習をしたりすることにより、英語で話すことの楽しさを味わえるようにしたいと思います。						
学修の到達目標						
①友達と簡単な会話が英語のできる ②英語の質問に即答できるようになる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション Introductions	① ②	林	講義	教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
2	What Do You Do?	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
3	I'm Busy!	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
4	Review Units 1-3	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
5	What Does She Look like?	① ②	林	講義	教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
6	People and Places	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
7	Likes and Dislikes	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
8	Review Units 4-6	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
9	Personality	① ②	林	講義	教科書の内容を理解し音読すること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Tell Me About Your Family	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
11	Feelings	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
12	Review Units 7-9	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
13	Communication	① ②	林	講義	教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
14	Memories	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
15	Into the Future Review	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
小テスト・授業中の応答30%、筆記試験70%を総合的に判断する						
使用教科書						
Speaking of People Intro / Peter Vincent, Alan Meadows, Naoko Nakazato. --南雲堂, 978-4-523-17962-7 C0082						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。試験に関しても質問に応じる。					
実務経験をいかした教育内容	ペアワークを各ユニットで多く取り入れる。					
備考						

授業科目名		担当教員				
英語Ⅲ（専門英語）		ミロボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、ホスピタル・イングリッシュによるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。発音や聞き取りの練習により、スピーキングやリスニングの能力を育成する。「読む」「聞く」「話す」という3つの技能を育て、英語の運用能力を総合的に養う。						
学修の到達目標						
毎回さまざまな医療に関する言語活動を行い、英語の持つ多様な機能や働きを考えることを目指す。 ①正しい発音と適切なパターンで発話することができる。 ②医療英語によるコミュニケーションに必要なリスニング力を身につけ、状況の聞き取りができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	ミロボト	講義		その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(60分)
2	Lesson 1: Reception Desk (救急外来受付)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
3	Lesson 2: Examination Room (診察室)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
4	Lesson 3: Giving Injection (注射をする)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
5	Lesson 4: Explanation to a Family Member (患者の家族への説明)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
6	Lesson 5: Self-Introduction and First Meal (自己紹介と初めての食事)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
7	Lesson 6: Orientation to the Ward (入院病棟を案内する)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
8	Lesson 7: Asking Height, Weight, and Temperature (身長、体重、体温を尋ねる)	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
9	Lesson 8: Obtaining the Patient's History (患者歴をとる) 小テスト	① ②	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Lesson 9: Checking the Patient's Condition (患者の状態をチェックする)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
11	Lesson 10: Blood Test Explanation (血液検査の説明)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
12	Lesson 11: Drawing a Blood Sample (採血)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
13	Lesson 12: Explaining about the Operation: Basic Procedures (手術についての説明: 基本的手順)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
14	Lesson 13: Explaining about the Operation: Anesthesia (手術についての説明: 麻酔)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
15	Lesson 14: Taking the Patient into Surgery (手術室への搬送)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業参加態度・小テスト・・・40%, 理解度判定・・・60%						
使用教科書						
Essential English For Nurses 5th Edition (学生版) / Paul Zito & Masako Hayano. --日総研, 978-4-7760-1861-2						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ、無理のない進み方で行う。学生がテキストの内容をよく理解するために各ユニットをスライドプレゼンテーションで説明する。					

授業科目名		担当教員				
ドイツ語		安藤彰浩				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ドイツ語ポリシー(1)看護ドイツ語ポリシー(1)理学ドイツ語ポリシー(1)(3)作業ドイツ語ポリシー(1)(3)視機能ドイツ語ポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		安藤彰浩(ドイツ語通訳)				
授業概要						
ドイツ語における初級の基礎知識の習得を目指す。インターネット(動画サイトYou Tube等でニュース放送を見る)を活用して、ドイツ人の話す生のドイツ語に触れる機会を設ける。ドイツ社会における時事的、文化的話題を提供して、ドイツの歴史や文化に対する興味を喚起する。						
学修の到達目標						
①ドイツ語の基本的な表現に親しむ。 ②ドイツ語学習を通じて言葉の感覚を磨き、自分をより正確に表現する力を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発音。数字0~12。挨拶	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
2	自己紹介。 - 動詞の現在人称変化 ich/Sie	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
3	自己紹介。 - 動詞の現在人称変化 du	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
4	第三者の紹介。 - 動詞の現在人称変化 三人称単数 er/sie	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
5	身の回りのもの。 - 格変化:主格(1格)。複数形	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
6	買い物・家族。直接目的格(4格)。 - 所有冠詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
7	お土産。間接目的語(3格)。 - 人称代名詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
8	趣味。時間表現。曜日 - 不規則動詞の現在人称変化	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
9	道をたずねる。 - 前置詞の格支配1、命令形	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Eメール。月と季節 - 前置詞の格支配2	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
11	手紙。時間表現2 - イントネーションと文アクセント	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
12	料理・レストラン - 会話表現	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
13	ドイツ鉄道 - 分離動詞・非分離動詞、zu不定詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
14	ベルリンへの旅 - 話法の助動詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
15	ドイツの歴史、文化について。 - 文法のおさらい	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
理解度、積極参加を重視 定期試験 (60%)、小試験 (20%)、授業への取り組み (20%)						
使用教科書						
シュピッツェ I コミュニケーションで学ぶドイツ語 / 朝日出版社, 978-4-255-25422-7						
参考図書						
必要に応じて紹介						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題の習得を総合的に評価してコメントする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	毎回、動画サイトを使って、ドイツ人の生活や文化を紹介する。					

授業科目名		担当教員				
中国語		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本授業では中国語の初歩を学ぶ。基礎的な中国語の習得を通じて、言語としての特徴を理解するとともに、中国人とのコミュニケーションに必要な知識や背景にある中国の文化や社会についても理解を深める。これらを通じて、将来医療従事者となった際にも役立つ教養を身につけることを目的とする。						
学修の到達目標						
①発音記号(ピンイン)を正しく理解し、中国語の正確な発音を身につける。 ②基礎的な文法を習得し、基礎的な日常会話能力を養う。 ③医療現場で用いられる基礎的な語彙および表現を習得する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中国語の概要と声調	①	東	講義	テレビやラジオ、インターネットなどで、中国語の音を聞いてみる。(30分)	声調練習を行い、マスターする(30分)
2	単母音、子音	①	東	講義	声調の復習をする。(30分)	単母音と子音の発音練習を行い、マスターする。(30分)
3	人称代名詞、自己紹介、「是」を用いた文、挨拶表現①	① ②	東	講義	単母音と子音の復習をする。(30分)	挨拶言葉を覚え、自分の名前の言い方をマスターする。(30分)
4	複母音、数字、挨拶表現②	① ②	東	講義	挨拶表現、自分の名前の言い方を復習する(30分)	複母音、挨拶表現、数字の発音練習を行い、マスターする。(30分)
5	番号や症状(具合)を聞くフレーズ	① ② ③	東	講義	複母音、挨拶表現、数字の復習をする。(30分)	数字や症状に関する表現の発音練習をする。(30分)
6	鼻母音、診察時の会話テンプレート	① ② ③	東	講義	数字や症状に関する表現の復習をする。(30分)	鼻母音を練習しマスターする。診察時の会話を音読する(30分)
7	指示代名詞、「的」と「怎么」の使い方	① ② ③	東	講義	鼻母音と診察時の会話を復習する(30分)	指示代名詞、「的」と「怎么」を用いた文の発音練習を行う。(30分)
8	声調の変調、アール化、場所の尋ね方	① ② ③	東	講義	指示代名詞、「的」と「怎么」を用いた文の復習をする。(30分)	声調の変調とアール化音の発音練習をし、場所を尋ねる会話の発音練習をする。(30分)
9	場所代名詞、方向表現、存在を表す「在・有・是」の使い分け	① ② ③	東	講義	声調の変調とアール化音の発音練習をし、場所を尋ねる会話を復習する。(30分)	場所代名詞、方向表現、存在を表す表現の発音練習をする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現	① ② ③	東	講義	場所代名詞、方向表現、存在を表す表現を復習する。(30分)	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現の発音練習をする(30分)
11	入院時の症状・状況に関する表現	① ② ③	東	講義	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現の復習をする。(30分)	教科書第5課の会話文の発音練習を行う。(30分)
12	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現	① ② ③	東	講義	教科書第5課の会話文の発音練習を行う。(30分)	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現の発音練習を行う。(30分)
13	患者さんを励ます会話テンプレート	① ② ③	東	講義	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現の復習をする。(30分)	教科書第6課本文の発音練習を行う。(30分)
14	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現	① ② ③	東	講義	教科書第6課本文の発音練習を行い、練習問題を解く。(30分)	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現を復習する。(30分)
15	退院の際の会話テンプレート	① ② ③	東	講義	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現を復習する。(30分)	教科書第7課本文の発音練習を行う。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
成績評価は以下の項目から総合的に行う。 受講態度・発音習得度(10%)、小テスト(20%)、定期試験(70%)						
使用教科書						
協同学習で学ぶ 医療系中国語会話 / 李偉・管虹.--白帝社, 9784863983335						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅰ（骨・筋肉系）		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBS101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>人体の骨格は約200個の骨で構成され、それらは関節を介して連結し、骨格筋の収縮によって動く。これらの骨、関節、骨格筋を総称して「運動器」と呼び、日常生活を営む上で極めて重要な役割を担っている。運動器に障害が生じると、身体動作が制限され、生活の質(QOL)の低下を招く。そのため、理学療法や作業療法において運動器の機能回復は最重要課題の一つとなる。「解剖学Ⅰ」では、人体の骨、関節、骨格筋の構造を学び、それらが身体運動にどのように関与しているかについての理解を深める。</p>						
学修の到達目標						
<p>① 全身の骨格を構成する個々の骨の構造について説明できる。 ② 骨の連結様式と各関節の運動について説明できる。 ③ 全身の主要な骨格筋について、名称、起始、停止、作用、および支配神経を説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学概要と骨学総論	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
2	骨の連結（不動連結と可動連結）	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
3	脊柱（椎骨と椎骨の連結）	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
4	胸郭を構成する骨とその連結	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
5	上肢の骨格（上肢帯、自由上肢骨と上肢の連結）	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
6	下肢の骨格（下肢帯、自由下肢骨と下肢の連結）	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
7	頭蓋冠と頭蓋底	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
8	頭蓋を構成する骨とその連結	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
9	骨格筋総論	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	背部の筋と浅胸筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
11	深胸筋、横隔膜と腹部の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
12	上肢の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
13	下肢の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
14	頭部の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
15	頸部の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
専門知識の習得、理解度、および思考・判断力を総合的に評価する。 定期試験(70%)、ミニテスト(30%)						
使用教科書						
イラストで学ぶ骨・関節・筋の解剖学 運動器症候群・ロコモの基礎知識 / 東 華岳・林 春樹、--アドスリー、2023年、978-4-910513-17-1						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	ミニテストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。定期試験の模範解答を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅱ（内臓系）		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBS102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
解剖学Ⅱは、医療専門職の基礎となる人体解剖学の知識を修得するための科目である。本講義では、人体の諸器官における基本構造を理解し、今後の専門学習の基盤となる知識を養う。具体的には、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、および循環器系の各器官について、その正常な形態と構造を学習する。						
学修の到達目標						
① 内臓諸器官の名称、位置、および形態について説明できる。 ② 循環器系の正常構造と血液循環の経路について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学総論	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
2	消化器Ⅰ／消化器総論、口腔・咽頭・食道	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
3	消化器Ⅱ／胃・小腸・大腸	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
4	消化器Ⅲ／肝臓・胆嚢・膵臓、腹膜	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
5	呼吸器Ⅰ／呼吸器総論、鼻腔・喉頭・気管と気管支	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
6	呼吸器系Ⅱ／肺、胸膜、縦隔	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
7	泌尿器Ⅰ／泌尿器総論、腎臓	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
8	泌尿器Ⅱ／尿管、膀胱、尿道	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
9	男性生殖器	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	女性生殖器と発生	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
11	内分泌腺/下垂体・甲状腺・上皮小体・膵島・副腎	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
12	循環器I/循環器総論、心臓	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
13	循環器II/動脈系	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
14	循環器III/静脈系	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
15	循環器IV/リンパ系	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
専門知識の習得、理解度、および思考・判断力を総合的に評価する。 ミニテスト(30%)、定期試験(70%)						
使用教科書						
系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能(1)解剖生理学 / 坂井建雄ほか、--第11版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04687-9						
参考図書						
適宜、参考資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	ミニテストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。定期試験の模範解答を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅲ（神経系）		堀 信宏・東 華岳・大場かおり・藤橋雄一郎（代表教員 堀 信宏）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SBS203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)、大場かおり(理学療法士)、藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
解剖学Ⅲ（神経系）では主に中枢、末梢、自律神経系と感覚器について学びます。理学療法士、作業療法士にとって神経解剖の知識は、将来対象となる脳血管障害やパーキンソン病、多発性硬化症、脊髄損傷といった身体機能障害を理解する基礎となるだけでなく、認知症や高次脳機能障害といった認知面の基礎にもなります。また、臨床（国家試験でも）中枢神経系の画像に触れる機会が増え、解剖を基に治療プランを作成している。以上より、構造と機能の理解は必要不可欠です。						
学修の到達目標						
①ニューロンの基本構造や脳、脊髄、脊髄神経、脳神経、自律神経の構造について理解する。 ②上肢に分布する腕神経叢の枝や、下肢に分布する腰仙骨神経叢の枝の走行を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経系総論：神経の区分，神経の構成，髄膜と脳室系	①	藤橋	講義	教科書P. 229-237を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
2	中枢神経系：脊髄，脳幹	①	堀	講義	教科書P. 237-247を読み、内容を確認しましょう（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
3	中枢神経系：小脳	①	堀	講義	教科書P. 247-250を読み、内容を確認しましょう（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）
4	中枢神経系：大脳（間脳，大脳皮質の構造）	①	堀	講義	教科書P. 251-254を読み、内容を確認しましょう（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）
5	中枢神経系：大脳皮質（大脳皮質の機能局在）	①	堀	講義	教科書P. 251-254を読み、内容を確認しましょう（30分）	「まとめの絵」について、教科書を使用し再確認しましょう（30分）
6	中枢神経系：上行性神経路	①	藤橋	講義	教科書P268-271を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）
7	中枢神経系：下行性神経路	①	藤橋	講義	教科書P274-277を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
8	末梢神経系：自律神経系	①	藤橋	講義	教科書P311-314を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
9	末梢神経系：概論及び腕神経叢と関連する末梢神経	②	東	講義	教科書(1)p. 278-291及び教科書(2)p. 294-299を通読する（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経系：腰神経叢と関連する末梢神経	②	東	講義	教科書(1)p.291-293の通読及び配布資料(腕神経叢)の確認(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
11	末梢神経系：仙骨神経叢と関連する末梢神経	②	東	講義	教科書(1)p.293-300の通読及び配布資料(腰神経叢)の確認(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
12	脳神経：概要 I-V脳神経の機能		大場	講義	「病気がみえる7」のp242-p264を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
13	脳神経：VI-XII脳神経の機能	①	大場	講義	「病気がみえる7」のp264-279を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
14	感覚器：皮膚、体性感覚受容器、視聴覚、平衡感覚、味覚	①	大場	講義	解剖学(医学書院)の「感覚器系」の箇所を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
15	神経解剖学の臨床的つながりを考えてみる	① ②	堀 大場 藤橋 竹中 東	講義	これまで各担当から配布された資料を再確認しましょう	神経解剖学が臨床とどの様につながっているのか考えてみましょう
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
期末試験100%(各担当が行う小テストを基に出題する。小テストの取り組み/授業への参加度・態度を加味する)。						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 / 野村巖--医学書院, 2024年, 978-4-260-05677-9 病気がみえる7 脳・神経 / 医療情報科学研究所.--第2版--メディックメディア, 2017年, 978-4-89632-686-4						
参考図書						
プロメテウス解剖学アトラス頭頸部/神経解剖 第3版, 坂井建雄ら監訳, 医学書院, 2019						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	【小テスト】授業内で実施する(採点し返却する場合もある)。Google Formsを用いた場合は回答後にリアルタイムで表示される					
実務経験をいかした教育内容	神経系解剖学の知識を用いて、様々な疾患、障害の原因を理解することができます。講義内では実際の臨床、理学療法/作業療法とどの様につながっているのか提示していきます。					
備考	範囲が広いので、各担当が行う小テストをしっかりと取り組み、覚えること。解らない内容は後回しにせず、その都度整理につとめることが大切です。この神経系解剖は、2年生の神経系疾患の基礎になるので、ここをしっかりと勉強しておく、後の学修に有益になる。					

授業科目名		担当教員				
解剖学演習（体表解剖 骨）		浅野莉沙				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	演習	SBS104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）				
授業概要						
作業療法士として必要な人体の構造を理解するために、骨の名称や形状、関節構造の知識を学び、併せて皮膚上からの触診を行う。授業は講義形式で知識を学び、その後ペア学習やグループワークにて演習を行う。教科書上で学ぶ二次元的な知識を三次元的に捉えることで理解を深める。また、作業療法士として対象者に接する際の基本的な配慮（態度や身なり等）を修得する。						
学修の到達目標						
①骨の名称や特徴について説明できる。 ②体表面から骨の形状を正確に触診できる。 ③他者の体に触れるため、相手への基本的配慮（身なり、態度、言葉遣い）ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	身体部位名称と肢位、運動（青本p.2～9）	③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	鎖骨（青本p.33～38）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	肩甲骨（青本p.16～25）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	肩甲骨、上腕骨（青本p.27～48）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	上腕骨、尺骨、橈骨（青本p.49～63）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	尺骨、橈骨（青本p.64～78）、手根骨総論	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	手根骨（青本p.80～89）、指骨総論	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	手根骨、指骨（青本p.90～105）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	肩甲帯、上肢帯の触診1	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	肩甲帯、上肢帯の触診2	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	胸骨、肋骨、頭蓋骨 (赤本p.268~277、286~287)	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
12	脊椎、骨盤 (赤本p.290~294、2~12)	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
13	骨盤、大腿骨、膝蓋骨、膝関節 (赤本p.14~42)	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
14	脛骨、腓骨 (赤本p.43~60)	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
15	足根骨、足趾骨 (赤本p.61~85)	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業2コマごとに小テスト (筆記) を行う (20%) ・中間試験 (34%) と期末試験 (46%) は筆記試験と実技試験の得点を合算して採点する 						
使用教科書						
運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス (上肢) / 林典雄. --改訂第2版--メジカルビュー社, 2022年12月, 978-4-7583-2093-1 運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス (下肢・体幹) / 林典雄. --改訂第2版--メジカルビュー社, 2022年12月, 978-4-7583-2094-8 コメディカルのための筋・骨格・関節・靭帯ポケットアトラス / 飯島治之、飯島美樹. --技術評論社, 2020年4月, 978-4-297-11269-1						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学アトラス 						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	小テストは採点し、返却する。また、小テスト終了後には模範解答を配布する。					
実務経験をいかした教育内容	身体障害・老年期障害領域での臨床経験から、相手が不安や不快感を感じにくい触れ方を指導する。また、筋肉のかたさや関節の動き等は個人々々によって異なるため、個人差を体感しながら技術を習得できるよう授業を展開していく。					
備考	<メッセージ> 触診技術は練習を積み重ねれば必ず上達しますので、何度も繰り返し練習しましょう。事前に予約を取っていただければ、授業時間外に一緒に練習することもできます。 <質問・相談> 質問や相談は適宜受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
解剖学演習（体表解剖 筋）		浅野莉沙				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	SBS205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）				
授業概要						
作業療法士として必要な人体の構造を理解するために、筋の走行や形状、作用といった知識を学び、併せて皮膚上からの触診を行う。授業は講義形式で基本的な知識を学び、その後ペアやグループワークで演習を行う。教科書上で学ぶ二次元的な知識を被検者の体で三次元的に捉えることで理解を深める。また、作業療法士として対象者に接する際の基本的な配慮（態度や身なり等）を修得する。						
学修の到達目標						
①筋の走行や形状、作用について説明できる。 ②体表面から筋を正確に触診できる。 ③他者の体に触れるため、相手への基本的配慮（身なり、態度、言葉遣い）ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	三角筋、大胸筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	棘上筋、棘下筋、大円筋、小円筋、肩甲下筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	僧帽筋、前鋸筋、大小菱形筋、肩甲挙筋、広背筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	小胸筋、烏口腕筋、上腕二頭筋、上腕筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	腕橈骨筋、上腕三頭筋、肘筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	円回内筋、方形回内筋、長掌筋、橈側手根屈筋、尺側手根屈筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	長・短橈側手根伸筋、総指伸筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	長・短母指伸筋、長母指外転筋、浅指屈筋、深指屈筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	肩甲帯、上肢の筋まとめ（1）	① ② ③	浅野	演習	これまでの授業ノートに目を通しておくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	肩甲帯、上肢の筋まとめ(2)	① ② ③	浅野	演習	これまでの授業ノートに目を通しておくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
11	短母指屈筋、短母指外転筋、母指内転筋、母指対立筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
12	小指外転筋、短小指屈筋、小指対立筋、虫様筋、掌側・背側骨間筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
13	腸腰筋、大腿四頭筋、縫工筋、薄筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
14	大腿筋膜張筋、中殿筋、大殿筋、ハムストリングス	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
15	前脛骨筋、下腿三頭筋、足部の筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業2コマごとに小テスト(筆記)を行う(20%) ・中間試験(34%)、期末試験(46%)は筆記試験と実技試験の得点を合算して採点する 						
使用教科書						
運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス(上肢) / 林典雄. --改訂第2版--メジカルビュー社, 2022年12月, 978-4-7583-2093-1 運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス(下肢・体幹) / 林典雄. --改訂第2版--メジカルビュー社, 2022年12月, 978-4-7583-2094-8 コメディカルのための筋・骨格・関節・靭帯ポケットアトラス / 飯島治之、飯島美樹. --技術評論社, 2020年4月, 978-4-297-11269-1						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学アトラス 						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストは採点后、返却する。					
実務経験をいかした教育内容	身体障害・老年期障害領域での臨床経験から、相手が不安や不快感を感じにくい触れ方を指導する。また、筋肉のかたさや関節の動き等は個人々人によって異なるため、個人差を体感しながら技術を習得できるよう授業を展開していく。					
備考	<メッセージ> 触診技術は練習を積み重ねれば必ず上達します。何度も繰り返し練習しましょう。事前に予約をしてもらえれば、授業外での自主練習時にアドバイスや触診の確認をすることができます。 <質問・相談> 質問や相談は適宜受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
生理学Ⅰ（動物的機能）		石田裕保				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBF101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保				
授業概要						
生理学の外界に対して反応する機能（動物的機能）全般について講義する						
学修の到達目標						
①末梢神経系と中枢神経系の働きを学び、人の感覚情報をもとにいかに関運動が起こされているかを理解する ②正常な生理機能の理解のもとに、神経障害などに伴う各種病態症状についての原因を理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	生理学について／細胞機能の基礎 体液組成、細胞構造、細胞の物質移動	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
2	細胞の興奮発生／神経細胞 興奮移動、膜電位、興奮の伝導	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
3	筋の収縮／骨格筋の構造 筋の収縮、筋収縮力学、筋のエネルギー発生	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
4	シナプス伝達／神経筋伝達 平滑筋、中枢神経系の情報伝達、神経伝達物質、シナプスの可塑性	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
5	自律神経系／交感神経・副交感神経の内臓諸器官への作用	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
6	脊髄／脊髄反射 誘発筋電図	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
7	脳幹 小脳①／脳幹の姿勢反射 小脳の神経回路	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
8	小脳②基底核／小脳と大脳協調 小脳障害 基底核の神経経路 基底核障害	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
9	大脳／運動の起動と出力	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	体性感覚／皮膚受容器 神経伝導路 大脳感覚野	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
11	味覚、嗅覚、聴覚 前庭感覚／感覚受容器 神経伝導路、大脳中枢	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
12	視覚①／網膜 視物質 視覚の中樞	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
13	視覚②／感覚としての視覚 眼球運動	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
14	脳の高次機能①／大脳の神経回路と機能 連合野機能、言語機能	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
15	脳の高次機能②／大脳辺縁系 視床下部 記憶、睡眠、脳波	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
学期末定期試験の成績による (60%)。中間テスト (40%)。						
使用教科書						
生理学 / 岡田隆夫ほか。--第6版--医学書院, 978-4-260-05318-1 生理学テキスト第9版 / 大地陸男。--文光堂, 978-4-8306-0231-3						
参考図書						
①リハビリテーションテキスト 生理学 編集;角田亘ほか medical wiew ②カラーイラストで学ぶ 第3版 集中講義生理学 編集;岡田隆夫 medical wiew						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	期末試験発表をもって伝える					
実務経験をいかした教育内容	総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験があります。また、医学教育に長く携わっており、学習方法についても熟知しています。これまでの経験から、臨床経験を踏まえ学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。					
備考						

授業科目名		担当教員				
生理学Ⅱ（植物的機能）		佐竹裕孝				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SBF202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
理学療法士・作業療法士に必要な基礎知識として、人体の植物的機能について学ぶ。生理学Ⅰで学んだ自律神経系の働き、ならびに本講義で学ぶ内分泌系との関連を理解し、循環・呼吸・消化・代謝などの調節機構を説明できることを目標とする。得られた知識を、運動や活動に伴う身体反応の理解およびリハビリテーション実践の基礎として活用する。						
学修の到達目標						
植物的機能の恒常性に関与する自律神経系および内分泌系による調節機構を理解し、①血液、②心循環機能、③呼吸機能、④消化・吸収、⑤代謝機能、⑥内分泌系、⑦腎機能などによって内部環境がどのように維持されているかを説明できる能力を身につける。さらに、⑧生殖機能について説明できるようにし、⑨理学療法・作業療法における評価および介入の基礎として活用できる力を養う。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	血液Ⅰ：血液の機能と構成	① ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第7章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
2	血液Ⅱ：止血と免疫機能	① ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第7章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
3	心臓と循環Ⅰ：心臓の興奮と刺激伝導系、心電図	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
4	心臓と循環Ⅱ：血液の拍出と血圧、血圧調節	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
5	心臓と循環Ⅲ：心周期、前負荷と後負荷、心機能曲線	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
6	心臓と循環Ⅳ：微小循環と物質交換、静脈還流、臓器循環	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
7	呼吸Ⅰ：呼吸運動と呼吸気量	③ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第9章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
8	呼吸Ⅱ：ガス交換、呼吸調節	③ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第9章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
9	消化と吸収Ⅰ：口腔・食道・胃における消化	④ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第11章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	消化と吸収Ⅱ：小腸における消化・吸収，大腸の働き	④ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第11章を事前に読んでおく（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
11	栄養と代謝：栄養代謝とエネルギー代謝	⑤ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第12章を事前に読んでおく（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
12	内分泌Ⅰ：内分泌機能とホルモン	⑥ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第13章を事前に読んでおく（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
13	内分泌Ⅱ：ホルモンの作用（各論）	⑥ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第13章を通読（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
14	腎泌尿器系：尿の生成と排泄，体液調節	⑦ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第10章を通読（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
15	生殖器系：生殖機能とホルモン調節	⑧ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第14章を通読（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
	定期試験（筆記）			試験		
評価基準・評価方法						
<p>人体の植物的機能に関する基礎的知識の理解度，恒常性の維持に関わる自律神経の働きと内分泌機能を関連づけて考察する力，実践への関連づけの理解度を，定期試験（100%）を通して総合的に評価する。</p>						
使用教科書						
<p>標準理学療法学・作業療法学 [専門基礎分野] 生理学（第6版） / 岡田隆夫，鈴木敦子，渡邊マキノ，村松憲，兼重美希，—岡田隆夫，鈴木敦子，渡邊マキノ—医学書院，2023年，978-4-260-05318-1 教科書や参考図書から作成した資料（レジメ）を配布し，この資料を基本にして講義する。</p>						
参考図書						
<p>精解 生理学，桑名俊一（編・著），2025，理工図書，ISBN 978-4-8446-0972-8 シンプル生理学（改訂8版），貴邑富久子・根来英雄（著），2021，南江堂，ISBN 978-4-524-22655-9 系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能1解剖生理学（12版），酒井建雄・宇賀貴紀・小野富三人（編），2026，医学書院，ISBN 978-4-260-06184-1</p>						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題に対してコメントを付して回答・返却する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	講義時間中や授業終了後に，講義内容に関する質問などを受け付けます，					

授業科目名		担当教員				
生理学演習		竹中孝博・加藤清人（代表教員 竹中孝博）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	SBF203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）、加藤清人（作業療法士）				
授業概要						
<p>生理学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を演習により確認する。動物的生理学では神経や筋の組織観察を基に、筋の活動や生化学反応の観察を行う。植物的生理学では、血圧、心拍、体温、呼吸などの測定を行う。誘発筋電図は筋電計を用いて、実際に被験者の波形をとったり、グループワークでまとめる方法を用いて学習する。その他の項目は、地域在住高齢者の協力を得て、実際に測定、分析を行うことで、理解を深める学習を行う。これらのデータの収集・分析により、岐阜市洞末広町自治会の「健康長寿を基盤とする活力ある地域づくり」という課題の解決に学生を主体的に関与させることを目的としている。</p>						
学修の到達目標						
<p>①作業療法の治療・評価にはこれらの生理学的な原理が用いられているため、演習を通して生理学の知識の確認を目標とする。 ②実際に測定する技術を身につけることを目標とする。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	自律神経系概要	①	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
2	自律神経系	① ②	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
3	自律神経系	① ②	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
4	自律神経系	① ②	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
5	誘発筋電図	① ②	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
6	誘発筋電図	① ②	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
7	誘発筋電図	① ②	竹中、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
8	高齢者と成人の比較(認知機能)	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	高齢者と成人の比較(注意機能)	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	高齢者と成人の比較（精神機能）	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	高齢者と成人の比較（身体機能）	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	高齢者と成人の比較（歩行機能）	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	高齢者と成人の比較（基本的日常生活機能）	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	高齢者と成人の比較（手段的日常生活機能）	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	高齢者の各機能の特徴の検討	②	加藤、他	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	レポート課題					
評価基準・評価方法						
複数のレポート課題の内容で判定する。						
使用教科書						
生理学テキスト / 大地睦男.--第9版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-0229-0						
参考図書						
適宜配布資料を用いる。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポート課題提出後1週間以内に個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	地域住民主体の通いの場や通所事業所における介護予防に関する実務経験（10年以上）を踏まえ、地域在住高齢者の心身機能の特徴の理解や高齢者との対応を理解することで、将来地域で活動できる作業療法士の知識と実践力を身に着けられるように授業を展開していく。					
備考	準備するものは事前にオリエンテーションを行う。演習を通して、グループで考察をしていくため、能動的に学習することをすすめる。					

授業科目名		担当教員				
運動学総論		堀 信宏				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBF104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)				
授業概要						
<p>運動学は人の身体運動の仕組みに関する学問です。動作や活動の改善を求める理学療法士・作業療法士にとって基礎となります。講義では「骨・関節・筋・神経」の解剖と、運動を解釈するための「力学」、日常生活の基本となる「姿勢・歩行」を学習します。これらの複数の視点から人の動作や活動を捉え理解を進めることで、障害者が「何故動けなくなるのか」が見えてきます。</p>						
学修の到達目標						
<p>①人の運動・姿勢を捉えるための筋・骨・関節・神経の基礎を学ぶ。 ②力学の基礎を理解する。例題を通じて解き方を理解し、国家試験問題を解けるようにする。 ③バランス・姿勢・歩行の基礎知識を学び、異常姿勢・異常歩行を説明できるようにする。 ④学習理論に基づき、運動学習を学ぶ。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	身体運動の軸と面、および運動の名称(方向)	①	堀	講義	テキストp.13-14, 基礎運動学p.160-161を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
2	運動器の構造と機能(骨)	①	堀	講義	基礎運動学p.29-36を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
3	運動器の構造と機能(関節)	①	堀	講義	テキストp.12-16, 基礎運動学p.36-41を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
4	運動器の構造と機能(筋の構造)	①	堀	講義	テキストp.16-17, 基礎運動学p.41-52を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
5	運動器の構造と機能(筋の収縮)	①	堀	講義	テキストp.18-20, 基礎運動学p.52-58を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
6	運動器の構造と機能(神経)	①	堀	講義	基礎運動学p.66-95を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
7	生体力学の基礎1(運動の法則, 仕事, 速度など)	②	堀	講義	テキストp.2-10, 基礎運動学p.165-192を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
8	生体力学の基礎2(てこ, 剛体など)	②	堀	講義	テキストp.2-10, 基礎運動学p.165-192を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
9	生体力学を用いた計算	②	堀	講義	講義7-8回で学習した内容を理解しておきましょう(30分)	計算問題の解き方を修得しておきましょう(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	姿勢（重心，支持基底面）	③	堀	講義	テキストp.110-112, 基礎運動学 p.299-308, 327-332を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
11	姿勢（姿勢制御・バランス）	③	堀	講義	テキストp.112-118, 基礎運動学 p.310-325を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
12	正常歩行1（歩行周期，歩幅，ケイデンスなど）	③	堀	講義	テキストp.119-138, 基礎運動学 p.335-340, 363-388を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
13	正常歩行2（歩行時の関節の動き，筋活動，重心移動など）	③	堀	講義	テキストp.119-138, 基礎運動学 p.335-340, 363-388を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
14	異常歩行	③	堀	講義	テキストp.127-128, 基礎運動学 p.394-398を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
15	運動学習	④	堀	講義	テキストp.139-149, 基礎運動学 p.455-488を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
中間試験①（講義1-6），中間試験②（講義7-9），期末試験（講義10-14）の合計3回実施（再試験の範囲は講義1-14）						
評価基準・評価方法						
試験は中間試験2回と期末試験1回の計3回実施する。試験範囲は1～6回目の講義（中間試験①），7～9回目の講義（中間試験②），10～14回目の講義（期末試験）となる。15回目の講義はテスト範囲から除外する。中間試験と期末試験の総得点を100%として評定する。再試験は期末試験後に1回，全範囲（講義1-14）を試験範囲として実施する。						
使用教科書						
基礎運動学 第7版 / 中村隆一ほか.--藤澤宏幸ほか--医歯薬出版，2025年，978-4-263-26682-3 15レクチャーシリーズ 理学療法作業療法テキスト運動学 第2版 / 小島悟責任編集--中山書店，2024年，978-4-521-74905-1						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> PT/OT国家試験対策ワークブック計算問題，川島圭司著，医歯薬出版，2017 PTOT基礎から学ぶ運動学ノート第3版，中島雅美，医歯薬出版，2023 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	小テスト（プチテスト+国家試験問題）を講義後に，またはGoogle Formsを用いて実施する。フィードバックは実施時に行われる。中間，期末試験のまとめとして活用してください。					
実務経験をいかした教育内容	専門基礎科目であるが，医療機関での実務経験を基に実際の症例の病態を踏まえた講義を実施し，基礎知識の定着を図る。					
備考	本講義は理学療法/作業療法の基礎となる科目です。講義内容は3部構成としそれぞれの範囲で試験を行います（3回の試験の合計で評定）。再試験の場合は全範囲（3回分）が対象となりますので注意すること。毎回，ワークシート配布と小テストを実施します。講義のまとめや復習に活用してください。					

授業科目名		担当教員				
運動学各論		曾田直樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SBF205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)				
授業概要						
ヒトの関節の特徴をバイオメカニクスの観点からその動きを理解することを目的とする。またその理論に基づき骨関節機能障害学や骨関節治療技術、病態運動学、動作分析への応用を学習できることを期待する。講義ではグループでのディスカッションやディベートを行い理解を深めていく。						
学修の到達目標						
①上肢の解剖学について理解できる。 ②下肢の解剖学について理解できる。 ③上肢の運動学について理解できる。 ④下肢の運動学について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	概論：筋の走行と軸と面の関係、筋肉の役割について	① ② ③ ④	曾田	講義		授業内容の復習をすること(60分)
2	肩関節：肩甲上腕関節の機能	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
3	肩関節：第2肩関節の役割について	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
4	肩関節：肩甲胸郭関節の役割について	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
5	肘関節：肘関節に付着する靭帯について	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
6	肘関節：回内・回外運動のメカニズム	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
7	手関節：掌屈・背屈のメカニズム	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
8	手関節：手関節の靭帯・筋肉	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
9	股関節：下肢のアライメント、股関節に付着する靭帯	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	股関節：股関節周囲筋の役割	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
11	膝関節：特徴的な動き・アライメント	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
12	膝関節：筋肉、半月板の役割	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
13	足関節：骨の構造、底屈・背屈のメカニズム	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
14	足関節：靭帯・筋肉について	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
15	上肢および下肢の解剖学と運動学について	① ② ③ ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
	定期試験 (筆記)					

評価基準・評価方法

評価基準：知識・理解、学修態度・意欲を重視
 評価方法：期末試験 (90%)、態度・意欲 (小テスト、授業参加度など) にて総合的に判断する。

使用教科書

参考図書

・筋骨格系のキネシオロジー 原著：Donald A 監訳：島田智明ら 医歯薬出版株式会社

課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	講義内で答えなどを解説
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での経験に基づいて、リハビリに必要な各関節の機能解剖や運動学を教授している。
備考	2024年度以降入学生対象

授業科目名		担当教員				
運動学演習		加藤清人・竹中孝博（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SBF406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)、竹中孝博(作業療法士)				
授業概要						
<p>(筋電) 日常生活には動作に伴って様々な筋活動が観察される。その筋活動を筋電図や観察を通して分析していく。 (歩行) 歩行に関する基本事項を整理した上で、実際に身体機能(握力、筋力量など)や歩行動作中のデータを収集し、それに対して複数の処理・解析を行なった上で、高齢者の特性を理解するための考察を行う。なお、高齢者のデータ収集に関しては、岐阜市洞末広町自治会の地域在住高齢者の協力を得て実施する。これらのデータの収集・分析により、岐阜市洞末広町自治会の「健康長寿を基盤とする活力ある地域づくり」という課題の解決に学生を主体的に関与させることを目的としている。なお、身体機能や歩行のデータ収集の練習に関しては体育館または運動広場(バスケットコート)にて行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>(筋電) ①日常生活動作に伴う筋活動を筋電計を通して正しく測定、観察にて分析ができるようになる。 (歩行) ②身体機能や歩行の基本的知識を修得し、実際の身体機能ならびに歩行動作の分析ができる。 ③身体機能や歩行に関連したデータを正確に収集でき、その解析についても妥当な内容で実践できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	歩行の基礎、筋電図(1)	①	竹中他	講義	オリエンテーション資料、歩行にかかわる基礎に目を通しておく(30分)	学習計画を立案すること、必要な知識を確認しておくこと(30分)
2	筋電測定(2)	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
3	筋電測定(3)	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
4	筋電測定(4)	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
5	筋電測定(5)	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
6	筋電測定(6)	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
7	データの整理と考察	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
8	高齢者に対する評価の概要	②	加藤他	演習	演習課題について整理しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)
9	アクティブ・ラーニング 高齢者に対する評価、データ収集(末広町)(1)	② ③	加藤他	演習	身体機能・歩行評価を確認しておく(30分)	演習内容の要点をまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	アクティブ・ラーニング 高齢者に対する評価、データ収集（末広町）（2）	② ③	加藤 他	演習	身体機能・歩行評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
11	アクティブ・ラーニング 高齢者に対する評価、データ収集（末広町）（3）	② ③	加藤 他	演習	身体機能・歩行評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
12	アクティブ・ラーニング 高齢者に対する評価、データ収集（末広町）（4）	② ③	加藤 他	演習	身体機能・歩行評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
13	アクティブ・ラーニング 高齢者に対する評価、データ収集（末広町）（5）	② ③	加藤 他	演習	身体機能・歩行評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
14	アクティブ・ラーニング データの整理と考察（末広町）	② ③	加藤 他	演習	文献の準備、収集した結果のデータ整理、分析方法について確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
15	アクティブ・ラーニング データの整理と考察（末広町）	② ③	加藤 他	演習	文献と結果を踏まえ、自身の考えを整理しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
	レポート課題・データ分析課題					
評価基準・評価方法						
課題100%として判定する。						
使用教科書						
基礎運動学 / 中村隆一ほか、--第6版補訂--医歯薬出版、2003年12月、978-4-263-21153-3						
参考図書						
適宜配布資料を用いる。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題提出後1週間以内に個別もしくはグループにてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	地域住民主体の通いの場や通所事業所における介護予防の実務経験（10年以上）から、地域在住高齢者の身体機能の特徴の理解や高齢者との対応、また、将来地域で活動できる作業療法士の知識と実践力を身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	準備するものは事前にオリエンテーションを行う。演習を通して、グループで考察をしていくため、能動的に学習することをすすめる。 測定内容について屋外で実施するものもあるため、G館奥の運動広場(バスケットコート)で測定の練習を行う。					

授業科目名		担当教員				
人間発達学		大森周太郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SDM101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 作業ディプロマポリシー(2)(3)(4) の達成に寄与している。						
授業概要						
人間の胎生期から老年期までの身体的発達と心理的発達の主要な現象を取り上げ講義する。新生児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、中年期、老年期の基本的な特徴について、生物学的な面のみならず社会とのかかわりの中で複雑に発達していく過程に関する理解を深め、医療関係者として必要な知識、応用技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①人間の発達段階の特徴を理解する ②小児期の重要性を広く理解する ③発達と環境、文化との関連を正しく認識する ④青年期の特徴と重要性について理解を深める ⑤中年期～老年期の変化の実態を把握する ⑥学んだ知識を実生活ならびに医療関連の仕事に生かす						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人間の発達の特徴	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
2	人間の本能と行動	① ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
3	胎生期から誕生へ	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
4	乳幼児の発育と発達	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
5	子どもの身体発育発達に影響する因子	② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
6	身体発育の指標	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
7	子どもの心の発達	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
8	幼児～学童の運動機能	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
9	小児栄養	① ② ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	小児期の発達障害、疾病	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
11	青年期の身体的、心理的発達	① ④	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
12	中年期における心身の変化と人間としての成長、発達	① ⑤	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
13	老年期における心身の変化と日常生活	⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
14	老化の進展と健康	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
15	超高齢社会の人間発達学	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法

評価基準：専門的な知識の修得と講義内容の理解を重視。専門用語を用いて現象を理解し、説明する能力を評価する。従って、試験問題には、記述問題を半数出題する。
 評価方法：筆記試験ならびに適時提出を求める課題(レポート)によって行う。評価割合はそれぞれ90%、10%

使用教科書

人間発達学 ヒトはどう育つのか / 竹下研三 著。--中央法規出版, 2009年, 978-4-8058-3096-3

参考図書

その都度、講義時間に紹介する。

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験についての内容や勉強法については、授業中に詳しく説明します。
実務経験をいかした教育内容	
備考	修得すべき知識が多いので、個々の知識を体系化し、相互に関連づけて記憶するように努めること。課題や試験問題に対する解説はその都度行う。在学時の質問は随時、受け付ける。メール等による質問も歓迎するが、学務課経由でお願いしたい。

授業科目名		担当教員				
病理学概論		武内康雄・林 将大 (代表教員 武内康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	SDS201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)				
授業概要						
病気を引き起こす原因を、病気の捉え方の歴史的移り変わりとともに概論で解説する。次いで、病気の状態を大きく、代謝異常、循環障害、炎症と免疫、進行性病変、腫瘍、老化、先天異常と奇形に分類し、それぞれの病的状態に見られる変化を分かりやすく解説する。						
学修の到達目標						
①変性と化生、炎症と免疫、循環障害の病態病理の概要を説明できる。 ②代謝障害、遺伝子異常、先天異常、老化の概要を説明できる。 ③腫瘍の病理学的分類を説明でき、腫瘍発生のメカニズムや治療法を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	病気と病理学	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
2	細胞の異常-変性、化生、再生、修復	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
3	先天異常	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
4	循環障害(1)循環系の働き、出血と凝固	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
5	循環障害(2)虚血と梗塞、血圧異常、疾患と病態	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
6	代謝異常(1)	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
7	代謝異常(2)	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
8	老化	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
9	感染と感染症(1)感染症と病原体	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感染と感染症（２）感染症の発症と防御機構	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
11	免疫機構と免疫異常（１）免疫機構と疾患	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
12	免疫機構と免疫異常（２）再生医療、炎症	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
13	腫瘍（１）腫瘍の分類	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
14	腫瘍（２）癌の特性	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
15	腫瘍（３）腫瘍マーカー診断、治療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
期末試験（100％）で成績評価を行う。						
使用教科書						
なるほど なっとく！ 病理学病態形成の基本的なしくみ / 小林正伸、--2019年--南山堂、改訂2版、978-4-525-15162-1						
参考図書						
大橋健一、谷澤 徹、藤原正親、柴原純二著 「系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①」（医学書院）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	試験解答の一部を公開する。					
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、病気の成り立ちについて講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
内科学		武内康雄・平野智久・山本眞由美・高田信幸・多田晃司・古田弥生 (代表教員 武内康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義		SDS402	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)、平野智久(医師)、山本眞由美(医師)、高田信幸(医師)、多田晃司(医師)、古田弥生(看護師)				
授業概要						
内科系疾患などの病態・診察・診断・治療について、およびそのアプローチを学ぶ。						
学修の到達目標						
①各論としては循環器系、代謝、内分泌系、消化器系、腎臓疾患、呼吸器系、血液疾患など、実際の理学療法に関連性の高い疾患を中心に学修し、概要を説明することができる。近年重要性が増している予防医学についての基礎知識の概要説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	循環器分野① 心臓の解剖、生理や虚血性心疾患、不整脈などについて学習する	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
2	循環器分野②	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
3	循環器分野③	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
4	代謝・内分泌分野① 糖尿病の病態・機序・合併症・治療について学ぶ	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
5	代謝・内分泌分野② 肥満・メタボリック症候群を中心に代謝疾患について学ぶ	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
6	代謝・内分泌分野③ 内分泌疾患の種類と機序について学ぶ(間脳・下垂体、甲状腺、副腎を中心に)	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
7	消化器分野① 生体維持の基本となる消化器疾患について学ぶ	①	古田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
8	消化器分野②	①	古田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
9	腎臓器疾患① 腎臓機能障害について学習する	①	多田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	腎臓器疾患②	①	多田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
11	呼吸器分野① 呼吸器機能の基礎と呼吸器疾患全般について学ぶ	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
12	呼吸器分野②	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
13	呼吸器分野③	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
14	呼吸器分野④	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
15	血液疾患 血液疾患について学ぶ	①	武内	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
中間試験+定期試験 (100%)						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 / 鎌倉矩子ほか監修.--第5版--医学書院, 2024年10月, 978-4-260-05608-3						
参考図書						
	課題・レポートは実施しない。					
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法						
実務経験をいかした教育内容	各分野の専門医や看護師より、実務経験を生かした具体的な症例提示などを交えて講義をおこなう。					
備考						

授業科目名		担当教員				
整形外科学		西本 裕				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義		SDS403	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		西本裕(医師)				
授業概要						
運動器の外傷、疾患について、病因、経過、診断法、治療法を概説する。						
学修の到達目標						
①骨、関節、靭帯、筋肉、末梢血管、脊髄、末梢神経の損傷、障害について述べるができる。 ②筋、骨格系の感染症、腫瘍、先天異常、発育障害、関節リウマチ、骨粗鬆症を含む代謝疾患、退行性疾患など整形外科的疾患について述べるができる。 ③骨折治療、脊椎固定術、人工関節置換術時に用いる生体内人工材料にとって必要な条件、体内での経過について理解できる。 ④骨格系の欠損、障害に対する再建法について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	骨折の病態、診断	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
2	骨折の治療	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
3	上肢の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
4	下肢の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
5	疲労骨折、筋肉の損傷、区画症候群	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
6	体幹の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
7	脊髄損傷	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
8	脊椎退行性疾患、絞扼性神経障害	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
9	関節退行性疾患	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	関節リウマチ	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
11	骨関節感染症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
12	骨・軟部腫瘍	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
13	先天異常、発育障害、側弯症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
14	循環障害、骨端症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
15	骨粗鬆症を含む代謝疾患	③	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
毎回のミニテスト (25%)、定期試験 (75%)						
使用教科書						
標準整形外科学 / 田中栄ほか監修。--第16版--医学書院、2026年、978-4-260-06010-3						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回、前回のミニテストへの全体的講評。定期試験については、解答例を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容	科目担当者は医療機関に勤務。その実務経験をもとに整形外科学について話をする。					
備考	履修にあたり、解剖学、生理学、運動学、病理学概論の知識は必須である。					

授業科目名		担当教員				
神経内科学		木村暁夫・下畑享良・山田 恵・吉倉延亮・竹腰 顕・下郷雅也・大野陽哉・森 泰子・山原直紀 (代表教員 木村暁夫)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SDS404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		下畑享良(医師)、木村暁夫(医師)、山田恵(医師)、吉倉延亮(医師)、竹腰顕(医師)、下郷雅也(医師)、大野陽哉(医師)、森泰子(医師)、山原直紀(医師)				
授業概要						
<p>①神経内科で扱う神経疾患の病態・診断・治療法について学び、理解を深める。</p> <p>②個々の神経疾患における障害部位・認められる神経学的異常所見・異常検査所見に関し理解を深める。</p> <p>③個々の神経疾患の治療の現状およびリハビリテーションの意義・注意点を理解する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①個々の神経疾患の疾患名と病態に関し理解し、診断・治療法に関して具体的に説明できる。</p> <p>②個々の神経疾患におけるリハビリテーションの必要性和施行時の注意点を理解できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経変性疾患Ⅰ(パーキンソン病)	① ②	下畑	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
2	神経変性疾患Ⅳ(運動ニューロン疾患)	① ②	下畑	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
3	神経変性疾患Ⅱ(パーキンソン関連疾患)	① ②	山田	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
4	神経変性疾患Ⅲ(脊髄小脳変性症)	① ②	山田	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
5	認知症(アルツハイマー型認知症)	① ②	吉倉	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
6	認知症(非アルツハイマー型認知症)	① ②	吉倉	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
7	免疫性神経疾患(重症筋無力症など)	① ②	木村	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
8	免疫性神経疾患(多発性硬化症など)	① ②	木村	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
9	末梢神経障害Ⅰ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経障害Ⅱ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
11	筋疾患Ⅰ	① ②	下郷	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
12	筋疾患Ⅱ	① ②	下郷	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
13	頭部外傷・脊髄損傷	① ②	大野	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
14	脳腫瘍	① ②	山原	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
15	脳炎・脳症	① ②	森	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
	定期試験 筆記		木村			
評価基準・評価方法						
定期試験 (80%)、授業への取り組み姿勢 (20%) など総合的に判断						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 / 鎌倉矩子ほか編集。--第6版--医学書院, 2024年, 978-4-260-05667-0						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> 臨床のための脳局所解剖学 (中外医学社) 神経内科ハンドブック 鑑別診断と治療第5版 (医学書院) 全ての内科医が知っておきたい神経疾患の診かた、考え方とその対応 (羊土社) 						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	試験について過去問題等の資料を配布					
実務経験をいかした教育内容	神経内科の臨床現場で扱う疾患の病態・診断・治療法等について、脳神経内科医師らにより解説を行う					
備考	理学療法士 作業療法士国家試験問題解答と解説 (医師薬出版編)					

授業科目名		担当教員				
精神医学		宮地幸雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	SDS205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		宮地幸雄(臨床心理士)				
授業概要						
精神疾患についての基本的知識並びに精神疾患を罹患した人との基本的な援助方法を学ぶ。						
学修の到達目標						
①精神医学の基礎的な部分について理解を深める。 ②精神疾患の症例をを理解することができる。 ③臨床場面で援助方法の基本が活用できるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人が生きるということについてを考える。	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
2	自殺について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
3	精神医学の歴史について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
4	こころの発達と防衛機制について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
5	臨床心理検査について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
6	よくみられる精神症状についてーその1	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
7	よくみられる精神症状についてーその2	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
8	統合失調症についてーその1	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
9	統合失調症についてーその2	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感情障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
11	心因性精神障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
12	知的障害・発達障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
13	心理療法について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
14	チームアプローチについて	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
15	医療従事者の姿勢について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験(100%)で評価する						
使用教科書						
精神医学テキストー精神障害の理解と治療のために / 上島国利ほか。--改訂第5版--南江堂, 2023年, 978-4-524-22866-9						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	随時質問を受け付け回答及びコメントをする。					
実務経験をいかした教育内容	講師は臨床心理士。非医師であるが、臨床現場の話として精神科病院での事例を提示し授業を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
小児科学		松井永子・堀田 亮 (代表教員 松井永子)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義	SDS406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松井永子(医師)、堀田亮(臨床心理士)				
授業概要						
小児はただ単に体の小さな成人ではなく、つねに成長発達をする存在である。罹患しやすい疾患についても年齢によって異なる。このような小児の特徴を理解することが重要である。						
学修の到達目標						
①胎児・新生児期および小児特有の生理・病態生理を理解し、説明することができる。 ②胎児から子供の誕生、そして成長し次世代の子供を持つまでをひとつのLife cycle と捉え、この成長過程における生理と病態生理を理解し、説明することができる。 ③子供のCommon Disease ,特有な疾患を理解し説明することができる。すなわち、子供がよく罹患する疾患、頻度は低い子供特有な疾患について病態・診断・治療、予防法を学ぶ。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	小児科概論 成長と発達	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
2	成長と発達	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
3	新生児と疾患	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
4	先天異常 遺伝病	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
5	神経、筋疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
6	神経、筋疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
7	循環器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
8	消化器疾患、内分泌疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
9	血液疾患、腫瘍性疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	腎、泌尿器疾患、目、耳の疾患 等	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
11	呼吸器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
12	感染症	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
13	アレルギー免疫疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
14	こころの病気、障害	③	堀田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
15	発達、心理検査	③	堀田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
筆記試験 (80%) 課題・レポート (20%)						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 小児科学 / 奈良 勲ほか監修.--第6版--医学書院, 2023年, 978-4-260-05013-5						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題レポートは評価後返却					
実務経験をいかした教育内容	小児科臨床経験30年の実務経験を生かし、具体的な症例提示などを交えて講義する。					
備考	資料などにて補足説明を行う。					

授業科目名		担当教員				
リハビリテーション医学		西本 裕				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SDB201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		西本裕(医師)				
授業概要						
① 疾病と障害の違い、障害のとらえ方を理解する(1, 2, 4)。 ② 脳血管障害のリハビリテーションについて理解する(3, 5-8)。 ③ 内部障害のリハビリテーションについて理解する(9, 10) ④ 運動器リハビリテーションについて理解する(11, 12) ⑤ 感覚器障害のリハビリテーションについて理解する(13) ⑥ リハビリテーションの根拠について考察し、創造的な思考を養う(14, 15)。						
学修の到達目標						
医療、福祉の領域でリハビリテーション医学の立場を説明することができ、実践時にどのように応用されているかについて述べるができる。 ①疾病と障害の違い、障害のとらえ方を説明できる。 ②脳血管障害のリハビリテーションについて説明できる。 ③内部障害のリハビリテーションについて説明できる。 ④運動器リハビリテーションについて説明できる。 ⑤感覚器障害のリハビリテーションについて説明できる。 ⑥リハビリテーションの根拠について考察し創造的に考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションの実際、ICF	①	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
2	機能評価	①	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
3	脳卒中のリハビリテーション(ADL障害、QOLについて)	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
4	障害分類、FIM(Functional Independence Measure)	①	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
5	高次脳機能障害	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
6	運動療法	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
7	嚥下障害のリハビリテーション	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
8	排尿障害のリハビリテーション	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
9	心疾患のリハビリテーション	③	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器のリハビリテーション	③	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
11	切断と義足・義手	④	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
12	装具・杖と車椅子	④	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
13	平衡機能障害・聴力障害・視力障害	⑤	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
14	障害者スポーツ	⑥	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
15	廃用症候群	⑥	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
毎回のミニテスト (25%)、定期試験 (75%)						
使用教科書						
リハビリテーションに関連する医学のトピックスに日頃から関心を持ち、情報収集するように心がけることが重要である。 様々な障害について、想像力を働かせて思いを寄せ、それ基に情報を収集する習慣をつける。						
参考図書						
PT・OT・ST・ナースを目指すひとのためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説 改訂第4版、診断と治療社、 椿原彰夫編著、2023年 ISBN:978-4-7878-2627-5 義肢装具のチェックポイント 第9版 医学書院、2021年、日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、 ISBN:978-4-260-04589-6						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回、前回のミニテストへの全体的講評。 定期試験については、解答例を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容	科目担当者は医療機関に勤務。その実務経験をもとにリハビリテーションの概要について話をする。					
備考						

授業科目名		担当教員				
老年医学		武内康雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SDB202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)				
授業概要						
<p>老化と疾病は密接な関係にあり、その両面から障害を捉えなければならない。この講義では老化についての生理学的変化や能力的変化を整理し、老年期症候群、認知症、廃用症候群など高齢者特有の疾患について解説する。さらに種々の疾患について高齢者の特徴を概説するとともに、容易に寝たきりに移行しうる危険性が高いことについて触れる。</p>						
学修の到達目標						
<p>①高齢者の生理的・病的変化を理解し、老年症候群の症状を10以上挙げて説明できる。 ②高齢者に多い循環器・呼吸器・消化器・骨運動器・精神・神経・内分泌・血液免疫・腎泌尿器・皮膚口腔・耳鼻咽喉・眼疾患について、疾患を挙げて説明できる。 ③高齢者の医療・看護・介護・福祉について理解し、リハビリテーション・終末期医療について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	老化と老年病の考え方、加齢に伴う生理機能の変化	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
2	加齢に伴う運動機能・精神心理面の変化、性差医療からのアプローチ	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
3	高齢者の定義および人口動態、高齢者との接し方、高齢者の機能評価	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
4	高齢者の薬物療法の考え方、高齢者に多い症候と老年症候群	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
5	老年症候群、循環器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
6	循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
7	呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
8	骨・運動器疾患、神経疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
9	精神疾患、内分泌代謝疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	内分泌代謝疾患、血液免疫疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
11	腎疾患、泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
12	感染症、耳鼻咽喉疾患、眼疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
13	東洋医学・老年学からのアプローチ、社会学・経済学から見た高齢社会	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
14	高齢者の医療、看護、介護・福祉、保健、高齢者のリハビリテーション	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
15	高齢者の退院支援、高齢者の終末期医療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
	定期試験(筆記)	① ② ③	武内			
評価基準・評価方法						
期末筆記試験100%						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第6版 / 大内慰義ら.--大内慰義--医学書院, 2025年1月, 978-4-260-05671-7						
参考図書						
適時紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験解答の一部を公開する。					
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、老年期の病気の成り立ちについて講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
公衆衛生学		岸田敏彦				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	SAR201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		岸田敏彦(元・北保健センター長)				
授業概要						
公衆衛生学は社会や集団を対象とした医学であり、個人の心身の疾病予防、健康の保持増進に止まらず、高齢社会対策、社会福祉、環境保全ならびに環境汚染防止など、社会全体、時に全地球をも対象とした多岐にわたる内容から構成されている。個人の健康を対象とした臨床医学とは異なる面からも人間及び社会と健康との関わりについて考えるとともに、その実践に必要な知識と技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①公衆衛生学とは何か。公衆衛生学の内容と適応範囲について理解する。 ②公衆衛生学の必要性についてが理解する。 ③日本の健康の現状を知り、公衆衛生学が時代とともに変化、発展していくことを学ぶ。 ④疾病の予防について公衆衛生学の面から考える。 ⑤環境問題について環境衛生学の立場から理解を深める。 ⑥健康増進活動の実態と効果について公衆衛生学的な視野からの考え方を身に付ける。 ⑦公衆衛生学で学んだことを実生活や実務に役立てる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	公衆衛生学概要 公衆衛生学とは 健康とは	①	岸田	講義		授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
2	我が国の健康レベルの現状(1) 人口、人口動態統計等	① ②	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
3	我が国の健康レベルの現状(2) 小児高齢化、平均寿命、健康寿命	② ③	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
4	疾病の原因を探る 疫学(1) 疫学の基礎、手法、疾病予防と疫学	② ③ ④	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
5	疫学(2) 感染症の疫学とその予防対策	② ③ ④	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
6	環境と人 大気、水、環境汚染、食環境など、環境と健康の関り	⑤ ⑥	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
7	健康管理・健康増進活動の展開	④ ⑥ ⑦	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
8	社会保障のシステム 社会保障、社会福祉、医療制度 社会を支える各制度について	③ ④ ⑦	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
評価基準：公衆衛生学に関する基礎知識、理解度及び公衆衛生的思考法の確立の度合いを評価する 評価方法：筆記試験ならびに課題(小テストまたはレポート)による。 割合はそれぞれ90%,10%	
使用教科書	
イラスト公衆衛生学 / 石川哲也.--第6版--東京教学社, 2023年, 978-4-808-26089-7	
参考図書	
国民衛生の動向 2025/2026 雑誌コード03854-08 厚生指針 8月号増刊(厚生労働統計協会)、その他随時紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業中に提出を求める小テストやレポートに関して、授業の最後に理解しているか回答やレポートの論点を確認する。
実務経験をいかした教育内容	大学での衛生、公衆衛生研究に加えて、長年の衛生行政の関わりから 保健衛生統計、地域保健活動、健康増進計画の企画立案及び調査など、現場における公衆衛生全般の経験をいかし、授業を進めていく。
備考	

授業科目名		担当教員				
画像診断学		竹中孝博・加藤清人・永井貴士・古桧山建吾 (代表教員 竹中孝博)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習	SAR802		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博(作業療法士)・加藤清人(作業療法士)・永井貴士(作業療法士)・古桧山建吾(作業療法士)				
授業概要						
神経疾患、運動器疾患及び内部疾患における主要な画像評価に関して、その概要及び方法を学習する。画像読影では実際の画像を活用し、そこから読み取ることができる病態や症状などについて学ぶ。						
学修の到達目標						
①特にレントゲン、CT、MRI、心電図などについて臨床等で必要な情報を得ることができる。 ②実際の画像から疾患、症状を予測し、それを評価・介入に繋げることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、医療画像の基礎	①	古桧山	講義	教科書の序章部分を精読(120分)	講義で提示した課題(120分)
2	神経系疾患における画像読影の基礎	①	古桧山	講義	教科書p.2-45をまとめる(120分)	講義で提示した課題(120分)
3	神経系疾患における画像読影演習	① ②	古桧山	演習	前回の講義で提示した課題(120分)	講義で提示した課題(120分)
4	運動器画像(上肢)	① ②	竹中	講義	教科書の運動器画像の範囲を精読しておく(120分)	講義で提示した内容をまとめる(120分)
5	運動器画像(下肢)	① ②	竹中	講義	教科書の運動器画像の範囲を精読しておく(120分)	講義で提示した内容をまとめる(120分)
6	運動器画像(体幹)	① ②	竹中	講義	教科書の運動器画像の範囲を精読しておく(120分)	講義で提示した内容をまとめる(120分)
7	嚥下造影検査の画像を理解する	① ②	加藤	講義	嚥下機能に関わる解剖と嚥下のしくみについて事前に整理しておく(120分)	講義で提示した課題を取り組み、各期の嚥下状態を見極めることができる(120分)
8	心電図の波形を理解する。	① ②	永井	講義	生理学の教科書など、心臓の機能に関連する指定教科書の復習(120分)	講義で提示した課題(120分)
	課題の整理					

評価基準・評価方法	
課題（80％）及び演習への貢献度（20％）で評価する。	
使用教科書	
基礎から学ぶ画像の読み方 / 中島雅美. --医歯薬出版, 第3版, 978-4-263-26590-1	
参考図書	
PT・OTのための画像評価に基づく疾患別ケーススタディ 第1版/奈良勲、浅井仁、柴田克之 編, 第1版, 三輪書店, 2019年, ISBN978-4-89590-678-4	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義・演習中にフィードバックの時間を設ける
実務経験をいかした教育内容	病院・施設での職務経験をもとに、実際に病院・施設での勤務中に行う画像読影を知識に裏付けされた実践方法を教育する。
備考	

授業科目名		担当教員				
リハビリテーション栄養学		久保和弘				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	SAR103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>栄養素は身体のエネルギー源であると同時に、身体の構成要素である。栄養状態は過剰でも不足でも心身機能に大きな影響を及ぼすため、リハビリテーションに求められる全人的な評価の一つの要素として患者の状態を正しく評価することが求められている。本科目では、各栄養素の基本的な性質や働き、基本的な栄養評価方法を理解するとともに、身体における栄養の役割を学習し、医療者に求められる栄養学の基礎を構築することを目標とする。</p>						
学修の到達目標						
<p>各栄養素の基本的な性質や働きについて学び、リハビリテーションにおける栄養学の必要性について説明できる。 ①各栄養素の性質や働きを説明することができる ②基本的な栄養・代謝障害について説明できる ③基本的な栄養評価方法を説明できる ④栄養不良や過栄養の身体への影響を説明できる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションにおける栄養の重要性・概念	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
2	糖質・食物繊維の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
3	たんぱく質・アミノ酸の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
4	脂質・脂肪酸の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
5	ビタミンの栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
6	ミネラル・水分の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
7	基本的な栄養評価方法を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
8	身体活動・エネルギーの栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験（100％）により評価する。	
使用教科書	
リハベリック 生化学・栄養学 / 内山靖、藤井浩美、立石雅子 編.--第2版--医歯薬出版, 2024年, 978-4-263-26756-1	
参考図書	
<p>いずれも閲覧・ダウンロード可</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本人の食事摂取基準 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/eiyou/syokuji_kijyun.html ●国民健康・栄養調査 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html ●日本食品標準成分表 https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/index.htm 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出された課題について、適宜、授業中に補足的な解説を行う
実務経験をいかした教育内容	
備考	教科書，プリントを中心に授業をすすめる。

授業科目名		担当教員				
薬理学		大塚智裕				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	SAR404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		大塚智裕(薬剤師)				
授業概要						
薬物による人間の反応や作用機序の理解、投与方法、体内動態に関する基本的事項を理解した上で、対象疾患に関連した薬物療法の考え方について学ぶ。あわせて、薬物の副作用やその多剤服用(ポリファーマシー)症状についても学ぶ。これらを理解することにより、臨床講義や実習で必要とされる薬物治療の基礎を習得できることを目指す。各授業の最初には、前回の授業内容を復習する時間(質問形式)を設ける。各授業の最後には、その日の授業のまとめを行い、重要なポイントを確認する。						
学修の到達目標						
①薬物の使用目的や薬物の作用機序、体内動態について理解できる。 ②薬物の取扱い、投与方法、副作用について理解できる。 ③各種疾患に対する薬物療法について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	薬理学総論	①	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(60分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(60分)
2	薬理学各論 抗感染症薬	① ②	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
3	薬理学各論 抗がん薬	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
4	薬理学各論 免疫治療薬・抗アレルギー薬・抗炎症薬	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
5	薬理学各論 末梢神経に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
6	薬理学各論 中枢神経に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
7	薬理学各論 心臓・血管系に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
8	薬理学各論 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
<p>期末試験の成績（100％）及び授業態度等を総合的に判断して評価する。</p>	
使用教科書	
<p>系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学 / 吉岡充弘ほか. --第15版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04716-6</p>	
参考図書	
<p>はじめの一步の薬理学 第2版 / 石井邦雄、坂本謙司編. 羊土社, 2021年, ISBN978-4-7581-2094-4 リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理 / 宮越浩一編. 羊土社, 2019年, ISBN978-4-7581-0243-8</p>	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	<p>試験内容や勉強法は授業にて説明します。</p>
実務経験をいかした教育内容	<p>薬理研究の職務経験から、臨床で使用される薬剤の薬理作用の分子基盤を理解する上で必要な知識と思考力が身につけられるよう授業を展開します。</p>
備考	<p>質問は授業中及び授業の終わりに常時受け付けます。また、電子メールでの質問に随時対応します。 電子メールアドレス：otsuka-to@gifu-pu.ac.jp</p>

授業科目名		担当教員				
医療安全管理論		三品弘司・出口陸雄・林 宗典・三輪陽子 (代表教員 三品弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	SAR205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師・保健師)、出口陸雄(看護師)、林宗典(看護師) 三輪陽子(看護師)				
授業概要						
医療の質と安全の確保は、患者、医療従事者をはじめとする多くの国民が願っていることである。近年、医療の安全確保に対する人々の関心が高くなり、医療安全は医療界の最優先課題となっている。作業療法の主要な業務である治療や指導及び援助は、障がいのある対象が主体的な生活の獲得の為に重要である一方、医療事故を起こすリスクを持ちながらの業務でもある。作業療法士にとって、医療安全や医療事故防止について修得することは必須である。まず医療安全管理を学ぶ意義を理解し、そのうえで人間がおこすエラーについての理解し、作業療法と医療事故との関連を学び、国、組織、個人における医療事故防止対策について学ぶ。医療事故やインシデントの分析手法を理解し、作業療法におけるKYTを行うことで、医療事故防止の感性を養う。また、多くの作業療法に関連した医療事故やインシデントを知ることで、臨場感のある医療事故防止について学ぶ。また、感染防止対策も医療事故防止の一つとして学ぶ。						
学修の到達目標						
知識：①医療安全の基本的考え方と医療事故防止について述べるができる。 技術：②医療事故の分析手法やKYTを活用し、安全について考察することができる。 態度：③医療安全に興味を持ち、積極的に演習に取り組むことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	医療事故と医療安全の定義	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
2	日本の医療安全対策	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
3	組織的な安全管理体制	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
4	法的責任と賠償責任 実際に起こっている医療事故	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
5	リスクの種類による医療安全対策 (患者誤認・薬剤関連・転倒など)	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
6	ヒューマンエラーについて	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
7	多職種連携と安全管理 事故要因分析	① ②	三輪	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
8	医療現場におけるマネジメントの実践	① ②	林	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
9	医療安全とコミュニケーション	① ②	出口	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること (60分)
11	KYTについて	② ③	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること (60分)
12	医療安全-演習①	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
13	医療安全-演習②	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
14	医療安全-演習③	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
15	医療安全-演習④	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
提出レポート (20%)、履修態度 (10%)、筆記試験 (70%) での総合評価						
使用教科書						
なし						
参考図書						
系統看護学講座 総合分野 医療安全 (医学書院) 医療安全とリスクマネジメント (ヌーヴェルヒロカワ)						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	レポートは、次回講義にて返却します。 質問等は、講義中や講義後にするようにしてください。					
実務経験をいかした教育内容	看護学科の教員がその実務経験を活かし、医療安全に必要な知識および技術を体験的に学修する授業を行うことで、受講学生は既知の危険要因とその対策に関する基礎的知識および未知の危険要因とそれが引き起こす事故を予測する力を身に付けることができる。					
備考	教科書は特別使用しないが、必要時書籍紹介する。授業は毎回、パワーポイント使用して進める。関連する教科と結び付けて学習し、単に知識に止まらず実践的能力として身につけてほしい。よって、積極的に学び取る姿勢で臨んでほしい。グループワークなどの演習も取り入れ出来るだけ参加型授業形態をとる。					

授業科目名		担当教員				
保健医療論		加藤清人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	SCH101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)				
授業概要						
この授業では、保健医療の全体像とリハビリテーション医療における理学(作業)療法の役割について学修する。保健医療サービスの提供体制、法的根拠、倫理的側面、政策課題など、理学(作業)療法士として関連の深い分野を中心に履修する。保健医療の歴史の変遷と現代の体制、病院や診療所などの医療機関に加え、保健所や市町村が実施する地域保健活動などの理解を深める。また、リハビリテーション医療における理学(作業)療法の位置づけや、他職種と連携する重要性について学ぶ。さらに、医療安全や感染対策、医療の質向上への取り組みについても触れ、将来の実践に活かせる知識を身につける。生命倫理や医療倫理の基本原則、インフォームド・コンセントの重要性なども学修する。少子高齢化の進展や地域包括ケアシステムなど、保健医療をめぐる政策課題についても理解を深める。						
学修の到達目標						
①保健医療の概念と体制、関連する法制度を説明できる。 ②リハビリテーション医療における理学療法の役割と重要性を説明できる。 ③保健所や市町村が実施する地域保健活動などの概要と意義を説明できる。 ④医療安全や医療の質向上への取り組みについて自己の考えを説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクションと保健医療の概念と歴史	①	加藤	講義	予防医学に関して考えておく(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
2	高齢社会と健康寿命の延伸	①	加藤	講義	高齢社会について調べておく(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
3	日本の社会保障制度におけるリハビリテーションの位置づけ	① ②	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
4	地域医療の重要性(1)	② ③	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
5	地域医療の重要性(2)	② ③	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
6	予防的アプローチ	② ③	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
7	医療安全、感染対策、リスクマネジメント	④	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
8	医療倫理とリハビリテーション	④	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験（100％）により評価する。	
使用教科書	
教科書は使用しない。	
参考図書	
シラバスに掲げている関係事項に関する資料を活用する。	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	最終講義日に全体にむけてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	保健・医療・福祉分野の多岐にわたる臨床経験（10年）ならびに地域における生活支援に関する介護予防分野の研究（13年）から保健医療に求められるリハビリテーション職の役割や今後の期待について触れながら授業を展開していく。
備考	毎回、授業開始時に資料を配布する。 主体的に取り組むこと。 質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員				
社会福祉学		竹内章郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	SCH202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>現在、社会福祉を含む社会保障全体が、大きな転換点にある。それは、社会保障を支える福祉国家体制それ自体の「危機」という大きな問題からくるものであるが、同時に、社会保障の基盤である社会権（法）の基本的理解の問題や資本主義市場と社会保障との関係などにも及ぶ問題から生じていることもある。この講義ではそうした大きな問題を、社会福祉の現場実践と関係づけて捉えることを通じて、社会福祉・社会保障の本質を解明したい。事前学習については、毎回、次回講義のための事前学習の範囲を指定する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①社会福祉を含む社会保障の現実を、その基礎に立ち返って理解する。 ②大きな制度的問題と社会福祉実践の現実とを結び付けて理解する。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス（全体の進行について）、社会福祉と社会保障との関連について（善き生存としての福祉を中心に）、翻訳の問題など	①	竹内	講義	既配布の資料全体に目を通しておく（120分）	左記の講義内容とこれに関わる資料の再読（120分）
2	日本の社会保障・社会福祉の基礎：憲法25条（13条との関連）：プログラム規定・義務規定/行政裁量の理解、措置と契約、福祉の民営化・市場化など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
3	権利としての社会保障（1）：権利理解の初発、市民権と社会権との相違、私的所有と市民権、社会保障の権利としての社会権など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
4	権利としての社会保障（2）：社会権の基礎、憲法14条との関連、社会権実現のための市民権の一定の制限など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
5	優生思想・優生学と社会保障・社会福祉との関連：社会保障制度の中に優生思想、社会福祉創始達の優生思想など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
6	貧困問題の大きさと生活保護制度、社会保障・社会福祉の財源問題	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
7	障がい者福祉（障害者総合支援法を中心に、障害者差別解消法等との関連させて）、社会福祉事業法の「改正」としての社会福祉法	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
8	高齢者「福祉」（公的介護保険法を中心に、老人福祉法及び高齢者雇用促進法などとも関連させて）	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）

評価基準・評価方法	
最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。	
使用教科書	
教科書は使用せず、竹内が作成したレジュメ及び資料にそって講義を行う。	
参考図書	
必要に応じて、講義中に紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中に、適宜、質疑応答を行う。
実務経験をいかした教育内容	
備考	資料及びレジュメは、すべて、最初の講義時に配布する。

授業科目名		担当教員				
数理データサイエンス		古松山建吾・福岡大輔 (代表教員 古松山建吾)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習	SCH404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾(作業療法士)				
授業概要						
PCの使用が必須です。Excelをベースにして動く統計ソフトウェアHADを使用して、実際のデータを使い、基礎的な統計解析を学びます。リハビリテーション分野、社会心理学分野で扱われることの多い基礎的な分析手法を学びます。						
学修の到達目標						
①統計ソフトを使用して実際のデータを読み込ませて、記述統計(平均値、標準偏差、中央値)を行うことが出来るようになる。 ②統計ソフトを使用してt検定、相関分析、クラスター分析を出来るようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	データ読み込み及び記述統計(1)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
2	データ読み込み及び記述統計(2)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
3	データ分析(t検定、相関分析)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
4	データ分析(クラスター分析)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
5	統計的仮設検定について①	① ②	福岡	講義	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
6	統計的仮設検定について②	① ②	福岡	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
7	主要な検定と選択方法について①	① ②	福岡	講義	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
8	主要な検定と選択方法について②	① ②	福岡	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)

評価基準・評価方法	
レポート課題で評価します。	
使用教科書	
フリー統計分析ツールHADのトリセツ：心理学データの分析から結果のまとめ方まで / 横田 晋大 . --ナカニシヤ出版, 9784779518409	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	演習中にフィードバックを行います。
実務経験をいかした教育内容	臨床経験10年以上の教員が、それぞれの分野で求められる作業療法士の視点より研究及び分析する教育を行う。
備考	インターネットに接続の出来るPCが必須となります。

授業科目名		担当教員				
多職種連携演習 (IPE)		世良龍哉・加藤清人・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾 (代表教員 世良龍哉)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	2単位(30時間)	講義・演習	SCH503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉(作業療法士)・加藤清人(作業療法士)・永井貴士(作業療法士)・竹中孝博(作業療法士)・古松山建吾(作業療法士)・浅野莉沙(作業療法士)				
授業概要						
<p>地域包括ケアを実践する上で、医学的な視点のみならず、対象者の心理的・社会的な視点にも配慮した医療が求められる中でチーム医療は必須の手段であり、より良いサービスを実践するためには多職種との有機的な連携と協業は欠かせない。この授業では、専門職間の有機的な連携と協業についての基礎知識や理論、連携のためのマネジメントの実践についてそれぞれの専門的な立場から考察し、多職種連携が果たす役割や機能について学ぶ。</p> <p>また、医療系多職種の学生間でのグループワーク演習を通じて、コミュニケーションやディスカッションの実践力を身につけるとともに、作業療法士の専門性について熟考する機会とする。</p> <p>予習・復習の内容等、詳細については初回の授業で説明する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①多職種連携の意義について説明できる。</p> <p>②他の職種の役割を説明できる。</p> <p>③保健・医療・福祉における多職種連携の在り方を具体的に説明できる。</p> <p>④様々な人々との協同を通して、保健・医療・福祉の諸課題に対処できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	世良	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
2	多職種連携の意義	①	加藤	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
3	他職種の役割を知る(1)	②	永井	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
4	他職種の役割を知る(2)	②	竹中	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
5	他職種の役割を知る(3)	②	浅野	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
6	保健領域における多職種連携	③	加藤	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
7	医療(身体障害)における多職種連携	③	古松山	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
8	医療(精神障害)領域における多職種連携	③	世良	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
9	福祉領域における多職種連携	③	永井	講義	予定している内容について予習する(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携演習（1）	③ ④	全教員	演習	予定している内容について予習する （120分）	授業で行った内容を復習しておくこと （120分）
11	多職種連携演習（2）	③ ④	全教員	演習	予定している内容について予習する （120分）	授業で行った内容を復習しておくこと （120分）
12	多職種連携演習（3）	③ ④	全教員	演習	予定している内容について予習する （120分）	授業で行った内容を復習しておくこと （120分）
13	多職種連携演習（4）	③ ④	全教員	演習	予定している内容について予習する （120分）	授業で行った内容を復習しておくこと （120分）
14	多職種連携で必要とされる知識・技術の整理 （1）	③ ④	全教員	演習	予定している内容について予習する （120分）	授業で行った内容を復習しておくこと （120分）
15	多職種連携で必要とされる知識・技術の整理 （2）	③ ④	全教員	演習	予定している内容について予習する （120分）	授業で行った内容を復習しておくこと （120分）
	課題					
評価基準・評価方法						
複数回のレポート課題の内容から総合的に判断する。						
使用教科書						
毎回、演習前または演習時に資料を配布する。						
参考図書						
適宜紹介する						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	各担当教員の講義終了時に全体に向けてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	作業療法実践場面でのチーム医療を想定した他職種との対象者を見据えたカンファレンスを模擬的に構成して、通常の医療場面と同様の関わり方を学ぶ。 また、多職種連携の意義や方法、連携する上での課題と解決策等について、各担当教員の経験談を交えて授業を展開していく。					
備考						

授業科目名		担当教員				
作業療法総論		永井貴士				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SB0101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士(作業療法士)				
授業概要						
作業療法士を目指す学生が、作業療法の発展過程を理解することで作業療法の役割を学ぶ。また、作業療法の骨子を構成する各専門領域の概観を理解し、その領域における作業療法士に必要な知識と技術を系統的に学習する。講義では、教科書を中心とした調べ学習などを通して学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①作業療法の定義・歴史等について説明することができる。 ②作業療法の領域や対象、時期について説明することができる。 ③作業療法のプロセスについて説明することができる。 ④作業療法士に必要な資質や作業療法教育について説明することができる。 ⑤作業療法分野におけるその役割と内容の概略を説明することができる。 ⑥社会保障制度を理解し作業療法部門の管理について説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法とは	①	永井	講義	テキストpp3-13を読み作業療法の定義についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
2	作業療法の歴史	①	永井	講義	テキストpp15-25を読み作業療法の原理が何かについてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
3	作業療法に関連する予備知識	①	永井	講義	テキストpp27-38を読み対象者の理解に必要なことは何かについてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
4	作業療法の実践現場	②	永井	講義	テキストpp40-47を読み作業療法の実践現場についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
5	作業分析	②	永井	講義	テキストpp51-61を読み作業分析についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
6	作業の治療的適応	②	永井	講義	テキストpp63-72を読み作業の適応範囲についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
7	作業療法の理論	③	永井	講義	テキストpp74-83を読み作業療法の理論についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
8	作業療法士に求められる資質と倫理	④	永井	講義	テキストpp87-95を読み作業療法士に必要な資質と倫理についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
9	作業療法の教育	④	永井	講義	テキストpp97-108を読み作業療法の教育についてまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	日本作業療法士協会や世界作業療法士連盟とは	④	永井	講義	テキストpp120-141に目を通しておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
11	作業療法の実践過程(1)	③	永井	講義	テキストpp145-165に目通しておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
12	作業療法の実践過程(2)	③	永井	講義	テキストpp145-165に目通しておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
13	作業療法の実際	⑤	永井	講義	テキストpp169-181に目通しておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
14	社会保障制度について	⑥	永井	講義	テキストpp231-244を読み医療保険と介護保険の違いをまとめておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
15	作業療法部門の管理・運営	⑥	永井	講義	テキストpp246-269に目通しておく(30分)	課題 講義内容についてまとめる(30分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
小テスト(20%)、期末試験(80%)を総合的に評価する。						
使用教科書						
標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論 / 能登 真一 編集.--第4版--医学書院, 2021年, 978-4-260-04785-2						
参考図書						
講義の際に適宜紹介する。資料を使用する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	各回において、全体に向けてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	作業療法における臨床経験, 教育経験から作業療法の歴史、役割、各専門領域の役割や機能などに触れ、3年間で学ぶ作業療法の外観を整理できるように授業を展開していく。					
備考	次週の要点を説明するので、予習と復習を怠らないこと。 質問は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
基礎作業療法学		坂田崇好・建石光貴 (代表教員 坂田崇好)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義		SB0102	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		坂田崇好(作業療法士)、建石光貴(作業療法士)				
授業概要						
作業療法士は「作業」を治療として扱うリハビリテーション専門職種である。故に、「作業」とは何なのかを理解し、それを対象者にどのように用いることが必要になるのかを、作業療法理論を用いて解釈する授業である。						
学修の到達目標						
①人間にとって「作業」は何なのかを知り、理解を深めることができる。 ②評価・治療手段としての「作業」の意味を考え、理解を深めることができる。 ③「作業」と健康について考え、対象者が「作業」を獲得する方法について理解を深めることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	「作業」とは？ー概論ー	①	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
2	作業療法について	① ②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
3	CMOP-Eについて	① ② ③	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
4	COPMについて	① ② ③	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
5	COPM実技	① ② ③	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
6	作業遂行分析について	① ② ③	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
7	作業遂行分析実技	① ② ③	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
8	まとめ	① ② ③	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	人間作業モデル(MOHO)の概要	①	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	意志・習慣化について	① ②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	遂行能力・環境について	① ②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
12	MOHOの評価法	① ②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
13	MOHOを用いた実践	① ② ③	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
14	MOHOの発展	① ② ③	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
15	まとめ	① ② ③	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験100%						
使用教科書						
キールホフナーの人間作業モデル / 山田孝.--改訂第5版--協同医書, 2019年5月31日発行, 978-4763921444 「作業」って何だろう 作業科学入門 / 吉川ひろみ.--第2版--医歯薬出版株式会社, 2018年10月10日発行, 978-4-263-21667-5						
参考図書						
必要に応じて、資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中及び講義終了後に質問及びフィードバックの時間を設ける。					
実務経験をいかした教育内容	急性期総合病院における10年以上の職務経験から、幅広い疾患に対応した作業療法の基礎・応用技術を身につけるための講義を展開する。また、作業行動学に関連した学会発表、論文執筆、研究活動の経験等から、人々の健康と幸福を促進するために作業がどのように貢献しているのかについて学生とともに学びを深める。					
備考	グループワークの際、実際に対象者へ行うことができるようにすることが目的であることを念頭において、練習すること。					

授業科目名		担当教員				
基礎作業療法学実習		世良龍哉・石田啓子（代表教員 世良龍哉）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		SB0103	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）、石田啓子（作業療法士）				
授業概要						
作業療法で用いられる手工芸などの「作業」について、治療的に活用できるように、様々な視点から分析し考察する。そのために、作業分析の実施、身体的効果・精神的効果、作業の段階付け等を考察する。講義では、グループワークを活かし多様な思考のもと学習しやすいように進める。						
学修の到達目標						
①作業分析が活用できる。 ②レポート・発表資料が適切に作成できる。 ③作業における治療的な活用を考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業分析とは(1)	①	世良	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
2	作業分析とは(2)	①	世良	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
3	作業分析とは(3)	①	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
4	作業実施(1)	① ② ③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
5	作業実施(2)	① ② ③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
6	作業実施(3)	① ② ③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
7	作業実施(4)	① ② ③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
8	作業体験の振り返り	① ② ③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	作業の実践①	① ② ③	世良	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	作業の実践②	① ② ③	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	作業の実践③	① ② ③	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
12	作業の実践④	① ② ③	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
13	作業の実践⑤	① ② ③	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
14	作業の実践⑥	① ② ③	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
15	作業体験の振り返り	① ② ③	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
	レポート課題					
評価基準・評価方法						
評価方法は、課題 (100%) で評価し、総合的に判断する。						
使用教科書						
「作業」って何だろう / 吉川ひろみ.--第2版--医歯薬出版, 2017年7月, 978-4-263-21667-5 配布資料 /						
参考図書						
作業療法学全書 基礎作業学 協同医書出版						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出された課題に対して、コメントをつけてフィードバックする					
実務経験をいかした教育内容	病院での作業療法において、対象者の意味ある作業に注目し、実践的に作業を活用した作業療法を実施してきた経験から、作業を治療的に活用できるように、様々な視点から分析し考察できるように授業を展開していく。					
備考	作業についての知識や理解を深めると共に、自分の作業体験を振り返り内省し考察できるようにすること。					

授業科目名		担当教員				
作業療法研究方法論		古松山建吾・福岡大輔 (代表教員 古松山建吾)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SB0404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾(作業療法士)				
授業概要						
<p>研究を実践するためのテーマの設定、情報収集、研究計画の立案、データ収集、データ解析、統合と解釈の基礎を学ぶ。他に研究の倫理・管理面についても学ぶ。講義では、グループワークやICTを活用した双方向システムを活用し学びを深めていく。演習では、遠隔学習システムや動画教材を積極活用し、反復学習することで知識・技術の確実な定着を図る。</p>						
学修の到達目標						
<p>①文献検索が自律的にできる。 ②主要な研究方法について概略を説明できる。 ③データ処理が自律的にできる。 ④研究デザイン・収集データに相応しい統計解析方法の選択・立案ができる。 ⑤研究の倫理・管理の概要がわかる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、研究とは	⑤	古松山	講義	研究について下調べ(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
2	文献検索①(質的研究)	①	古松山	講義	文献検索の方法について下調べ(30分)	文献検索の方法についてまとめる(30分)
3	文献検索②(質的研究)	①	古松山	演習	文献検索エンジンの使い方の練習(30分)	文献検索エンジンの使い方についてまとめる(30分)
4	量的研究(観察研究・介入研究)	②	古松山	講義	教科書を通読する(30分)	講義の振り返り(30分)
5	統計処理の概要	③ ④	古松山	演習	教科書の通読(30分)	演習で提示した課題(30分)
6	統計処理法(基本統計量)	③ ④	古松山	演習	前回の演習の整理(30分)	演習で提示した課題(30分)
7	統計処理法(パラメトリックとノンパラメトリック)	③ ④	古松山	演習	教科書の通読(30分)	演習で提示した課題(30分)
8	統計処理法(差の検定)	③ ④	古松山	演習	教科書の通読(30分)	演習で提示した課題(30分)
9	統計処理法(相関係数)	③ ④	古松山	演習	教科書の通読(30分)	演習で提示した課題(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	統計処理法（その他の検定など）	③ ④	古 松 山	演習	教科書の通読（30分）	演習で提示した課題（30分）
11	文献レビューの作成	① ②	古 松 山	講義	文献検索の方法についてまとめる（30分）	文献検索の方法についてまとめる（30分）
12	統計的仮設検定について①	① ②	福岡	演習	事前配布資料、教科書の精読（120分）	講義で学んだデータ分析の復習（60分）
13	統計的仮設検定について②	③ ④ ⑤	福岡	講義	事前配布資料、教科書の精読（120分）	講義で学んだデータ分析の復習（60分）
14	主要な検定と選択方法について①	③ ④ ⑤	福岡	演習	事前配布資料、教科書の精読（120分）	講義で学んだデータ分析の復習（60分）
15	主要な検定と選択方法について②	③ ④ ⑤	福岡	講義	事前配布資料、教科書の精読（120分）	講義で学んだデータ分析の復習（60分）
	レポート課題					
評価基準・評価方法						
課題(100%)で評価・判定する。						
使用教科書						
作業療法学 ゴールドマスター・テキスト 作業療法研究法 / 長崎重信. --西方浩--メジカルビュー社, 978-4-7583-2290-4 C3347						
参考図書						
必要に応じて資料を配布する						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出された課題に対して、コメントをつけてフィードバックする					
実務経験をいかした教育内容	大学院修士課程（2年）と博士課程（3年），及びその後研究活動（5年）の実務経験から，研究活動に必要な知識と手段として，論文検索と講読，臨床疑問，思考を身につけられるような授業を展開していく。					
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail : k.kohiyama@heisei-iryuu.ac.jp (古松山) 課題は添削したものを返却する。					

授業科目名		担当教員				
作業療法研究方法論		古松山建吾				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	SB0404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾(作業療法士)				
授業概要						
<p>研究を実践するためのテーマの設定、情報収集、研究計画の立案、データ収集、データ解析、統合と解釈の基礎を学ぶ。他に研究の倫理・管理面についても学ぶ。講義では、グループワークやICTを活用した双方向システムを活用し学びを深めていく。演習では、遠隔学習システムや動画教材を積極活用し、反復学習することで知識・技術の確実な定着を図る。</p>						
学修の到達目標						
<p>①文献検索が自律的にできる。 ②主要な研究方法について概略を説明できる。(特に質的研究に着目する) ③データ処理が自律的にできる。 ④研究デザイン・収集データに相応しい統計解析方法の選択・立案ができる。 ⑤研究の倫理・管理の概要がわかる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、研究とは	⑤	古松山	講義	研究について下調べ(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
2	文献検索①	①	古松山	講義	文献検索の方法について下調べ(120分)	文献検索の方法についてまとめる(120分)
3	文献検索②	①	古松山	演習	文献検索エンジンの使い方の練習(120分)	文献検索エンジンの使い方についてまとめる(120分)
4	文献レビューの作成(1)	① ②	古松山	講義	文献検索の方法についてまとめる(120分)	文献検索の方法についてまとめる(120分)
5	文献レビューの作成(2)	① ②	古松山	演習	文献検索の方法についてまとめる(120分)	文献検索の方法についてまとめる(120分)
6	文献レビューの作成(3)	③ ④ ⑤	古松山	講義	文献検索の方法についてまとめる(120分)	文献検索の方法についてまとめる(120分)
7	質的研究(1)	③ ④ ⑤	古松山	演習	作業療法の質的研究について下調べ(120分)	質的研究についてまとめる(120分)
8	質的研究(2)	③ ④ ⑤	古松山	講義	質的研究について下調べ(120分)	質的研究についてまとめる(120分)
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
課題(100%)で評価・判定する。	
使用教科書	
作業療法学ゴールドマスターテキスト / 長崎重信.--西方浩--メジカルビュー社, 978-4-7583-2290-4 C3347 使用しない。	
参考図書	
適宜紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出された課題に対して、コメントをつけてフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	大学院修士課程(2年)と博士課程(3年), 及びその後研究活動(5年)の実務経験から, 研究活動に必要な知識と手段として, 論文検索と講読, 臨床疑問, 思考を身につけられるような授業を展開していく。
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail :k.kohiyama@heisei-iryuu.ac.jp (古検山) 課題は添削したものを返却する。

授業科目名		担当教員				
卒業研究		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	演習	SB0705		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)・世良龍哉(作業療法士)・永井貴士(作業療法士)・竹中孝博(作業療法士)・古松山建吾(作業療法士)・浅野莉沙(作業療法士)				
授業概要						
卒業研究では、2年次に修得した作業療法研究方法論ならびに専門科目を基礎とし、研究に関わる一連の過程（研究テーマ、研究仮説の設定、先行研究資料・文献からの情報収集、実験および調査の実施、データ解析、その結果の整理と解釈・考察）を通じて探究心と理論的思考を深める。学生にとって卒業後の臨床を含めた研究において出発点となる重要な科目である。この授業では、1学生1計画書の作成を目指す。そのなかで、グループ内でのディスカッション場を通じて、研究題材の理解を深めていく。						
学修の到達目標						
①研究分野を選択し、研究テーマを決定できる。 ②研究を実施するまでの過程を理解できる。 ③研究計画書を作成できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション（研究プロセス全体の概要など）	①	各指 導担 当教 員	演習	教科書p10-33の通読（120分）	共有した文献の検索 収集（120分）
2	研究分野を考える	①	各指 導担 当教 員	演習	関心のある論文の検索（120分）	文献収集（120分）
3	研究テーマの決定	①	各指 導担 当教 員	演習	教科書p.18-22の精読（120分）	決定したテーマに沿う研究の収集（120分）
4	文献検索・収集	②	各指 導担 当教 員	演習	決定したテーマに沿う研究の収集（120分）	収集した文献の整理（120分）
5	先行研究レビュー	②	各指 導担 当教 員	演習	教科書p.29-33の精読（120分）	文献の整理（120分）
6	リサーチクエスションの作成	②	各指 導担 当教 員	演習	教科書p.18-22の精読（120分）	内容をレポートにまとめる（120分）
7	研究の背景と理論的枠組みの構築	②	各指 導担 当教 員	演習	研究の背景について自身の考えをまとめておく（120分）	調べた内容をまとめる（120分）
8	研究目的と仮説の設定	②	各指 導担 当教 員	演習	教科書p10-33の通読（120分）	取り組んだ作業をまとめる（120分）
9	研究方法の選択と設計	②	各指 導担 当教 員	演習	教科書p34-56の通読（120分）	取りくんだ研究方法についてまとめる（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	データ収集計画の策定	②	各指 導 教 員	演習	目的を達成するためのデータ収集の方法を検討する(120分)	研究方法についてまとめる(120分)
11	データ分析の基礎	②	各指 導 教 員	演習	データ収集後のデータ分析の方法を整理しておく(120分)	取り組んだ内容をまとめる(120分)
12	倫理と研究の信頼性・妥当性の確保	②	各指 導 教 員	演習	教科書p13-17の通読(120分)	取り組んだ内容を整理しまとめる(120分)
13	研究のフェジビリティとリスク管理	②	各指 導 教 員	演習	教科書p.122-139の精読(120分)	取り組んだ内容をまとめる(120分)
14	研究計画書の作成	③	各指 導 教 員	演習	教科書p29-32を精読し研究計画書(案)を作成する(120分)	研究計画書の修正(120分)
15	研究計画書の報告	③	各指 導 教 員	演習	研究計画書の最終チェック(120分)	各学生の研究計画について自己の考えをまとめる(120分)
	研究計画書の提出					
評価基準・評価方法						
研究計画書の完成。研究テーマの決定～研究計画書における取組状況など総合的に評価する。 取組状況(30%)、研究計画書(70%)						
使用教科書						
作業療法研究法 / 竹田徳則ほか. --第1版--医歯薬出版, 2017年, 978-4-263-21676-7						
参考図書						
必要に応じ資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	研究の進捗に応じてその都度フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	それぞれの教員の臨床経験を踏まえた専門性を研究テーマに反映しつつ、学生の意向を組み込み研究を通して指導する。					
備考	担当教員の指導のもと、計画的に取り組むこと。 主体的に取り組むよう心がけること。					

授業科目名		担当教員				
作業療法管理学 I		古松山建吾・加藤清人 (代表教員 古松山建吾)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義	SOM701		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾(作業療法士)、加藤清人(作業療法士)				
授業概要						
<p>作業療法士は、病院をはじめ児童施設、老人施設等の各種サービス機関で働いている。各機関は、様々な専門職が連携しあいながら組織目標の達成を目指している。専門職の人材育成が組織目標達成成果に影響する。作業療法管理学 I では、組織人としての役割を全うするための作業療法教育を中心に学習する。作業療法の養成課程、参加型臨床実習、社会人基礎力、卒後の職場内教育、生涯学習制度、クリニカルラダー、キャリア形成について理解し、自分の今後の指針となる様学習を進める。</p>						
学修の到達目標						
<p>①作業療法士として成長をしていくにあたっての3つのphase(社会人、組織人、専門職)とその今日行く過程を理解し、今後の自分の成長過程の指針とすることができる。 ②作業療法養成教育の歴史や教育内容について学び、作業療法養成課程の変遷や作業療法士になるために課題について述べることができる。 ③参加型臨床実習について概要を理解し、臨床実習に活かすことができる。 ④職場内教育、OJTについて述べるすることができる。 ⑤生涯教育制度について述べるすることができる。 ⑥キャリア形成について述べることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法士養成教育の歴史について	① ②	古松山	講義	教科書の該当箇所を目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
2	組織マネジメント	①	古松山	講義	教科書の該当箇所を目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
3	社会人基礎力	①	古松山	講義	配布資料を目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
4	職場内教育・OJT	④	古松山	講義	配布資料を目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
5	診療参加型臨床実習①	② ③	古松山	講義	目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
6	診療参加型臨床実習②	② ③	古松山	講義	配布資料を目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
7	生涯教育制度	⑤	加藤	講義	配布資料を目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
8	キャリア形成	⑥	加藤	講義	目を通しておく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
レポート（100％）によって評価する	
使用教科書	
作業療法管理学 第3版 / 大庭潤平. -- 医歯薬出版株式会社, 2024年, 978-4-263-26680-9	
参考図書	
必要に応じて資料を配布する	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	最終授業時に全体に向けてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	臨床現場でのマネジメントの問題のケーススタディーを通じた学びを深める
備考	

授業科目名		担当教員				
作業療法管理学Ⅱ		古松山建吾・竹田徳則（代表教員 古松山建吾）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義	SOM802		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾（作業療法士），竹田徳則（作業療法士）				
授業概要						
<p>作業療法管理学Ⅱでは、社会保障制度の中での診療報酬・介護報酬体系を理解し、経営管理視点の見識を広げると同時に作業療法サービスの質の向上についての知識と実践を学習する。さらに、作業量大雄実戦における多職種連携について見識を広げる。その管理業務にとって必要なリーダーとしての資質を、わが国における企業リーダーの成功者から学び、自己の将来に役立たせることができるよう講義を展開する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①作業療法の実施とその対価（診療報酬・介護報酬など）について学び、作業療法実施後の診療記録ならびに書類管理（電子カルテなど含む）について述べるができる。 ②作業療法実施に関わる他職種との業務調整やカンファレンスについて述べるができる。 ③リハビリテーション部門のリーダーの資質や役割を学び、組織を運営するための管理業務（人事課や労務管理など）について述べるができる。 ④作業療法機器の配置計画（職場環境デザイン含む）やそれに関わる保守点検・安全管理について述べるができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	社会保障制度と作業療法に関連する診療報酬(1)	①	竹田	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
2	社会保障制度と作業療法に関連する診療報酬(2)	①	竹田	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
3	情報管理（診療録の記載、その他書類）	②	古松山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
4	労働基準法、労務管理、人事管理とリーダーの資質	④	古松山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
5	医療安全	③	古松山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
6	感染管理、医療機器・備品	⑤	古松山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
7	多職種連携、カンファレンス	③	古松山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
8	作業療法業務のマネジメントアラカルト（信念対立、研究活動）	③ ④	古松山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく(120分)	講義の重点箇所をまとめる(120分)
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
レポート課題（100％）によって評価する	
使用教科書	
作業療法管理学 第3版 / 大庭潤平. --医歯薬出版株式会社, 2024年, 978-4-263-26680-9	
参考図書	
必要に応じて資料を配布する	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	最終授業時に全体に向けてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	臨床現場でのマネジメント問題のケーススタディーを通して学びを深める
備考	2023年度以降入学生対象

授業科目名		担当教員				
作業療法評価学概論		世良龍哉・永井貴士 (代表教員 世良龍哉)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOE201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉(作業療法士)、永井(作業療法士)				
授業概要						
作業療法士に必要な種々の検査・測定の中でも、生理機能、バイタルサイン、形態測定、面接技法、観察、コミュニケーションなど基本的な知識、技術を習得することを目的とする。講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①作業療法を行う上での必要な評価を理解し実践できる知識と能力を獲得する。 ②カルテの記載方法を理解し、正しく記入ができる。 ③コミュニケーションに必要な視点が理解できる。 ④面接技法が理解できる。 ⑤観察技法が理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	評価学総論 1	①	永井	講義	教科書P1～27を精読する(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
2	評価学総論 2	①	永井	講義	教科書P1～27を精読する(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
3	生理機能 1	①	永井	講義	教科書P50～67を精読する(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
4	生理機能 2	①	永井	講義	教科書P50～67をまとめる(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
5	形態測定 1	①	永井	講義	教科書P62～67を精読する(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
6	形態測定 2	①	永井	講義	教科書P62～67をまとめる(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
7	記録・報告の意義と特徴	②	永井	講義	教科書P28～32を精読する(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
8	効果判定について	① ②	永井	講義	教科書P28～32をまとめる(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
9	コミュニケーション(1)	③	世良	講義	医療人に必要なコミュニケーションについて下調べ	コミュニケーションスキルについて整理、まとめ(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	コミュニケーション (2)	③	世良	演習	コミュニケーションスキルについてまとめる (30分)	ディスカッションした内容について整理、まとめ (30分)
11	面接 (1)	④	世良	講義	面接技法の整理、まとめ (30分)	面接評価のまとめ (30分)
12	面接 (2)	④	世良	演習	面接技法の整理、まとめ (30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ (30分)
13	観察 (1)	⑤	世良	講義	観察技法の整理、まとめ (30分)	観察評価のまとめ (30分)
14	観察 (2)	⑤	世良	演習	観察技法の整理、まとめ (30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ (30分)
15	観察 (3)	⑤	世良	演習	観察技法の整理、まとめ (30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ (30分)
	定期試験					

評価基準・評価方法

評価方法は、定期試験 (70%)、課題 (30%) をもって総合的に判断する。

使用教科書

標準作業療法学専門分野 作業療法評価学 第4版 / 能登真一. --医学書院, 2024年1月, 978-4-260-05249-8

参考図書

必要に応じ資料を配布する。

課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題のフィードバックはコメントをつけて適時返却する。
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域や精神障害領域で様々な対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、生理機能、バイタルサイン、形態測定、面接技法、観察、コミュニケーションなど基本的な知識、技術を習得することができるよう授業を展開をしていく。
備考	講義によって使用する教室が異なる。適時、資料を配布する。授業内容が分からないときはいつでも質問を受け付ける。

授業科目名		担当教員				
作業療法評価学Ⅰ（身体機能）		竹中孝博・永井貴士・川本 徹・杉原拓也（代表教員 竹中孝博）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOE402		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）、永井貴士（作業療法士）、川本徹（作業療法士）、杉原拓也（作業療法士）				
授業概要						
作業療法の中でも主に身体機能に対する評価方法について、基礎知識と検査・測定方法を学ぶ。それぞれの検査・測定をどのような場合に用いるのか、どのように行うのかを学び、評価の意義や目的について理解を深める。講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①それぞれの評価項目に対し意義や目的を説明できる。 ②様々な疾患に対してどのような評価が必要なのか説明できる。 ③評価結果を解釈できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ハンドセラピーの病態評価	① ② ③	竹中	講義	事前に配布する資料をまとめる(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
2	ハンドセラピーの機能障害評価	① ② ③	竹中	講義	事前に配布する資料をまとめる(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
3	関節可動域 (ROM) : 評価の概要と意義・目的、上肢	① ② ③	川本	講義 演習	上肢のROMにおける基本軸, 移動軸, 参考角度を覚える(30分)	上肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる(30分)
4	関節可動域 (ROM) : 下肢	① ② ③	川本	講義 演習	下肢のROMにおける基本軸, 移動軸, 参考角度を覚える(30分)	下肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる(30分)
5	関節可動域 (ROM) : 体幹、頸部	① ② ③	川本	講義 演習	体幹のROMにおける基本軸, 移動軸, 参考角度を覚える(30分)	体幹測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる(30分)
6	筋緊張	① ② ③	杉原	講義	伸張反射について構造、神経の名称を覚える(30分)	筋緊張の種類と評価方法についてまとめる(30分)
7	反射 (腱反射、病的反射)	① ② ③	竹中	講義	腱反射、病的反射のメカニズムを予習する(30分)	各反射の評価方法についてまとめる(30分)
8	徒手筋力検査法 (MMT) : 評価の概要と意義・目的、上肢の評価	① ② ③	川本	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	徒手筋力検査法 (MMT) : 下肢・体幹	① ② ③	川本	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	バランスの評価	① ② ③	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	協調性	① ② ③	杉原	講義	教科書を読み協調運動障害の8つの要素を予習する (30分)	協調性の評価方法についてまとめる (30分)
12	脳神経	① ② ③	川本	講義	使用教科書2のp105~126を精読する (30分)	授業で行った内容を復習しておく (30分)
13	感覚検査	① ② ③	川本	講義	使用教科書1のp114~129と使用教科書2のp93~103を精読する (30分)	授業で行った内容を復習しておく (30分)
14	上肢機能検査 (STEF・MFT・ARATなど)①	① ② ③	川本	講義	使用教科書1のp204-212を精読する (30分)	授業で行った内容を復習しておく (30分)
15	上肢機能検査 (STEF・MFT・ARATなど)②	① ② ③	川本	講義	使用教科書1のp204-212を精読する (30分)	授業で行った内容を復習しておく (30分)
	定期試験 (筆記試験)					

評価基準・評価方法

評価方法：期末試験 (100%)
 評価基準：指定した範囲の筆記試験を行う。

使用教科書

標準作業療法学専門分野 作業療法評価学 / 矢谷令子監修.--第4版--医学書院, 2024年1月, 978-4-260-05249-8
 ベットサイドの神経の診かた / 北里大学名誉教授 田崎義昭 著.--改訂18版--南山堂, 2016年2月発行, 978-4-525-24798-0
 新・徒手筋力検査法 原著第10版 / Dale Avers・他.--協同医書出版社, 978-4763900418

参考図書

『新・徒手筋力検査法』第9版, 協同医書出版

課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	試験結果に対する総評コメントを公開する
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域の病院での勤務経験を活かして, 実践場面で行われている評価方法を取り入れながら授業を行う。
備考	動きやすい服装、髪を束ねる、爪を切る、装飾品を外す等、実技ができるように準備すること。質問等は講義中に随時受け付ける。また、オフィスアワーなど講義以外でも対応する。

授業科目名		担当教員				
作業療法評価学Ⅱ（精神・認知・医用画像）		古松山建吾・立川真也・中嶋淳士（代表教員 古松山建吾）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOE403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾（作業療法士）・加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・立川真也（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・中嶋淳士（作業療法士）				
授業概要						
主に中枢神経疾患の基本事項及びその評価方法を学ぶ。 双方向対話型教育支援システム（パトグラ）や遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。 動画教材を積極活用し反復学習することで評価に関する知識の確実な習得と定着を図る。						
学修の到達目標						
①中枢神経疾患の評価における基本的知識を理解し、検査の実施ができる。 ②修得した評価を臨床を模した場面で実施できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中枢神経疾患に関わる脳解剖（1）	①	古松山	講義	教科書(1)p.31-42及び教科書(2)p.2-21を通読する（30分）	講義で提示した課題（30分）
2	中枢神経疾患に関わる脳解剖（2）	①	古松山	講義	教科書(2)p.24-86の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
3	脳出血の脳画像	①	古松山	講義	教科書(2)p.88-95,110-116の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
4	脳梗塞の脳画像	①	古松山	講義	教科書(2)p.96-109の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
5	脳損傷による疾患	①	古松山	講義	教科書(2)p.117-152の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
6	中枢神経疾患における作業療法評価（BRS）	①	立川	講義	教科書(3)p.188-275の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
7	中枢神経疾患における作業療法評価（上田による片麻痺機能テスト）	①	立川	講義	教科書(3)p.188-275の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
8	中枢神経疾患における作業療法評価（SIAS,NIHSS,FMA,MAL）	①	立川	講義	教科書(3)p.188-275の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）
9	脊髄損傷における作業療法評価	①	中嶋	講義	教科書(3)p.188-275の通読（30分）	講義で提示した課題（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	臨床場面における作業療法評価の実践（1）	① ②	全 OT教 員	演習	事前配布したオリエンテーション資料の確認（30分）	演習で提示した課題（30分）
11	臨床場面における作業療法評価の実践（2）	① ②	全 OT教 員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（30分）	演習で提示した課題（30分）
12	臨床場面における作業療法評価の実践（3）	① ②	全 OT教 員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（30分）	演習で提示した課題（30分）
13	臨床場面における作業療法評価の実践（4）	① ②	全 OT教 員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（30分）	演習で提示した課題（30分）
14	臨床場面における作業療法評価の実践（5）	① ②	全 OT教 員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（30分）	演習で提示した課題（30分）
15	臨床場面における作業療法評価の実践（6）	① ②	全 OT教 員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（30分）	演習で提示した課題（30分）
	課題					
評価基準・評価方法						
課題(80%)、小テスト(20%)により判定する。						
使用教科書						
高次脳機能障害作業療法学（作業療法学ゴールドマスター・テキスト） / 鈴木孝治.--第3版--メジカルビュー，2022年，978-4-7583-2045-0 脳画像 第1版 / 前田真治.--医学書院，2017年，978-4-260-03250-6 標準作業療法学（専門分野）作業療法評価学 第4版 / 能登真一.--医学書院，2024年，978-4-260-05249-8						
参考図書						
適宜配布資料を用いる。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中及び講義終了後に質問及びフィードバックの時間を設ける。 授業外でもメール等により質問を受け付ける（古松山：k.kohiyama@heisei-iryuu.ac.jp）					
実務経験をいかした教育内容	講義の中で臨床場面のケーススタディーを通して学びを深める。					
備考						

授業科目名		担当教員				
作業療法評価学演習Ⅰ（身体機能）		竹中孝博・永井貴士・川本 徹・杉原拓也（代表教員 竹中孝博）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOE404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）、永井貴士（作業療法士）、川本徹（作業療法士）、杉原拓也（作業療法士）				
授業概要						
<p>作業療法の中でも主に身体機能に対する評価方法について、基礎知識と検査・測定方法を学ぶ。評価の意義や目的を考慮しながら、各検査・測定の技術を修得する。この演習で扱う評価は、臨床実習で実際に対象者に実施するため、相手に配慮しながら正確かつ安全に評価ができることを目指す。この授業では演習形式でグループワークやディスカッションを含む演習形式で進める。</p>						
学修の到達目標						
<p>①作業療法における評価の意義・目的を説明できる。 ②正確に検査・測定ができる。 ③対象者に配慮した安全な検査・測定ができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ハンドセラピーの病態評価	① ② ③	竹中	演習	事前に配布する資料をまとめる(30分)	演習で行った内容を振り返り、まとめる(30分)
2	ハンドセラピーの機能障害評価	① ② ③	竹中	演習	事前に配布する資料をまとめる(30分)	演習で行った内容を振り返り、まとめる(30分)
3	関節可動域（ROM）：評価の概要と意義・目的、上肢	① ② ③	川本	演習	上肢のROMにおける基本軸、移動軸、参考角度を覚える(30分)	上肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる(30分)
4	関節可動域（ROM）：下肢	① ② ③	川本	演習	下肢のROMにおける基本軸、移動軸、参考角度を覚える(30分)	下肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる(30分)
5	関節可動域（ROM）：体幹・頸部	① ② ③	川本	演習	体幹のROMにおける基本軸、移動軸、参考角度を覚える(30分)	体幹測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる(30分)
6	筋緊張	① ② ③	杉原	演習	伸張反射について構造、神経の名称を覚える(30分)	筋緊張の種類と評価方法についてまとめる(30分)
7	反射（腱反射、病的反射）	① ② ③	竹中	演習	腱反射、病的反射のメカニズムを予習する(30分)	各反射の評価方法についてまとめる(30分)
8	徒手筋力検査法（MMT）：評価の概要と意義・目的、上肢の評価	① ② ③	川本	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	徒手筋力検査法（MMT）：下肢・体幹の評価	① ② ③	川本	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	バランスの評価	① ② ③	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	協調性	① ② ③	杉原	演習	教科書を読み協調運動障害の8つの要素を予習する (30分)	協調性の評価方法についてまとめる (30分)
12	脳神経	① ② ③	川本	演習	使用教科書2のp105～126を精読する (30分)	演習で行った内容を振り返り、まとめる (30分)
13	感覚検査	① ② ③	川本	演習	使用教科書1のp114～129 使用教科書2のp93～103を精読する (30分)	演習で行った内容を振り返り、まとめる (30分)
14	上肢機能検査 (STEF・MFT・ARATなど)①	① ② ③	川本	演習	使用教科書1のp204～212を精読する (30分)	演習で行った内容を振り返り、まとめる (30分)
15	上肢機能検査 (STEF・MFT・ARATなど)②	① ② ③	川本	演習	使用教科書1のp204～212を精読する (30分)	演習で行った内容を振り返り、まとめる (30分)
	定期試験 (実技試験)					
評価基準・評価方法						
<p>評価方法：期末試験 (50%)、中間試験 (50%) 評価基準：中間、期末ともに指定した範囲の実技試験を行う。</p>						
使用教科書						
<p>標準作業療法学専門分野 作業療法評価学 / 矢谷令子監修.--第4版--医学書院, 2017年12月, 978-4-260-05249-8 ベットサイドの神経の診かた / 北里大学名誉教授 田崎義昭 著.--改訂18版--南山堂, 2016年2月発行, 978-4-525-24798-0 新・徒手筋力検査法 原著第10版 / Dale Avers・他.--協同医書出版社, 978-4763900418</p>						
参考図書						
『新・徒手筋力検査法』第9版, 協同医書出版 その他必要に応じて紹介する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	試験結果に対する総評コメントを公開する					
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域の病院での勤務経験を活かして、実践場面で行われている評価方法を取り入れながら授業を行う。					
備考	動きやすい服装、髪を束ねる、爪を切る、装飾品を外す等、実技ができるように準備すること。質問等は講義中に随時受け付ける。また、オフィスアワーなど講義以外でも対応する。					

授業科目名		担当教員				
作業療法評価学演習Ⅱ(精神・認知・医用画像)		古松山建吾・世良龍哉・立川真也・中嶋淳士・石原魁介(代表教員 古松山建吾)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOE405		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾(作業療法士)・加藤清人(作業療法士)・世良龍哉(作業療法士)・永井貴士(作業療法士)・竹中孝博(作業療法士)・浅野莉沙(作業療法士)・中嶋淳士(作業療法士)・立川真也(作業療法士)・石原魁介(言語聴覚士)				
授業概要						
中枢神経疾患ならびに精神疾患、高齢者における運動障害・認知障害をどのように評価するかを学ぶ。また、環境適応(福祉用具)における評価の視点についても学ぶ。作業療法評価学Ⅱで学修した評価・検査を臨床を模した場面で実施することで知識に裏付けされた技術を修得する。双方向対話型教育システム(パトグラ)及び遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。動画資料も積極的に活用し、反復学習することで知識・技術の確実な定着を目指す。						
学修の到達目標						
①中枢神経疾患に対する作業療法評価を適切に実施できる。 ②障害に合わせた福祉用具の適応について自分の考えを持てる。 ③高齢者に対する作業療法評価について実施できる。 ④精神障害に対する作業療法評価を適切に実施できる。 ⑤修得した評価を臨床を模した場面で実施できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	脳出血の脳画像読影	①	古松山	演習	教科書(2)p.2-124の通読(30分)	演習で提示した課題(30分)
2	脳梗塞の脳画像読影	①	古松山	演習	教科書(2)p.2-124の通読(30分)	演習で提示した課題(30分)
3	その他の中枢神経障害の脳画像読影	①	古松山	演習	教科書(2)p.126-152の精読(30分)	演習で提示した課題(30分)
4	中枢神経疾患による運動障害の評価(BRS)	①	立川	演習	教科書(3)p.188-275の精読とBRS評価の整理(30分)	BRSの習得練習(30分)
5	中枢神経疾患による運動障害の評価(上田による片麻痺機能テスト)	①	立川	演習	教科書(3)p.188-275の精読(30分)	上田による片麻痺機能テストの習得練習(30分)
6	中枢神経疾患による運動障害の評価(SIAS・FMA・MAL)	①	立川	演習	教科書(3)p.188-275の精読(30分)	SIAS/FMA/MALの習得練習(30分)
7	脊髄損傷の作業療法評価の実際	②	中嶋	講義演習	事前に提示した課題(30分)	講義内容の整理(30分)
8	摂食嚥下に関する評価の実際	① ② ③	石原	講義演習	事前に提示した課題(30分)	講義内容の整理(30分)
9	失語症に関する評価の実際	① ② ③	石原	講義演習	事前に提示した課題(30分)	講義内容の整理(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神科領域における評価（1）	④	世良	演習	教科書(3)p.441-471の通読(30分)	講義内容の整理(30分)
11	精神科領域における評価（2）	④	世良	演習	教科書(3)p.441-471の通読(30分)	講義内容の整理(30分)
12	臨床場面における作業療法評価の実践（1）	⑤	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理(30分)	演習で課題となった個所の練習(30分)
13	臨床場面における作業療法評価の実践（2）	⑤	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理(30分)	演習で課題となった個所の練習(30分)
14	臨床場面における作業療法評価の実践（3）	⑤	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理(30分)	演習で課題となった個所の練習(30分)
15	臨床場面における作業療法評価の実践（4）	⑤	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理(30分)	演習で課題となった個所の練習(30分)
	課題					
評価基準・評価方法						
課題(80%)及び小テスト(20%)により判定する。						
使用教科書						
高次脳機能障害作業療法学（作業療法学ゴールドマスター・テキスト）/ 鈴木孝治.--第3版--メジカルビュー, 978-4-7583-2045-0 脳画像 第1版 / 前田眞治.--医学書院, 978-4-260-03250-6 標準作業療法学（専門分野）作業療法評価学 第4版 / 能登真一.--医学書院, 978-4-260-05249-8						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	演習中及び演習終了後に時間を設ける。					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での事例を提示し、作業療法評価のプロセスを実践的に学習できるようにする。					
備考						

授業科目名		担当教員				
作業療法治療技術理論		浅野莉沙・加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・古松山建吾（代表教員 浅野莉沙）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習		SOT201	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)・永井貴士(作業療法士)・世良龍哉(作業療法士)・竹中孝博(作業療法士)・古松山建吾(作業療法士)・浅野莉沙(作業療法士)				
授業概要						
作業療法に必要な理論・評価・介入について、各教員が専門的に取り組んでいる分野の紹介をする。本講義は2年前期の選択授業、3年前期の卒業研究につながる位置づけとなっているため、本講義で得た知識を基にして在学中に自身が追求するテーマを得る。また、OSCEを通して医療従事者に求められるコミュニケーション技法について理解を深める。取り組みとして、模擬患者における初回介入を想定する。そこで、必要となるコミュニケーション技法についてディスカッションの場にて理解を深め、体得することを目指す。						
学修の到達目標						
①作業療法のサブカテゴリー領域の理論、研究の概略を知ることができる ②在学中に自身が追求するテーマを発見できる ③医療従事者に求められるコミュニケーション技術について習得できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション 環境から支援するための作業療法理論	① ②	浅野	講義	事前に配布した資料に目を通す(30分)	講義中に提示された課題(30分)
2	認知症予防に対する作業療法理論	① ②	加藤	講義	事前に配布した資料に目を通す(30分)	講義で説明した重点箇所についてまとめる(30分)
3	信念対立と作業療法理論	① ②	古松山	講義	事前にクラスルームに上げた動画を視聴し概要をまとめる(30分)	講義中に提示した課題(30分)
4	作業療法と作業行動理論	① ②	永井	講義	事前に提示した課題(30分)	講義内で提示した課題(30分)
5	精神障害に対する作業療法理論	① ②	世良	講義	事前に配布した資料に目を通す(30分)	講義内で提示した課題のまとめ(30分)
6	整形外科疾患に対する作業療法理論	① ②	竹中	講義	事前に配布した資料に目を通す(30分)	講義内で提示した課題をまとめる(30分)
7	OSCEのオリエンテーション	③	浅野	講義	事前配布する接遇に関する資料を読み、十分に理解する(30分)	講義内で提示した課題(30分)
8	医療における接遇技術、傾聴技術	③	浅野	講義	事前配布する資料を読み、十分に理解する(30分)	講義内で提示した課題(30分)
9	OSCEの演習(1)	③	全OT教員	演習	オリエンテーションで提示した課題(30分)	演習で提示された技能練習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	OSCEの演習（2）	③	全OT教員	演習	オリエンテーションで提示した課題（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
11	OSCEの演習（3）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
12	OSCEの演習（4）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
13	OSCEの演習（5）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
14	OSCEの演習（6）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
15	OSCEのフィードバック	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
	実技試験（OSCE）					
評価基準・評価方法						
実技試験で評価する						
使用教科書						
必要に応じ資料を配布する。						
参考図書						
杉原素子編：作業療法学全書〔改訂第3版〕第1巻 作業療法概論（協同医書出版社）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	各回の講義では、終了時に全体にむけてフィードバックを行う。 演習では、グループごとに個々のフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	各担当教員がこれまでに臨床で経験した症例や各専門領域における研究内容について紹介し、作業療法の多様な専門性の理解につながるよう授業を展開する。					
備考	質問は適宜受け付ける。また講義中も適宜質問の時間を取る。					

授業科目名		担当教員				
認知症予防論		加藤清人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SOT402		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)				
授業概要						
認知症高齢者の増加が見込まれている高齢社会の現状を踏まえながら、認知症高齢者の健康増進に向けた介護予防支援について論じていく。一次予防(健康増進)、二次予防(早期発見・早期介入)、三次予防(要介護リスク低減)を中心に、健康の増進に好ましいとされる行動と環境、その変容を促すための介入、認知症発症リスクと心理社会的側面などの関連について理解することを目指す。それぞれのテーマについて、課題を提示しグループワークにて作業を進め、学びを深める。また、3年次科目の卒業研究にむけて、研究課題の抽出やデータ収集など研究方法についても理解を深める。						
学修の到達目標						
①一次予防や二次予防、三次予防について説明することができる。 ②健康増進を図るための行動と環境について知ることができる。 ③心理社会的側面を踏まえた作業療法の介入について理解を深めることができる。 ④卒業研究で必要となるデータ収集方法や介入(実験)をすることで研究力を高めることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション(学習の進め方)		加藤	講義	配布資料を読み込んでおく(30分)	学習計画の立案、今後必要な知識を整理しておく(30分)
2	わが国における高齢社会の現状	①	加藤	講義	高齢社会に必要な情報を調べておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
3	認知症予防について考える	①	加藤	講義	わが国の認知症予防について調べておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
4	介護予防・日常生活支援総合事業の概要(1)	① ②	加藤	講義	わが国の介護予防支援について調べておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
5	介護予防・日常生活支援総合事業の概要(2)	① ②	加藤	講義	第4講の内容の確認と必要な情報を整理しておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
6	認知症発症に関わるリスク因子(1)	②	加藤	講義	認知症のリスク要因について調べる(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
7	認知症発症に関わるリスク因子(2)	②	加藤	講義	第6講の内容を確認しておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
8	認知症高齢者に対する作業療法介入(1)	③	加藤	講義	認知症高齢者の作業療法介入について調べておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)
9	認知症高齢者に対する作業療法介入(2)	③	加藤	講義	第8講の内容を確認しておく(30分)	講義内容について要点をまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	認知症高齢者に対する作業療法介入（3）	③	加藤	講義	第9講の内容を確認しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
11	健康を阻害する地域環境要因	② ③	加藤	講義	地域環境の影響について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
12	作業療法研究にむけての調査	③ ④	加藤	講義	作業療法研究について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
13	作業療法介入を考える（1）	③ ④	加藤	講義	種々の文献から作業療法の介入について整理しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
14	作業療法介入を考える（2）	③ ④	加藤	講義	第13講の内容を確認しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
15	今後期待される（求められる）作業療法の取り組み	③ ④	加藤	講義	これまでの講義内容を整理しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
	課題					
評価基準・評価方法						
課題（80%）、授業の取り組み状況（20%）で評価する。						
使用教科書						
資料を配付する。						
参考図書						
認知症の作業療法（医歯薬出版）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	各回の終了時に全体に向けてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	回復期リハビリテーション病院、診療所、介護老人保健施設、訪問事業所における職務経験（10年）から認知症高齢者の特徴を理解し、認知症高齢者と適切に関われる知識と実践力を身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	オフィスアワー：講義中に随時質問を受け付ける。また、講義後でも対応する。					

授業科目名		担当教員				
ニューロリハビリテーション論		古松山建吾				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾(作業療法士)				
授業概要						
成人だけでなく中枢神経障害系全般の各種方法論について批判的吟味を行う経験をする。 各種方法論の土台となっている研究論文を精読し、理解を深める。 学内・学外への実体験を通して中枢神経系の治療の見聞を深める。						
学修の到達目標						
①Science basedな思考を養い、それに基づいて文献の検索・読解ができる。 ②自身の考えを論理的・科学的に展開し、卒業論文作成に向けたデータ収集・処理方法を構築できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ニューロリハビリテーションとはなにか	①	古松山	講義	なし	講義内で紹介した文献の精読(30分)
2	ニューロリハビリテーションの実際(1)	①	古松山	演習	事前提示資料の精読(30分)	演習内容の整理(30分)
3	ニューロリハビリテーションの実際(2)	①	古松山	演習	事前提示資料の精読(30分)	演習内容の整理(30分)
4	ニューロリハビリテーションの実際(3)	①	古松山	演習	事前提示資料の精読(30分)	演習内容の整理(30分)
5	脳科学文献の検索	①	古松山	演習	「作業療法研究方法論」で学んだ文献検索方法の復習(30分)	指定した文献の検索(30分)
6	脳科学文献レビュー(1)	①	古松山	演習	レビューする文献の選定と入手(30分)	グループでレビューした文献の整理(30分)
7	脳科学文献レビュー(2)	①	古松山	演習	レビューする文献の選定と入手(30分)	グループでレビューした文献の整理(30分)
8	脳機能計測の概要(1)	②	古松山	講義	事前提示資料の精読(30分)	学んだ計測技術の整理(30分)
9	脳機能計測の概要(2)	②	古松山	講義	事前提示資料の精読(30分)	学んだ計測技術の整理(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	データ収集の整理（1）	②	古 松 山	演習	学んだ計測技術の整理（30分）	習得した計測技術の練習（30分）
11	データ収集の整理（2）	②	古 松 山	演習	事前提示した資料の通読（30分）	データ整理（30分）
12	脳科学実験データ・デザイン（1）	②	古 松 山	演習	データ整理（30分）	データ整理（30分）
13	脳科学実験データ・デザイン（2）	②	古 松 山	演習	事前配布した資料の確認（30分）	模擬データによるデータ処理（30分）
14	脳科学実験データ・デザイン（3）	②	古 松 山	演習	事前配布した資料の確認（30分）	模擬データによるデータ処理（30分）
15	統計処理ソフトRによるデータ解析	②	古 松 山	演習	「作業療法研究方法論」で学んだ統計処理及びRの使用に関する復習（30分）	データ解析（30分）
	課題					
評価基準・評価方法						
課題(90%)、ディスカッションへの貢献度(10%)で評価・判定する。						
使用教科書						
適宜指示する（主に図書館・インターネット上から入手できる論文）。						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中もしくは講義終了後に実施する。					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での実際の事例を提示し、ディスカッションの中で実践的な学びを深めるようにする。					
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail : k.kohiyama@heisei-iryuu.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
精神障害治療論		世良龍哉				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉(作業療法士)				
授業概要						
作業療法の対象となる精神障害について、障害構造論や回復段階に応じたリハビリテーションを理解し、精神の病とそれに伴う生活障害およびそれらに対する援助方法を学ぶ。講義では、グループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①精神障害を抱えることでの生活上の困難さを理解できる ②精神障害領域で用いられる治療・リハビリを理解できる ③精神障害領域で用いられる、概念を理解できる ④自分の関心のある領域に気づき、研究計画が作成できる ⑤卒業研究で必要となるデータ収集方法や介入(実験)をすることで研究力の向上できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	世良	講義	研究の流れについてまとめる(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
2	精神障害に対するリハビリテーション(1)	①	世良	講義	文献検索の方法について整理する(30分)	わからない用語を他者にする(30分)
3	精神障害に対するリハビリテーション(2)	①	世良	演習	精神障害に関連する文献検索の準備(30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ(30分)
4	精神障害と作業療法(1)	②	世良	講義	精神科作業療法に関連する文献検索の準備(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
5	精神障害と作業療法(2)	②	世良	演習	精神科作業療法に関連する文献検索の準備(30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ(30分)
6	精神障害と作業療法(3)	②	世良	演習	精神科作業療法に関連する文献検索(30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ(30分)
7	生きる力、SOC(1)	③	世良	講義	SOCに関連する文献検索の準備(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
8	生きる力、SOC(2)	③	世良	演習	SOCに関連する文献検索(30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ(30分)
9	生きる力、SOC(3)	③	世良	演習	SOCに関連する文献検索(30分)	ディスカッションした内容の整理、まとめ(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神障害領域で用いられる概念（1）	③	世良	講義	精神障害領域に関連する用語の下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
11	精神障害領域で用いられる概念（2）	③	世良	演習	精神障害領域に関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
12	精神障害領域で用いられる概念（3）	③	世良	演習	精神障害領域に関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
13	作業療法研究にむけての調査	⑤	世良	演習	関心のある領域、テーマに関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
14	作業療法介入を考える	⑤	世良	演習	関心のある領域、テーマに関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
15	精神障害領域で行われる研究	④	世良	演習	関心のある領域、テーマに関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
	課題提出					
評価基準・評価方法						
評価方法は、課題（100%）をもって判断する。						
使用教科書						
精神障害と作業療法 / 山根寛. --新版--三輪書店, 2017年, 978-4-89590-583-1						
参考図書						
作業療法学全書第5巻 精神障害 第3版 協同医書出版						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出された課題について、全体の総評コメントをもちいて提示する					
実務経験をいかした教育内容	様々な対象者に対して精神科作業療法を実践してきた経験から、精神の病とそれに伴う生活障害およびそれらに対する援助方法を学ぶことができるような授業展開をしていく。					
備考	授業中に随時質問を受け付ける。また、講義前後に対応する。					

授業科目名		担当教員				
作業行動理論		永井貴士				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		SOT405	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士(作業療法士)				
授業概要						
基礎作業学で実施した「人間作業モデル」を基に、作業療法理論を学び、理解を深める。さらに、臨床実践につなげられる臨床力を高められるよう、グループワークや演習形式で学習を勧めていく。						
学修の到達目標						
①人間作業モデルに基づいた評価が理解できる。 ②作業に基づいた実践の考え方を主体的に活用できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業行動理論の歴史と人間作業モデルについて	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
2	作業に関する自己評価(OA-II)の概要	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
3	作業に関する自己評価(OA-II)の実施	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
4	作業に関する自己評価(OA-II)の解釈	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
5	人間作業モデルスクリーニングツール(MOHOST)の概要	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
6	人間作業モデルスクリーニングツール(MOHOST)の実施	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
7	人間作業モデルスクリーニングツール(MOHOST)の解釈	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
8	事例検討その①	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	事例検討その②	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	事例検討その③	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	事例検討その④	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
12	事例検討のグループワークその①	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
13	事例検討のグループワークその②	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
14	人間作業モデルの研究論文の紹介	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
15	人間作業モデルの実践の紹介	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
	レポート課題					
評価基準・評価方法						
課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。 課題レポート (100%) をもって履修の可否を決定する。						
使用教科書						
キールホフナーの人間作業モデル / 山田孝監訳・Renee R. Taylor 編著。--改訂第5版--協同医書出版社, 2019年6月1日発行, 978-4-7639-2144-4						
参考図書						
必要に応じて、資料を配布する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	レポート課題提出後1週間以内に個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	実際に働いている臨床現場での作業療法理論の展開の仕方を事例を取り入れながら学ぶ。					
備考	事例を通した学びの場では、卒業後の自分の将来像を想定して、取り組むことを期待する。					

授業科目名		担当教員				
整形外科系障害治療論		竹中孝博				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		SOT406	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博(作業療法士)				
授業概要						
整形外科系障害の基礎から最新知見、作業療法応用などについて学ぶ。 この授業では講義と演習形式でグループワークやディスカッションを含む形式で進める。						
学修の到達目標						
①各疾患に対する特徴や病態が説明でき、介入方法についてのディスカッションが出来る。 ②心理社会的側面を踏まえた作業療法の介入について理解し説明ができる。 ③卒業研究で必要となるデータ収集方法や介入(実験)をすることで研究力の向上が出来る。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	スポーツ外傷とADL	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
2	筋萎縮の定義と概念	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
3	筋萎縮に対する治療トピックス	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
4	肩関節周囲炎の作業療法	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
5	痛みの基礎	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
6	痛みに対する介入	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
7	脊髄の興奮性変化	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
8	上肢骨折の手術	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
9	肩・肘骨折に対する作業療法研究	①	竹中	講義	事前に提示された課題(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	橈骨遠位端骨折の作業療法研究	①	竹中	講義	事前に提示された課題 (30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる (30分)
11	運動イメージの応用	①	竹中	講義	事前に提示された課題 (30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる (30分)
12	作業療法研究にむけての調査	② ③	竹中	演習	事前に提示された課題 (30分)	提示された課題をまとめる (30分)
13	作業療法介入を考える	② ③	竹中	演習	事前に提示された課題 (30分)	提示された課題をまとめる (30分)
14	グループディスカッション	① ② ③	竹中	演習	事前に提示された課題 (30分)	提示された課題をまとめる (30分)
15	グループディスカッション	① ② ③	竹中	演習	事前に提示された課題 (30分)	提示された課題をまとめる (30分)
	口頭試問		竹中		なし	なし
評価基準・評価方法						
口頭試問 (80%)、課題の取り組み状況 (20%) で評価する。						
使用教科書						
配布資料						
参考図書						
「整形外科運動療法ナビゲーション 上肢・体幹」改訂第2版 整形外科リハビリテーション学会 MEDICAL VIEW、2014、ISBN978-4-7583-1478-7						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	適時直接指導していく					
実務経験をいかした教育内容	急性期病院における職務経験 (12年) から運動器リハビリに関する知識の伝達、スポーツ整形における職務経験 (11年) から具体的な事例を通して必要な知識、技術を身につけられるようにする					
備考	整形外科疾患に対する作業療法の知識と評価・治療の流れについて学ぶ。臨床において大切な教科書であるが、短時間で非常に広い学習をするため、分からないときはいつでも質問を受け付ける。課題については適時フィードバックを行いながら進行状況を確認する。					

授業科目名		担当教員				
日常生活・環境アセスメント論		浅野莉沙				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT407		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙(作業療法士)				
授業概要						
様々な状態にある対象者の日常生活活動や作業について、環境の側面より捉えられるよう観察や介入の視点を学び、理解を深める。また、栄養状態や姿勢、心理面など、作業に影響を与える要因についても触れ、広い視点で対象者を捉えることができるよう学習を進めていく。授業内では少人数グループでのディスカッションを行い、課題に対する解決策を探求する。						
学修の到達目標						
①環境が日常生活活動や作業に与える影響について説明できる。 ②褥瘡予防の観点から姿勢サポートを体験できる。 ③モデルケースに対して作業療法的視点から観察・分析できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、環境を捉える視点	①	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
2	作業と環境の関連性①	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
3	作業と環境の関連性②	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
4	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング①	① ②	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
5	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング②	① ②	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
6	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング③	① ② ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
7	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング④	① ② ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
8	栄養状態とリハビリテーションとの関連性①	① ③	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
9	栄養状態とリハビリテーションとの関連性②	① ③	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	栄養状態とリハビリテーションとの関連性③	① ③	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
11	作業療法介入の考え方	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
12	環境に対する評価	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
13	作業療法の目標設定と介入の方向性	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
14	環境サポートの実践①	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
15	環境サポートの実践②	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
	課題					
評価基準・評価方法						
<p>評価方法：グループ発表、提出課題の内容にて評価する 評価基準：課題内容の理解度と、課題に対する自身の考えを表現することを重要視する</p>						
使用教科書						
適宜資料を配布する						
参考図書						
適宜紹介する						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポートや発表内容について直接フィードバックをする。					
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域や老年期障害領域における褥瘡予防、リハビリテーション栄養の観点からの介入経験を共有しながら授業を展開する。また、自助具や補装具をはじめとした福祉用具についても、可能な限り実物を用いて体験・体感できる機会を設ける。					
備考	質問は適宜受付ける。 必要な資料や参考資料がある場合、講義の際に紹介・資料配布する。					

授業科目名		担当教員				
老年期障害学		加藤清人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SOT408		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)				
授業概要						
<p>老年期対象者の特徴(身体的、精神的、社会的側面)を理解したうえで、作業療法の実践に用いられる基礎的知識を修得する。具体的には、老年期の生理的、心理的な変化などを学ぶ。また、高齢者を取り巻く環境を含め、高齢者の生活変化についても学習を深めていく。そして、虚弱高齢者や障害高齢者に対する作業療法の評価、アプローチについて学習し知識を深める。さらに、これらの内容を踏まえたうえで、障害高齢者に対して、評価や介入実践を行うことで、知識・技術の修得を図る。講義ではアクティブラーニングとして、ペア・シェア学習、グループワークを行い、ICTを活用し学びを深める。</p>						
学修の到達目標						
<p>①高齢社会、高齢者の特徴や生活を説明することができる。 ②高齢期における作業療法の役割を理解し、作業療法介入について説明することができる。 ③認知症高齢者の特徴を理解し、作業療法実践を説明することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	高齢社会(高齢者の定義、社会施策の変化)	①	加藤	講義	教科書p5～p13を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
2	高齢者の課題	①	加藤	講義	教科書p14～p27を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
3	社会制度	①	加藤	講義	教科書p28～p32を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
4	高齢期の作業療法	① ②	加藤	講義	教科書p33～p40を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
5	高齢者の特徴(一般的特徴)	①	加藤	講義	教科書p41～p52を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
6	認知症の理解(定義・症状)	③	加藤	講義	教科書p66～p71を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
7	認知症の理解(認知症疾患)	③	加藤	講義	教科書p72～p77を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
8	高齢期作業療法の実践課程(1)	②	加藤	講義	教科書p91～p101を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)
9	高齢期作業療法の実践課程(2)	②	加藤	講義	教科書p91～p101を読み込んでおく(30分)	講義内容の要点をまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	高齢者に対する作業療法（評価・援助）	②	加藤	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
11	認知症高齢者に対する作業療法（作業療法の位置づけ・評価）	② ③	加藤	講義	教科書p141～p155、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
12	認知症高齢者に対する作業療法（作業療法の視点、家族支援）	② ③	加藤	講義	教科書p141～p155、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
13	認知症高齢者の事例検討（1）	② ③	加藤	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
14	認知症高齢者の事例検討（2）	② ③	加藤	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
15	介護予防における作業療法	② ③	加藤	講義	配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
小テスト（50％）、期末試験（50％）を総合的に評価する。						
使用教科書						
標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学 / 矢谷金子監修.--第4版--医学書院, 2024年1月, 978-4-260-05327-3						
参考図書						
必要に応じて資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	各回、講義終了時に全体にむけフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	病院ならびに介護老人保健施設、訪問事業所における職務経験（10年以上）から高齢社会の状況、高齢者の特徴、作業療法の役割、課題を理解し、必要な基本的知識が身に着けられるよう授業を展開していく。					
備考	次週の要点を説明するので、復習と予習を怠らないこと。 質問は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
中枢神経障害学		立川真也・酒井四季子（代表教員 立川真也）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義		SOT509	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		立川真也（作業療法士）・酒井四季子（作業療法士）				
授業概要						
中枢神経障害、特に脳血管疾患により出現する症状を理解し、それらに対する評価知識・技術を習得する。双方向対話型教育支援システム（パトグラ）および遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。動画教材を活用し反復学習することで知識・技術の確実な定着を図る。						
学修の到達目標						
①脳血管疾患の病理や症状に精通し、脳画像読影ができる。 ②脳卒中片麻痺の評価を適切に実施し、その結果から介入方法を自律的に構築できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、中枢神経障害を引き起こす疾患	①	立川	講義	教科書(4)p.13-29、168-196の通読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
2	脳血管疾患の病態	①	立川	講義	教科書(4)p.76-166の通読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
3	脳血管疾患の画像読影	①	立川	講義	教科書(1)p.8-86の通読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
4	脳血管疾患に対する評価の概要	②	立川	講義	教科書(3)p.248-274の通読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
5	脳血管疾患でみられる運動障害とその評価	②	立川	講義	教科書(3)p.188-195、257-269の精読(30分)	BRSテストの復習(30分)
6	脳血管疾患でみられる認知障害とその評価	②	酒井	講義	教科書(3)p.270-274、418-439の精読(30分)	講義内で示した認知障害評価の練習(30分)
7	脳血管疾患でみられるその他の障害とその評価	②	酒井	講義	教科書(3)p.196-243の精読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
8	脳血管疾患に対する評価の構築	②	立川	講義	教科書(3)p.2-27、234-245の精読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
9	脳血管疾患における評価の解釈	②	立川	講義	事前に配布した資料の確認(30分)	講義内で提示した課題(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳血管疾患への介入（1）	②	立川	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（30分）
11	脳血管疾患への介入（2）	②	立川	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（30分）
12	脳血管疾患への介入（3）	②	酒井	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（30分）
13	その他の中枢神経障害疾患	②	酒井	講義	教科書(4)p.212-225の通読（30分）	講義内で提示した課題（30分）
14	脳卒中片麻痺に対する作業療法介入（1）	②	酒井	講義	事前に配布された資料を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントについてまとめる（30分）
15	脳卒中片麻痺に対する作業療法介入（2）	②	立川	講義	事前に配布された資料を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントについてまとめる（30分）
	定期試験					
評価基準・評価方法						
期末試験(60%)、課題(20%)、小テスト(20%)で評価・判定する。						
使用教科書						
脳画像 第1版 / 前田眞治.--医学書院, 2017年, 978-4-260-03250-6 高次脳機能障害作業療法学 (作業療法学ゴールドマスター・テキスト) / 鈴木孝治.--第3版--メジカルビュー, 2022年, 978-4-7583-2045-0 標準作業療法学 (専門分野) 作業療法評価学 第4版 / 能登真一.--医学書院, 2024年, 978-4-260-05249-8 標準理学療法学・作業療法学 (専門基礎分野) 神経内科学 / 第6版--医学書院, 2024年12月, 978-4-260-05667-0						
参考図書						
別途、適宜資料を配布する						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中もしくは講義終了後にフィードバックの時間を設ける。					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での実務経験をもとに、事例を通じた学びを深める。					
備考						

授業科目名		担当教員				
整形外科系障害学		竹中孝博・川本 徹 (代表教員 竹中孝博)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT510		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博(作業療法士)、川本 徹(作業療法士)				
授業概要						
整形外科疾患に対する基礎知識と評価、作業療法介入の流れについて学ぶ。 講義の中で解剖学や運動学にも適時触れていく。 講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①各疾患の特徴や症状を説明できること、評価、治療の基本的な考え方を説明できる。 ②自ら進んで調べ活発に討論できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	手の機能解剖 1	①	竹中	講義	1年次に学修した解剖学演習での筋の機能解剖を復習する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
2	手の機能解剖 2	①	竹中	講義	使用教科書1のp2-30を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
3	骨折概論	①	川本	講義	使用教科書1のp32-43を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
4	骨折の作業療法 1	①	川本	講義	使用教科書1のp44-62を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
5	骨折の作業療法 2	①	川本	講義	使用教科書1のp63-100を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
6	骨折の作業療法 3	①	川本	講義	使用教科書1のp101-114を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
7	骨折の作業療法 4	①	川本	講義	使用教科書2のp312-335を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
8	拘縮の作業療法	①	川本	講義	事前に提示された範囲を学修する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
9	末梢神経損傷概論	①	川本	講義	使用教科書1のp156-170を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経損傷の作業療法	①	川本	講義	使用教科書1のp170-194を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
11	腱損傷概論	①	竹中	講義	使用教科書1のp116-125を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
12	腱損傷の作業療法	①	竹中	講義	使用教科書1のp126-154を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
13	リウマチの作業療法	①	竹中	講義	使用教科書1のp196-228を精読する(30分)	講義内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
14	リウマチの作業療法介入	②	竹中	演習	事前に提示された範囲を学修する(30分)	演習内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
15	グループワーク	②	竹中	演習	事前に提示された範囲を学修する(30分)	演習内で提示された重要ポイントをまとめる(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験(50%)、授業中の小テスト(50%)						
使用教科書						
リハ実践テクニック ハンドセラピー / 齋藤慶一郎. --メジカルビュー, 2022年, 978-4-7583-2072-6 病気がみえるvol.11 運動器・整形外科 / 医療情報科学研究所. --メデックメディア, 2024年, 978-4-89632-925-4						
参考図書						
中田眞由美他: 作業療法士のためのハンドセラピー入門 第2版 三輪書店、2006 ISBN978-4-89590-255-7 長崎重信: ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 メジカルビュー社 ISBN978-4-7583-1673-6						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストは適時返却する					
実務経験をいかした教育内容	急性期病院における職務経験(12年)から運動器リハビリに関する知識の伝達、スポーツ整形における職務経験(11年)から具体的な事例を通して必要な知識、技術を身につけられるようにする					
備考	整形外科疾患に対する作業療法の基礎知識と評価・治療の流れについて学ぶ。臨床において大切な教科書であるが、短時間で非常に広い学習をするため、分からないときはいつでも質問を受け付ける。 毎回授業中に小テストを行い知識の確認を行う。					

授業科目名		担当教員				
内部機能障害学		長谷部武久・寺本佳津明・坂田崇好 (代表教員 長谷部武久)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	SOT511		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)・寺本佳津明(作業療法士)・坂田崇好(作業療法士)				
授業概要						
作業療法において対象となる代謝系疾患、循環器系疾患、慢性閉塞性肺疾患などの基本的な病態や発生機序、検査・評価、介入・治療方法について学び、理解を深める。なお、PCやタブレットを使用し自主学習、グループワークを通して実施する。						
学修の到達目標						
①内部疾患についての基本的な知識を理解し修得できる。 ②内部疾患に対する作業療法士の役割や専門性を認識について述べるができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	代謝障害の解剖と生理、糖尿病の病態	①	長谷部	講義	病態と治療について復習すること(30分)	病態について復習すること(30分)
2	糖尿病に対する作業療法の進め方	②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること(30分)	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること(30分)
3	腎不全の病態およびリハビリテーション	① ②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること(30分)	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること(30分)
4	循環器の解剖と生理、心不全について	①	長谷部	講義	病態について復習すること(30分)	解剖と生理、心不全について復習すること(30分)
5	循環器疾患の病態と治療	① ②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること(30分)	循環器疾患の病態と治療について復習すること(30分)
6	心疾患に対する作業療法の進め方(1)	②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること(30分)	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること(30分)
7	心疾患に対する作業療法の進め方(2)	②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること(30分)	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること(30分)
8	呼吸器疾患の病態	①	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく(30分)	講義の重点箇所についてまとめる(30分)
9	呼吸器疾患の病態とリハビリテーション	① ②	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく(30分)	講義の重点箇所についてまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器疾患に対する作業療法の進め方（1）	②	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
11	呼吸器疾患に対する作業療法の進め方（2）	②	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
12	悪性腫瘍の病態	①	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
13	悪性腫瘍の病態とリハビリテーション	① ②	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
14	悪性腫瘍に対する作業療法の進め方（1）	②	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
15	悪性腫瘍に対する作業療法の進め方（2）	②	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<p>評価方法：定期試験（90％）、小テスト（10％） 小テストは事前学習内容に関して、国家試験過去問題を主に講義開始より5～10分間で実施する。</p>						
使用教科書						
イラストでわかる内部障害 / 上杉雅之、堀江淳.--第1版--医歯薬出版、2020年、978-4-263-26611-3						
参考図書						
奈良勲：標準理学療法学専門分野内部障害理学療法学，医学書院2016						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	各回、講義終了時に全体にむけてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	この授業では、総合病院にて10年以上にわたり内部疾患系リハビリテーションに携わってきた職務経験に基づき、内部疾患に対する運動療法の理論的背景とその障害に対する具体的実践に関する講義を行う。					
備考	作業療法対象として拡大してきた分野であり、十分な予習・復習、疾患の理解と専門性を重視した思考が必要である。					

授業科目名		担当教員				
高次脳機能障害学		古松山建吾・酒井四季子（代表教員 古松山建吾）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT512		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾（作業療法士）、酒井四季子（作業療法士）				
授業概要						
<p>高次脳機能障害に関する基礎的な知識・技術を習得する。 症例情報からの症状の予測、評価の選択、介入の立案などについて学ぶ。 双方向対話型教育支援システム（パトグラ）及び遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。また動画教材を活用して反復練習をすることで知識・技術の確実な定着を図る。</p>						
学修の到達目標						
<p>①注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害、半側空間無視、失行、失認、失語に関する概要・評価方法・介入が理解できる。 ②診断名、画像所見などから出現する可能性の高い症状を予測し、その有無を明確にするための評価計画を立案できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	高次脳機能障害とは何か	①	古松山	講義	教科書(1)p.2-8を通読(30分)	講義内で提示した課題(60分)
2	注意障害の概要と評価	①	古松山	講義	教科書(1)p.60-84の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)
3	標準注意検査(CAT)	①	古松山	演習	配布した資料の確認(30分)	CAT実施の練習(60分)
4	その他の注意機能の検査(TMT、かな拾い検査など)	①	古松山	演習	配布した資料の確認(30分)	TMT・かな拾い検査の実施の練習(60分)
5	記憶障害の概要と評価	①	古松山	講義	教科書(1)p.147-169の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)
6	ウェクスラー記憶検査、リバーミード行動記憶検査、ベントン視覚記銘検査	①	古松山	演習	事前に配布した資料の確認(30分)	演習で行った検査の練習(60分)
7	遂行機能障害の概要と評価、BADsなど	①	古松山	演習	教科書(1)p.204-218の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)
8	前頭葉機能障害の概要と評価、FABなど	①	古松山	演習	事前に配布した資料の確認(60分)	FAB実施の練習(30分)
9	半側空間無視の概要と評価、BIT	①	古松山	演習	教科書(1)p.85-102の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	失行症の概要と評価、SPTA・WAB失語症検査の行為など	①	古松山	講義	教科書(1)p.180-202の通読(60分)	SPTA・WAB行為検査の練習(60分)
11	失認の概要と評価、VPTAなど	①	古松山	講義	教科書(1)p.116-130の通読(30分)	講義内で提示した課題(30分)
12	社会的行動障害	①	古松山	講義	教科書(1)p.220-240の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)
13	失語症	①	古松山	講義	教科書(1)p.139-155の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)
14	症例を通した評価の構築と解釈及び介入立案(症例1)	②	酒井	演習	教科書(3)p.2-27の通読(60分)	講義内で提示した課題(60分)
15	症例を通した評価の構築と解釈及び介入立案(症例2)	②	酒井	演習	事前に配布した資料の確認(60分)	講義内で提示した課題(60分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
期末試験(60%)、課題(20%)、小テスト(20%)で評価・判定する。						
使用教科書						
高次脳機能障害作業療法学(作業療法学ゴールドマスター・テキスト)/鈴木 孝治.--第3版--メジカルビュー, 2022年, 978-4-7583-2045-0 脳画像 第1版/前田眞治.--医学書院, 2017年, 978-4-260-03250-6 標準作業療法学(専門分野)作業療法評価学 第4版/能登真一.--医学書院, 978-4-260-05249-8						
参考図書						
講義内で適宜紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中もしくは講義後に実施する。					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での事例を提示し、実践的な学びを深められるようにする。					
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail : k.kohiyama@heisei-iryuu.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
義肢装具学		竹中孝博				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT413		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博(作業療法士)				
授業概要						
<p>第1回から8回は義肢全般を切断者の術前評価・術後管理から各義肢の目的と機能をつかみ、義手使用が可能になるか知る事と、体幹装具・下肢装具の機能とその目的を知る。</p> <p>第9回から15回は作業療法に必要な装具、スプリントについての基礎知識、装具の種類と適応、力学などについて学ぶ。</p> <p>講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。</p>						
学修の到達目標						
<p>①義肢装具の評価方法や機能を理解し他者に説明できる。</p> <p>②素材の特徴や制作方法を学び、臨床に必要な技術を習得できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	義肢総論	①	竹中	講義	教科書p1-17を読んでまとめる(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
2	義手の基本構造・分類・部品	①	竹中	講義	教科書p18-41を読んでまとめる(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
3	筋電義手、義手の適合判定	①	竹中	講義	教科書p42-65を読んでまとめる(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
4	義足の基本構造・部品	①	竹中	講義	事前に指定された課題に取り組む(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
5	装具総論(上肢)	①	竹中	講義	教科書p204-216を読んでまとめる(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
6	装具総論(下肢・体幹)	①	竹中	講義	教科書p223-246を読んでまとめる(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
7	事例検討	①	竹中	講義	事前に指定された課題に取り組む(60分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
8	スプリントについて	②	竹中	講義	事前に指定された課題に取り組む(30分)	講義内で提示された重点ポイントをまとめる(30分)
9	背側cock-up splint 1	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む(15分)	指定された課題をレポートにまとめる(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	背側cock-up splint 2	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む (15分)	指定された課題をレポートにまとめる (60分)
11	掌側cock-up splint 1	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む (15分)	指定された課題をレポートにまとめる (60分)
12	掌側cock-up splint 2	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む (15分)	指定された課題をレポートにまとめる (60分)
13	joint jack	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む (15分)	指定された課題をレポートにまとめる (60分)
14	thumb spica splint 1	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む (15分)	指定された課題をレポートにまとめる (60分)
15	thumb spica splint 2	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む (15分)	指定された課題をレポートにまとめる (60分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
期末試験 (60%)、小テストの結果 (20%)、宿題・時間外レポート (20%)						
使用教科書						
義肢装具と作業療法 評価から実践まで / 大庭潤平, 他.--医歯薬出版, 2017年, 978-4-263-21669-9 リハビリ実践テクニック ハンドセラピー / 齋藤慶一郎.--メジカルビュー, 2022年, 978-4-7583-2072-6						
参考図書						
配布資料 義肢装具のチェックポイント第8版, 日本整形外科学会, 医学書院, 2014, ISBN978-4-260-01744-2						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	提出されたレポートはコメントをつけて返却する。					
実務経験をいかした教育内容	急性期病院における職務経験 (12年) から義肢装具のチェックポイントや作成に関する知識、スポーツ整形における職務経験 (10年) から具体的な事例を通して必要な知識、技術を身につけられるようにする					
備考	講義によって使用する教室が異なる。適時、資料を配布する。 短時間で非常に広い学習をするため、分からないときはいつでも質問を受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
精神障害学Ⅰ（総論）		世良龍哉・堀 義治（代表教員 世良龍哉）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SOT414		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）、堀義治（作業療法士）				
授業概要						
精神障害領域の作業療法についての総論を学ぶ。精神障害者の症状、取り巻く環境を考慮しながら作業療法との関連性、必要性について学んでいく。その為、精神障害に対する処遇の歴史と法律、精神疾患に対する治療と生活支援、精神科作業療法の治療構造について学び、理解を深める。講義では、グループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①精神障害の捉え方を理解できる。 ②精神障害に関する歴史を理解できる。 ③精神障害領域の作業療法の役割を理解できる。 ④精神障害領域の作業療法の治療構造を理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	講義のオリエンテーション	①	世良	講義	精神障害に用いられる用語の整理(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
2	精神障害者を理解するにあたっての基礎	①	世良	講義	精神障害に用いられる概念の整理(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
3	精神障害の捉え方	①	世良	講義	精神障害領域に用いられる用語の整理(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
4	精神障害者に対する治療処遇の歴史と法律(1)	②	世良	講義	精神障害者に対する歴史を下調べする(30分)	精神障害者に対する歴史の整理、まとめ(30分)
5	精神障害者に対する治療処遇の歴史と法律(2)	②	世良	講義	精神障害者に対する歴史を下調べする(30分)	精神障害者に対する歴史の整理、まとめ(30分)
6	精神障害に対する作業療法の視点(1)	③	世良	講義	作業を用いる療法の特性について下調べ(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
7	精神障害に対する作業療法の視点(2)	③	世良	講義	作業療法の目的について下調べ(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
8	精神障害に対する作業療法の視点(3)	③	世良	講義	回復過程と状態について下調べ(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)
9	精神障害に対する治療の流れ	④	世良	講義	作業療法の実践について下調べ(30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神障害に対する治療・支援	④	世良	講義	関連療法について下調べ (30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする (30分)
11	作業療法の構造と形態 (1)	④	世良	講義	作業療法の治療・支援構造の下調べ (30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする (30分)
12	作業療法の構造と形態 (2)	④	世良	講義	作業の要素について下調べ (30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする (30分)
13	作業療法の構造と形態 (3)	④	世良	講義	作業療法士の専門性について下調べ (30分)	わからない用語を他者に説明できるようにする (30分)
14	精神障害の理解を深める (1)	① ② ③	堀	講義	精神障害の特徴を復習 (30分)	精神障害の特徴を復習 (30分)
15	精神障害の理解を深める (2)	① ② ③	堀	講義	精神障害の特徴を復習 (30分)	精神障害の特徴をまとめる (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
評価方法は、定期試験 (80%)、課題 (20%) をもって総合的に判断する。						
使用教科書						
精神障害と作業療法 / 山根寛. --新版--三輪書店, 2017年, 978-4-89590-583-1						
参考図書						
作業療法学全書第5巻 精神障害 第3版 協同医書出版						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	提出された課題に対して、コメントをつけフィードバックする					
実務経験をいかした教育内容	様々な対象者に対し精神科作業療法を実践してきた経験から、精神障害の概要、精神科作業療法の治療構造について学びが深められるように授業を展開していく。					
備考	授業中に随時質問を受け付ける。また、講義前後に対応する。					

授業科目名		担当教員				
精神障害学Ⅱ（各論）		世良龍哉・片桐正博（代表教員 世良龍哉）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT515		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）片桐正博（作業療法士）				
授業概要						
精神障害領域の作業療法について、評価と治療に関する知識を学ぶ。精神障害学Ⅰで学んだ事を踏まえ、精神科作業療法の治療理論、対象者理解の視点（ICFなど）や、作業療法評価、治療技術、臨床における評価・治療の流れ、症例を通しての評価・治療計画の立案について学び、理解を深める。講義では、グループワークや双方向システムの活用、体験学習を取り入れながら学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①精神科作業療法の治療理論について理解できる。 ②精神科作業療法の治療因子について理解できる。 ③評価技術について理解できる。 ④治療技術について理解できる。 ⑤評価・治療計画の立案について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	精神障害領域の作業療法理論	①	世良	講義	作業療法の理論について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
2	作業療法の実践（1）	②	世良	講義	集団の治療因子について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
3	作業療法の実践（2）	②	世良	講義	集団療法について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
4	作業療法の実践（3）	②	世良	講義	作業療法の流れについて下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
5	作業療法の実践（4）	②	世良	講義	作業療法評価について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
6	作業療法の実践（5）	②	世良	講義	面接方法について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
7	評価技術（興味チェックリスト）	③	世良	講義演習	興味チェックリストについて下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
8	評価技術（行動観察）（1）	③	世良	講義	行動観察について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
9	評価技術（行動観察）（2）	③	世良	演習	行動観察について下調べ（30分）	行った行動観察についてまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	治療技術 (SST)	④	世良	講義 演習	SSTについて下調べ (30分)	行ったSSTについて まとめる (30分)
11	地域生活支援	⑤	世良	講義	作業療法が行う支援 と場について下調べ (30分)	わからない用語を他 者に説明できるよう にする (30分)
12	臨床における精神科作業療法の実践 (1)	③ ④ ⑤	片桐	講義	作業療法評価のまと め (30分)	症例情報の整理 (30分)
13	臨床における精神科作業療法の実践 (2)	③ ④ ⑤	片桐	演習	回復段階における作 業療法のまとめ (30分)	症例情報の整理 (30分)
14	症例を通して評価・治療の立案 (1)	③ ④ ⑤	片桐	講義	回復段階における作 業療法のまとめ (30分)	ディスカッションし た内容の整理、まと め (30分)
15	症例を通して評価・治療の立案 (2)	③ ④ ⑤	片桐	演習	作業療法の目的の整 理 (30分)	ディスカッションし た内容の整理、まと め (30分)
	定期試験 (筆記)					

評価基準・評価方法

評価方法は、定期試験 (80%)、課題 (20%) をもって総合的に判断する。

使用教科書

精神障害と作業療法 / 山根寛. --新版--三輪書店, 2017年, 978-4-89590-583-1

参考図書

作業療法学全書第5巻 精神障害 第3版 協同医書出版

課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	提出された課題に対して、コメントつけフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	様々な対象者に対し精神科作業療法を実践してきた経験から、精神科における作業療法について、評価と治療に関する知識の学びが深められるように授業を展開していく。
備考	授業中に随時質問を受け付ける。また、講義前後に対応する。

授業科目名		担当教員				
発達機能障害学Ⅰ（総論）		立岩慧士・野川淳平・久納健太・代田英里奈（代表教員 立岩慧士）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT416		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		立岩慧士（作業療法士）、久納健太（作業療法士）、野川淳平（理学療法士）、代田英里奈（作業療法士）				
授業概要						
発達機能障害学Ⅰでは、子どもの発達過程（誕生から1歳までの運動発達を中心に）を学び、各発達課題（寝返りや座位など）の獲得過程について理解を深める。また、発達障害等の疾患について、症状・評価・治療を関連付けて理解する。さらに、発達過程や疾患の知識を統合し、様々な情報から、評価・治療を考える。グループワーク、レポート作成、発表の機会をつくる。						
学修の到達目標						
①発達障害の意味を理解し、発達障害領域の作業療法の概略を理解する ②各発達課題を獲得するために必要な能力について理解できる。 ③作業療法評価の過程や、発達検査・知能検査の概要について説明できる。 ④各疾患についての、症状・評価・治療を関連付けて説明できる。 ⑤お子さんの情報から作業療法評価を行い、評価をもとにアプローチを考える事ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	小児の作業療法	①	立岩	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
2	小児の作業療法と人間発達	① ②	立岩	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
3	発達の作業療法理論①（感覚統合理論）	①	久納	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
4	あそびの分析～SI理論を中心に～	① ④ ⑤	久納	演習	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
5	発達の作業療法理論②（応用行動分析など）	① ④ ⑤	代田	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
6	心身機能の発達（運動機能・粗大運動）	②	立岩	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
7	心身機能の発達（原始反射・平衡反応）	②	野川	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
8	心身機能の発達（上肢機能）	②	久納	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
9	発達評価①（全般的発達検査）	③ ④	代田	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	発達評価②（運動発達検査／感覚－知覚－認知検査など）	③ ④	代田	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
11	発達評価③～検査キットを用いて～	③ ④ ⑤	代田	演習	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
12	認知・視覚機能の発達	② ④	久納	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
13	摂食機能の発達	②	代田	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
14	てんかんと作業療法	④ ⑤	代田	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
15	小児の発達の全体像	② ③ ⑤	立岩	演習	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
レポート課題（50%）及び定期試験（50%）で評価する。						
使用教科書						
イラストでわかる発達障害の作業療法 / 辛島千恵子.--医歯薬出版株式会社, 2016年, 978-4-263-21717-7 感覚統合Q&A 改定第2版 / 土田玲子.--協同医書出版社, 2013年, 978-4-7639-2135-2						
参考図書						
資料を配布する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法						
実務経験をいかした教育内容	発達障害領域で7年以上経験してきた講師陣が現場での困り事を抱えた子どもたちへの支援方法を具体例を挙げながら、知識と技術を学ぶ授業である。					
備考						

授業科目名		担当教員				
発達機能障害学Ⅱ（各論）		立岩慧士・野川淳平・久納健太・代田英里奈（代表教員 立岩慧士）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT517		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		立岩慧士（作業療法士）、久納健太（作業療法士）、野川淳平（理学療法士）、代田英里奈（作業療法士）				
授業概要						
発達機能障害学Ⅱでは、各疾患についての作業療法評価・アプローチについて学ぶ。社会性、言葉、遊びの発達過程や、疾患について学び、それらを統合して子どもの発達に応じた遊びを考え、実施する力を身につける。レポート作成、グループワーク、発表の機会を作る。						
学修の到達目標						
①発達障害を理解し、そのアプローチについて説明できる。 ②知的障害・ダウン症を理解し、予測できる問題点やそのアプローチについて説明できる。 ③脳性麻痺を理解し、予測できる問題点やそのアプローチについて説明できる。 ④小児分野に関わる各疾患の症状・評価・治療について、関連付けて説明できる。 ⑤家族支援、特別支援教育について理解し説明できる。 ⑥お子さんの情報から作業療法評価を行い、評価をもとにアプローチを考える事ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発達障害－自閉症スペクトラム症について	①	代田	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
2	発達障害－注意欠陥・多動症について	①	代田	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
3	発達障害－学習障害について	①	代田	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
4	発達障害－発達性協調運動症について	①	久納	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
5	発達障害に対するアプローチ	① ⑥	久納	演習	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
6	発達障害－場面緘黙・吃音について	①	代田	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
7	知的障害・ダウン症について	②	野川	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
8	脳性麻痺（痙直型）について	③	野川	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)
9	脳性麻痺（アテトーゼ型）について	③	野川	講義	教科書にて予習(30分)	教科書・資料で復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	重症心身障害について	④	野川	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
11	筋ジストロフィーについて	④	野川	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
12	小児の整形外科疾患について	④	野川	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
13	子育て支援・家族支援について	⑤	立岩	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
14	小児リハビリテーションと支援制度	⑤	立岩	講義	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
15	小児の作業療法と福祉用具の適応	⑥	立岩	演習	教科書にて予習 (30分)	教科書・資料で復習 (30分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
レポート課題（50%）及び定期試験（50%）で評価する。						
使用教科書						
イラストでわかる発達障害の作業療法 / 辛島千恵子.--医歯薬出版株式会社, 2016年, 978-4-263-21717-7 感覚統合Q&A 改定第2版 / 土田玲子.--協同医書出版社, 2013年, 978-4-7639-2135-2						
参考図書						
資料を配布する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法						
実務経験をいかした教育内容	発達障害領域で7年以上経験してきた講師が現場での困り事を抱えた子どもたちへの支援方法を具体例を挙げながら、知識と技術を学ぶ授業である。					
備考						

授業科目名		担当教員				
日常生活活動学		佐藤篤史				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	SOT418		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		佐藤篤史(作業療法士)				
授業概要						
日常生活活動学では、日常生活動作(ADL)についての評価、治療、支援についての理解を深める。また、日常生活動作の手順、誘導・促通などの技術、動作分析(グループワーク)を行い、理解を深める。さらに、障害を持った人の残存機能を最大限に引き出し、自立的生活を支援するために必要不可欠である、福祉用具についてもグループディスカッションにて理解を深める。						
学修の到達目標						
①日常生活動作の評価を理解できる。 ②アプローチ手段の概要を知る ③日常生活動作の手順について理解できる ④日常生活動作の誘導や促通について理解できる ⑤姿勢や動作を構成する要素を理解できる。 ⑥動作観察のポイントや分析の視点を理解し、図や言葉で表現できる。 ⑦自立的生活支援に必要な評価、治療、福祉用具を理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ADLとは	①	佐藤	講義 演習	ADLの予習する (30分)	ADLにおける治療法について復習する (30分)
2	ADLに対する誘導・促通について	②	佐藤	講義 演習	リハビリテーションにおける様々な治療法について予習する (30分)	演習にて行った内容を再現できるように復習する (30分)
3	ADLに対する誘導・促通について②	②	佐藤	講義 演習	リハビリテーションにおける様々な治療法について予習する (30分)	演習にて行った内容を再現できるように復習する (30分)
4	ADL手順	③	佐藤	講義 演習	ADLの手順について予習しておく (30分)	手順を覚え説明出来るように復習する (30分)
5	ADL手順②	③	佐藤	講義 演習	前回の授業の内容を復習しておく (30分)	手順を覚え説明出来るように復習する (30分)
6	ADLの手順③	③	佐藤	講義 演習	前回の授業内容を復習しておく (30分)	手順を覚え説明出来るように復習する (30分)
7	ADL動作の誘導・促通	④	佐藤	講義 演習	徒手的な誘導について予習しておく (30分)	実施した促通・誘導を再現できるようにしておく (30分)
8	ADL動作の誘導・促通②	④	佐藤	講義 演習	前回の授業内容を復習しておく (30分)	実施した促通・誘導を再現できるようにしておく (30分)
9	ADL動作の誘導・促通③	④	佐藤	講義 演習	前回の授業内容を復習しておく (30分)	実施した促通・誘導を再現できるようにしておく (30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	姿勢・動作分析	⑤ ⑥	佐藤	講義 演習	姿勢・動作分析について予習しておく (30分)	レポート完成 (30分)
11	姿勢・動作分析②	⑤ ⑥	佐藤	講義 演習	姿勢・動作分析について予習しておく (30分)	レポート完成 (30分)
12	姿勢・動作分析③	⑤ ⑥	佐藤	講義 演習	姿勢・動作分析について予習しておく (30分)	レポート完成 (30分)
13	福祉用具	⑦	佐藤	講義 演習	福祉用具の種類また疾患による適応を予習しておく (30分)	レポート完成 (30分)
14	FIM 運動項目	①	佐藤	講義 演習	FIM 運動項目について予習する (30分)	点数をつけられるように復習する (30分)
15	FIM 認知項目	①	佐藤	講義 演習	FIM 認知項目について予習する (30分)	点数をつけられるように復習する (30分)
	定期試験 (筆記試験)					
評価基準・評価方法						
<p>評価方法：姿勢・動作分析レポート (40%)、福祉用具レポート (10%) 評価基準：姿勢・動作分析レポートは講義にて説明した分析例を基に採点する。福祉用具レポートは、掲示疾患に応じた福祉用具が提案されているかを主に採点する。</p>						
使用教科書						
<p>作業療法学 ゴールドマスター・テキスト 日常生活活動学 (ADL) Web動画付 改訂第2版 / 長崎重信、木之瀬隆、一メジカルビュー社、2022年、978-4-7583-2050-4</p>						
参考図書						
適宜紹介する						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	レポートは添削、採点して返却する					
実務経験をいかした教育内容	臨床におけるさまざまな疾患の患者様の担当経験から、作業療法士に必要な基本動作やADL、作業場面の評価、治療、支援、動作分析について扱います。臨床で用いられている福祉用具や自助具の適合や評価方法についてもお伝えします。					
備考	グループワークによる課題も含まれるため、主体的に取り組み、臨床に必要な分析能力を修得することを期待します。 質問や相談は随時受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
生活技術学演習		浅野莉沙・加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・古松山建吾（代表教員 浅野莉沙）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		SOT419	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）・加藤清人（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
<p>作業療法の臨床場面では日常生活活動（ADL）の改善・向上が主要な治療目標とされることも多い。この授業では、実習等で必要になる介助技術や対象者への指導方法を学生ペアで行い修得する。またグループワークを用いて、対象者に合わせた介助方法を検討・練習する。また、褥瘡予防や作業時の姿勢ケアができるよう、ポジショニングや車椅子シーティングについても扱う。</p>						
学修の到達目標						
<p>①基本的な起居動作、移乗（トランスファー）の介助技術を習得する ②介助時における、怪我をしにくい自身の体の使い方を習得する ③褥瘡予防のポイントについて説明できる ④ポジショニング、シーティングの効果を体験する</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	起居動作の介助①	① ②	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	起居動作の介助②	① ②	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	移乗動作の介助（一部介助）	① ②	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	移乗動作の介助（重介助～全介助）	① ②	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	床上動作の介助	① ②	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	褥瘡の発生機序と予防のポイント	③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	ベッド上のポジショニングの考え方と支援①	③ ④	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	ベッド上のポジショニングの考え方と支援②	③ ④	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	車椅子シーティングの考え方と支援①	③ ④	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	車椅子シーティングの考え方と支援②	③ ④	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	臨床場面における作業療法実践の実施 (1)	① ②	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
12	臨床場面における作業療法実践の実施 (2)	① ②	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
13	臨床場面における作業療法実践の実施 (3)	① ②	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
14	臨床場面における作業療法実践の実施 (4)	① ②	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
15	臨床場面における作業療法実践の実施 (5)	① ②	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
	定期試験 (実技)					
評価基準・評価方法						
<p>評価方法：期末試験 評価基準：期末試験は実技試験を行う（詳細については講義内で周知する）</p>						
使用教科書						
イラストによる安全な動作介助のてびき第3版 / 飛松好子, 岩崎洋, 吉田由美子, 井上美紀. -- 医歯薬出版社, 978-4263217313						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	各授業中の課題については都度フィードバックを行う					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での患者に対する介助方法を具体的に実技を通して学び、安全管理と適切な技術を習得できるよう、身体障害領域・老年期障害領域・地域高齢者領域において臨床経験のある教員が担当する。					
備考	適切な介助技術を身につけることは、自分の身を守ること (怪我をしない) ことにもつながるため重要です。 実技が中心の授業です。ジャージなど動きやすい服装で出席してください。 授業内容に関する質問や相談はオフィスアワー等で受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
応用生活技術学演習		佐藤篤史				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	SOT520		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		佐藤篤史(作業療法士)				
授業概要						
応用生活技術学演習では、作業療法で主要に関わる日常生活活動の中でも重要なセルフケアを中心に、それに関する基本的身体機能、評価、動作分析、目標設定、治療方法、介入方法について学ぶ。						
学修の到達目標						
①対象者の生活に沿ったリハビリテーションのあり方を理解できる。 ②入院生活から退院後の生活に向け、環境調整、充実した地域生活の支援まで総合的に考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	食事とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
2	食事の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
3	摂食・嚥下障がい基礎知識	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
4	失語症の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
5	ポジショニング	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
6	起居動作	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
7	移乗動作	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
8	排泄とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
9	排泄行為の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	整容とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
11	整容行為の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
12	更衣とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
13	更衣動作の作業療法	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
14	調理の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
15	FIMの実践	① ②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(30分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(30分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
定期試験（100%）及び授業参加度等を総合的に判断して評価する。						
使用教科書						
中枢神経系疾患に対する作業療法 / 山本伸一. --三輪書店, 2009年, 978-4-89590-331-8 あっ!あぶない危険防止と安全な介護[脳卒中編] / 森田竜治, 永井貴士. --文溪堂, 9784894236424						
参考図書						
必要に合わせて資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法						
実務経験をいかした教育内容	病院における職務経験（19年）から患者さんのADLの特徴、作業療法士としての評価及び応用的な対応と技術そして訓練方法の提案などを具体的な事例を交えて、思考力・実践力が身につけられるように授業を展開していく。					
備考	実技形式が多いため、実技に向けた服装を準備しておくこと。					

授業科目名		担当教員				
作業療法特論Ⅰ（含喀痰等吸引）		永井貴士・萩野勝也・古田弥生（代表教員 永井貴士）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習		SOT721	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古田弥生（看護師）・萩野勝也（作業療法士）				
授業概要						
作業療法士の職域が拡大してきているため、これまでの講義で学んだ知識を基盤とし、医療領域における作業療法の実践について実践者から学ぶことで、これから必要とされる作業療法について考える。また、喀痰などの吸引において、一連の手順を身につけられるよう実技を通して学ぶ。講義では、グループワークを中心として行い、演習形式で学習を勧めていく。						
学修の到達目標						
①作業療法の臨床場面で求められる技術や知識を理解することができる。 ②求められる知識と技術を実際に遂行することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法の臨床の実際について	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書(2)を読んでおくこと(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
2	作業療法の臨床場面での理論の活用	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書(2)を読んでおくこと(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
3	作業療法の臨床場面での理論の活用②	①	永井	講義 演習	予定している内容を指定教科書(2)を読んでおくこと(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
4	自動車運転の作業療法	①	萩野	講義	事前に提示した課題(120分)	授業で行った内容を復習しておくこと(120分)
5	自動車運転の作業療法②	① ②	萩野	講義 演習	事前に提示した課題(120分)	講義内で提示した課題(120分)
6	喀痰吸引のための知識	①	古田	講義	呼吸器の解剖生理の復習(120分)	喀痰吸引の留意事項について講義資料を基に復習する(120分)
7	喀痰吸引のための知識	①	古田	講義	肺炎・誤嚥性肺炎について学習する(120分)	喀痰吸引の手順について講義資料を基に復習する(120分)
8	喀痰吸引の実践	②	古田	演習	喀痰吸引の手順と留意事項について授業資料を基に学習する(120分)	喀痰吸引演習実施後のレポート課題を実施する(120分)
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
<p>課題およびグループ活動への取組状況、課題への取組状況を加味して評定する。 レポート課題提出（授業で作成した全てのシートをグループ毎に1セットで提出）により80%、受講態度（グループワークへの参加姿勢）20%の合計で算定する。</p>	
使用教科書	
<p>5W1Hでわかりやすく学べる作業療法理論の教科書 / 小川真寛・他--メジカルビュー社, 978-4758320290</p>	
参考図書	
<p></p>	
<p>課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法</p>	<p>レポート課題提出後、1週間以内に個別フィードバックを行う。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p>身体障害病院や施設で実際に行われている介入方法について、理論的手法の具体例や、自動車運転を教習所との連携について、喀痰吸引の方法について実践に基づいて授業を行う。</p>
<p>備考</p>	<p>卒業後に、実践的な技術を獲得できるよう準備を各自で行ってください。</p>

授業科目名		担当教員				
作業療法特論Ⅱ		加藤清人・永井貴士・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習		SOT822	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
<p>作業療法士の職域が拡大してきているため、これまでの講義で学んだ知識を基盤とし、保健や福祉領域における作業療法の実践について実践者から学ぶことで、これから必要とされる作業療法について考える。 講義では、グループワークを中心として行い、演習形式で学習を勧めていく。</p>						
学修の到達目標						
<p>①作業療法の臨床場面で求められる技術や知識を理解することができる。 ②新しく求められる作業療法の分野に対し、法律や実務などの知識を学び臨床に役立てることができる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法分野における管理（1）	①	古松山	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
2	作業療法分野における管理（2）	①	古松山	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
3	作業療法分野における管理（3）	①	古松山	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
4	就労支援	①	永井	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
5	社会保障・生活行為向上マネジメント	① ②	加藤	演習	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
6	地域分野における作業療法（地域包括ケア・訪問作業療法）	① ②	加藤	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
7	地域分野における作業療法実践（1）	① ②	加藤	講義 演習	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
8	地域分野における作業療法実践（2）	① ②	加藤	演習	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
<p>課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。 レポート課題提出（授業で作成した全てのシートをグループ毎に1セットで提出）により80%、受講態度（グループワークへの参加姿勢）20%の合計で算定する。</p>	
使用教科書	
<p></p>	
参考図書	
<p>随時、参考資料を配布する。</p>	
<p>課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法</p>	<p>レポート課題提出後、1週間以内に個別フィードバックを行う。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p>病院や施設における職務経験が10年以上ある教員が、それぞれの分野で求められる作業療法士の視点について紹介し、作業療法の知識が身に付けられるよう授業を展開していく。</p>
<p>備考</p>	<p></p>

授業科目名		担当教員				
作業療法学総合演習Ⅰ（基礎）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾・早矢仕充寿（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		SOT723	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・早矢仕充寿（理学療法士）				
授業概要						
作業療法の実践に関わる分野について、基礎となる医学的な知識を確認しつつ、それらを実践に活用するために、評価技術や治療技術の修得をする。病院（施設）から在宅まで作業療法の範囲が広がるなか、臨床現場で取り組まれている各疾患のリハビリテーション支援など作業療法の実践を学び知識・技術を深めていく。						
学修の到達目標						
①専門職に必要な基礎医学や臨床医学について説明できる。 ②専門職に必要な作業療法における評価や治療について知識・技術を習得できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法分野に必要とされる基礎知識（1）	①	加藤	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	作業療法分野に必要とされる基礎知識（2）	①	加藤	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	精神科領域における作業療法の実際（1）	①	世良	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	精神科領域における作業療法の実際（2）	①	世良	演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	作業療法分野に必要とされる内部疾患の理解	②	加藤・他	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	作業療法分野に必要とされる中枢神経疾患の理解	②	加藤他	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	作業療法分野に必要とされる骨関節疾患の理解	②	加藤・他	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	作業療法分野に必要とされる老年期疾患の理解	②	加藤・他	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	作業療法分野に必要とされる発達障害に関する理解	②	加藤・他	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	作業療法分野に必要とされるリハビリテーション医学の理解	②	加藤・他	講義 演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
11	神経筋疾患に対するリハビリテーション(1)	②	早矢仕	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
12	神経筋疾患に対するリハビリテーション(2)	②	早矢仕	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
13	作業療法分野に必要とされる精神疾患の理解(1)	②	加藤・他	講義 演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
14	作業療法分野に必要とされる精神疾患の理解(2)	②	加藤・他	講義 演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
15	地域作業療法領域における作業療法の実際	②	加藤・他	講義	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
	課題					
評価基準・評価方法						
課題(90%)、受講態度(10%)を総合的に評価する。						
使用教科書						
からだが見える 人体の構造と機能 第1版 / メディックメディア, 2023年, 978-4-89632-896-7						
参考図書						
必要に応じて資料を配付する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	各担当教員の講義終了時に全体に向けてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	病院や施設における職務経験が10年以上ある教員が、それぞれの分野で求められる作業療法士の視点について紹介し、作業療法の知識が身に付けられるよう授業を展開していく。					
備考	主体的に取り組むこと。グループワークでは、学生間の活発な討論を期待する。					

授業科目名		担当教員				
作業療法学総合演習Ⅱ（専門）		世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・川本 徹・石井文康（代表教員 世良龍哉）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習		SOT824	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・川本徹（作業療法士）・石井文康（作業療法士）				
授業概要						
作業療法の実践に関わる専門的知識を網羅し、それらを実践応用するまでの流れを習得する。学生個々が情報の収集、選択、統合を能動的に行うことで、基本的知識・技術を深めていく。演習では、グループワークを活用し、シェア学習にて理解を深めていく。						
学修の到達目標						
①専門職に必要な基礎医学や臨床医学について説明できる。 ②専門職に必要な作業療法分野における知識について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	精神科作業療法①	①	世良	講義 演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
2	精神科作業療法②	①	世良	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
3	精神科作業療法③	①	世良	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
4	作業療法の理論①	②	永井	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
5	作業療法の理論②	②	永井	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
6	上肢の運動器疾患に対する作業療法①	①	川本	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
7	下肢・体幹の運動器疾患に対する作業療法②	①	川本	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
8	リハビリテーション栄養	①	浅野	講義	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
9	義肢装具	②	竹中	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	義肢装具	②	竹中	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
11	義肢装具	②	竹中	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
12	発達障害児の作業療法①	①	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
13	発達障害児の作業療法②	②	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
14	統合失調症患者の作業療法	①	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
15	うつ病患者の作業療法	②	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく(30分)	授業で行った内容を復習しておくこと(30分)
	課題					
評価基準・評価方法						
受講態度(20%)、課題(80%)を総合的に評価する。						
使用教科書						
クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説2025共通問題 / メディックメディア, 2024年, 978-4-89632-940-7 クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説2025専門問題 / メディックメディア, 2024年, 「読める! 解ける! OT国試「実地問題」読解力トレーニング / 医歯薬出版, 978-4-263-26649-6						
参考図書						
適時必要に応じて資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	グループごとに個々の学生へフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域や精神障害領域、発達障害領域などで様々な対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識や実践的な知識の習得ができるよう授業を展開をしていく。					
備考	主体的に取り組むこと。グループワークでは、学生間の活発な討論を期待する。					

授業科目名		担当教員				
地域作業療法学Ⅰ（制度・支援・連携）		永井貴士・加藤清人（代表教員 永井貴士）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		SC0401	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）、加藤清人（作業療法士）				
授業概要						
<p>作業療法士の対象者である患者が社会で生活するために、どのような支援を行うのかを、日本作業療法士協会が推進する「生活行為向上マネジメント（MTDLP）」を用いて学習する。講義では、グループワークを中心として行い、演習形式で学習を勧めていく。</p> <p>わが国では地域包括ケアシステムの構築が本格化してきている。講義では、社会保障の概要や地域生活者としての視点、各事業所の特徴や作業療法士のかかわりについて学習する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①「生活行為向上マネジメント（MTDLP）」を用いて、対象者を評価できる。</p> <p>②目標設定を通して関わり方を考えることができる。</p> <p>③地域作業療法を支える社会資源とその活用方法について説明できる。</p> <p>④地域作業療法にかかわる関連法規・制度について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	日本作業療法士協会のねらいと、現在の日本の状況について	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	生活行為向上マネジメントとは	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	生活行為聞き取りシートの作成	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	興味・関心チェックシートの作成	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	生活行為向上アセスメント演習シートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	生活行為向上プラン演習シートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	生活行為向上マネジメントシートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	生活行為向上マネジメント 生活行為課題分析シートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	生活行為向上マネジメント 医療への生活行為申し送り表の作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	生活行為向上マネジメントシートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと (30分)	授業で行った内容を復習しておくこと (30分)
11	地域で求められる作業療法	③	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと (30分)	提示した課題についてまとめる (30分)
12	地域作業療法に必要な知識	③	加藤	演習	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと (30分)	提示した課題についてまとめる (30分)
13	作業療法士がかかわる関連法規・制度①	③ ④	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと (30分)	提示した課題についてまとめる (30分)
14	作業療法士がかかわる関連法規・制度②	③ ④	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと (30分)	提示した課題についてまとめる (30分)
15	地域における各事業所の特徴と作業療法の役割	③ ④	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと (30分)	提示した課題についてまとめる (30分)
	レポート課題					
評価基準・評価方法						
<p>課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。 レポート課題提出（授業で作成した全てのシートをグループ毎に1セットで提出）により50%、第11～15講は小テスト30%、受講態度（グループワークへの参加姿勢、課題の取組状況）20%の合計で算定する。</p>						
使用教科書						
<p>事例で学ぶ生活行為向上マネジメント第2版 / 日本作業療法士協会--医歯薬出版株式会社, 2021年, 978-4-263-26634-2 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法学 / 徳永千尋/田村孝司--メジカルビュー社, 2023年, 978-4-7583-2049-8</p>						
参考図書						
必要に応じて、資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポート課題提出後、1週間以内に個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	地域福祉領域で10年以上の経験がある教員が、人を包括的に捉えることの視点と関わり方について福祉現場で取り入れられている評価手法で学ぶ。					
備考	卒業後、実践場面において必要であると日本作業療法士協会が提唱している技能である生活行為向上マネジメントが用いられるような能力を身につけられるよう取り組むこと。					

授業科目名		担当教員				
地域作業療法学Ⅱ（実践・就労支援）		加藤清人・永井貴士・竹田徳則・塩崎章嘉（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義	SC0702		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹田徳則（作業療法士）・塩崎章嘉（作業療法士）				
授業概要						
<p>地域作業療法学Ⅱでは、通所施設や福祉施設、行政など地域で取り組まれている作業療法に対する理解を深める。また、就労支援をしていくために、職業や職業リハビリテーションの概略を学び、そのなかで作業療法の役割を考える。障害者の就労について理解を深める。この講義ではアクティブラーニングとして各グループごとにテーマを抽出し、グループワーク、ディスカッションを通して概要を整理し、ICTを活用しながら学生間で共有することで理解を深める。</p>						
学修の到達目標						
<p>①通所施設における作業療法の役割を説明できる。 ②福祉施設などの地域における作業療法の役割を説明できる。 ③行政や地域住民による介護予防分野に関する作業療法の役割を説明できる。 ④職業リハビリテーションについて説明できる。 ⑤就労支援に対する評価・支援について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	地域作業療法を考える	① ②	加藤	講義	使用テキスト、配布資料に目を通しておく(30分)	講義の要点についてまとめる(30分)
2	通所施設における作業療法の概要	①	加藤	講義	通所施設の種類、対象者、目的について調べる(30分)	通所施設の概要についてまとめる(30分)
3	通所施設における作業療法の実際	①	加藤	講義	通所施設における作業療法の実際について調べる(30分)	通所施設における作業療法の実際についてまとめる(30分)
4	福祉施設における作業療法の概要	②	加藤	講義	特養、老健、介護医療院について調べる(30分)	特養、老健、介護医療院における作業療法の実際をまとめる(30分)
5	認知症高齢者に対する生活支援(1)	③	竹田	講義	アルツハイマー型認知症の典型的、認知機能障害と認知症の行動・心理症状について調べる(30分)	アルツハイマー型認知症、及びその他の認知症疾患で使用される評価についてまとめる(30分)
6	認知症高齢者に対する生活支援(2)	③	竹田	講義	アルツハイマー型認知症者に対する作業療法介入について調べる(30分)	アルツハイマー型認知症者に対する直接的介入及び間接的介入についてまとめる(30分)
7	認知症高齢者に対する生活支援(3)	③	竹田	講義	行政、事業所で行われている作業療法の具体例を調べる(30分)	行政、事業所における作業療法の取り組みについてまとめる(30分)
8	介護予防における作業療法の実際(1)	③	竹田	講義	企業と連携している作業療法の具体例を調べる(30分)	企業での作業療法の取り組みについてまとめる(30分)
9	介護予防における作業療法の実際(2)	③	竹田	講義	該当内容について教科書を読むこと(30分)	講義の要点をまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	介護予防における作業療法の実際（3）	③	竹田	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
11	職業リハビリテーションの実際	④	永井	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
12	就労支援とは	⑤	永井	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
13	就労支援に求められる作業療法の役割を考える	⑤	塩崎	講義	配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
14	就労支援の実際（1）	⑤	塩崎	講義	配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
15	就労支援の実際（2）	⑤	塩崎	講義	配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
	課題					
評価基準・評価方法						
課題（90%）、受講態度（10%）						
使用教科書						
参考図書						
必要に応じて資料を配布する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	各回の講義終了時に全体にむけてフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	福祉施設における職務経験（12年）、行政との協業による職務経験（10年）、一般企業との協業による職務経験（6年）から地域での介護予防活動、作業療法の啓発活動、社会課題解決に資する作業療法が実践できるように授業を展開していく					
備考	質問は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
生活環境・福祉機器学		浅野莉沙・鈴木愁季 (代表教員 浅野莉沙)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	2単位(30時間)	講義・演習	SC0503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野 莉沙 (作業療法士)、鈴木愁季 (作業療法士)				
授業概要						
障がい者の自立・社会参加を促すために、生活環境を物的・人的環境としてトータル的に捉え、調整する必要がある。その人らしい生活を送るためにどのような生活環境や福祉用具が必要かを学び、理解を深める。また、アクティブラーニングとしてグループワークを実践し、ICTを活用してプレゼンテーションを行い理解を深める。						
学修の到達目標						
①住環境整備の基本的な考え方を理解できる ②福祉用具を体験し、その特徴や適応について考えることができる ③住宅改修や福祉用具に関連する制度について説明できる ④生活環境や福祉用具を用いた対象者の暮らしをイメージできる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	住環境整備とは	① ③	浅野	講義	教科書に目を通し、学ぶ内容を大まかに捉える(120分)	住環境整備について作業療法士が担う役割について復習する(120分)
2	介護保険制度における住環境整備①	① ③	浅野	講義	介護保険制度について調べる(120分)	介護保険制度における住環境整備について復習する(120分)
3	住環境整備の基礎知識①	①	浅野	講義	教科書の該当項目を読んで予習する(120分)	教科書の該当箇所、配布プリントを用いて知識を確認する(120分)
4	住環境整備の基礎知識②	①	浅野	講義	教科書の該当項目を読んで予習する(120分)	教科書の該当箇所、配布プリントを用いて知識を確認する(120分)
5	疾患別の生活環境と福祉用具①	① ②	浅野	講義	教科書の該当項目を読んで予習する(120分)	教科書の該当箇所、配布プリントを用いて知識を確認する(120分)
6	疾患別の生活環境と福祉用具②	① ②	浅野	講義	教科書の該当項目を読んで予習する(120分)	教科書の該当箇所、配布プリントを用いて知識を確認する(120分)
7	疾患別の生活環境と福祉用具③	① ②	浅野	講義	教科書の該当項目を読んで予習する(120分)	教科書の該当箇所、配布プリントを用いて知識を確認する(120分)
8	福祉用具の実際(福祉機器展示場の見学)	②	浅野	演習	これまでに学習した内容を復習する(120分)	見学して学んだこと、体験して感じたことをまとめる(120分)
9	福祉用具の実際(福祉機器展示場の見学)	②	浅野	演習	これまでに学習した内容を復習する(120分)	見学して学んだこと、体験して感じたことをまとめる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	対象者に合わせた住環境整備・福祉用具グループワーク①	① ④	浅野	演習	担当する疾患について調べ学習を行う(120分)	担当する疾患について調べ学習を行う(120分)
11	対象者に合わせた住環境整備・福祉用具グループワーク②	① ④	浅野	演習	担当する疾患の事例論文を読む(120分)	担当する症例に必要な自助具を考える(120分)
12	対象者に合わせた住環境整備・福祉用具グループワーク③	① ④	浅野	演習	担当する疾患の事例論文を読む(120分)	担当する症例に必要な自助具を考える(120分)
13	自助具の作成	② ④	浅野	演習	自助具作成に必要な準備を行う(120分)	自分が作成した自助具について、作成方法や注意点をまとめる(120分)
14	住宅改修の事例①	① ④	鈴木	講義	これまでに学習した内容を復習する(120分)	授業で提示された事例について自分の考えをもつ(120分)
15	住宅改修の事例②	① ④	鈴木	講義	これまでに学習した内容を復習する(120分)	授業で提示された事例について自分の考えをもつ(120分)
	定期試験(筆記試験および課題)					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験60%、課題40%にて総合的に判断する ・課題である自助具作成やレポートの評価基準はルーブリックにて提示する(授業内で配布する) 						
使用教科書						
OT・PTのための住環境整備論【第3版】 / 野村 歡、橋本 美芽、植田 瑞昌、西村 顕. 三輪書店, 978-4-89590-731-6 必要に応じて補足資料を配布する						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポートはルーブリック評価表を付けて返却する。					
実務経験をいかした教育内容	総合病院や介護老人保健施設、訪問リハビリテーションでの介入経験を共有しながら授業を展開する。また、自助具や補装具をはじめとした福祉用具についても、可能な限り実物を用いて体験・体感できる機会を設ける。					
備考	質問や相談は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅰ（基礎）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(45時間)	実習	SCT201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
臨床実習Ⅰ（基礎）の学習では、施設・病院での実習を1学生1週間実施する。「基礎演習」「作業療法概論」「作業療法治療技術理論」より学んだ作業療法士の役割、責任、医療人としてのマナーを経験する。それにより、自らの適性について考える。実習終了時には、学内報告会を実施する。						
学修の到達目標						
①作業療法士に必要とされる基本的態度を身につける。 ②作業療法（士）に対する興味・関心、職業意識を高める。 ③臨床における作業療法について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：接遇に関する講義・実技を実施する。	①			1年次後期実施のOSCEについて復習（30分）	修得した接遇を実践できるようまとめる（30分）
2～21	1週間の学外実習を実施。実習施設において実習指導者の監督下において見学・観察を主体とした実習を行う。	① ② ③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から1学生1施設1週間の実習を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には9：00～17：00であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
22	実習施設（領域）の概要と作業療法士の役割、並びに報告会に必要な内容を整理				記録・課題の整理（30分）	報告会の準備・資料の作成（30分）
23	実習施設（領域）の概要と作業療法士の役割の整理	② ③			実習で得た情報の整理（30分）	情報の領域別整理（30分）
24～25	報告会（学内）	② ③			報告会の準備・資料作成（30分）	報告会で得られた情報の整理（30分）
26～27	レポート作成	③			これまでに得られた情報の整理（30分）	レポート作成過程で生じた課題の解決（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
-						
-						
-						
評価基準・評価方法						
臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。						
使用教科書						
1年次に使用したすべてのテキスト 臨床実習要項						
参考図書						
適時必要に応じて資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	臨床実習前・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	実習場面に学生が実際に赴いて臨床現場を経験することを通して、医療人としての心構えを学ぶカリキュラムになる。					
備考	臨床実習Ⅰ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。					

授業科目名		担当教員				
通所／訪問リハ実習		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(45時間)	実習	SCT402		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
通所／訪問リハ実習では、病院及び施設における通所や訪問サービス分野での実習を実施する。ここでは、通所リハビリテーションまたは訪問リハビリテーションの概要を把握し、作業療法士の役割やリハビリテーションマネジメント等について学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①作業療法士に必要とされる基本的態度を身につける。 ②作業療法（士）に対する興味・関心、職業意識を高める。 ③通所サービス分野または訪問サービス分野における作業療法について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：接遇に関する講義・実技を実施	①			臨床実習Ⅰで作成したレポートの確認（30分）	本実習に必要な接遇の整理（30分）
2 ～ 21	通所／訪問リハビリテーション施設における実習	① ② ③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	通所・訪問リハビリテーションの分野について1学生1施設1週間の実習を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8:30～17:30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
	-					
	-					
	-					
	-					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
-						
評価基準・評価方法						
臨床実習の評価表を用いる。担当指導者判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法実習の遂行度（80%）とする。						
使用教科書						
これまでに使用したテキスト 臨床実習要項						
参考図書						
適時必要に応じて資料を配布する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	臨床実習前・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。					
備考	臨床実習の実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。					

授業科目名		担当教員				
通所／訪問リハ実習セミナー		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	SCT403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
通所／訪問実習で得た体験、知識、技術を整理する。また学生相互に情報を共有、討議することで地域のなかでどのような実践が行われているのか理解を深めることを目的とする。						
学修の到達目標						
①通所または訪問サービス分野における施設の概要について説明することができる。 ②様々な職種の中なかで、作業療法士の役割が説明できる。 ③臨床で必要とされる基礎医学について整理し、現場と関連づけて説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	1週間で得られた施設ならびに作業療法士の活動をまとめた整理する。	① ② ③	全員	演習	検討資料作成(30分)	検討資料作成(30分)
2	セミナー発表と討論(1)	① ②	全員	演習	検討資料作成(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
3	セミナー発表と討論(2)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
4	セミナー発表と討論(3)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
5	セミナー発表と討論(4)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
6	実習課題の抽出と対策(1)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	抽出した課題の対策案の作成(30分)
7	実習課題の抽出と対策(2)	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成(30分)	対策案の実施と見直し(30分)
8	実習課題の抽出と対策(3)	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成(30分)	対策案の実施と見直し(30分)
9	臨床実習で必要とされた技術学習(1)	① ②	全員	演習	実習で必要であった技術の整理(30分)	遂行上課題があった技術の見直し(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	臨床実習で必要とされた技術学習（2）	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し（30分）	遂行上課題があった技術の見直し（30分）
11	基礎医学における知識と技術の整理（1）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）
12	基礎医学における知識と技術の整理（2）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）
13	基礎医学における知識と技術の整理（3）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）
14	基礎医学の統合学習（1）	① ② ③	全員	演習	実習上関わった症例の見直し（30分）	フィードバックで得た課題の改善（30分）
15	基礎医学の統合学習（2）	① ② ③	全員	演習	実習上関わった症例の見直し（30分）	フィードバックで得た課題の改善（30分）
	セミナー発表・レポート課題					
評価基準・評価方法						
課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。						
使用教科書						
「臨床実習要項」、実習に関連のあるテキスト。						
参考図書						
適時必要に応じて資料を配布する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう授業を展開をしていく。					
備考	学生間の活発な討論を期待する。質問は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
評価実習前セミナー		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	SCT504		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)・世良龍哉(作業療法士)・永井貴士(作業療法士)・竹中孝博(作業療法士)・浅野莉沙(作業療法士)・古松山建吾(作業療法士)				
授業概要						
評価実習前セミナーでは、臨床実習の準備段階として臨床実習に対応できる評価技術、知識の再確認を行う。学生は、模擬ケースを通して作業療法評価の流れを確認しながら知識・技術を経験する。また、プレゼンテーション資料の作成では、症例に対する情報収集、作業療法評価、作業療法計画までの過程を整理し、症例の全体像を把握する。グループワークを活用し、学生間の意見交換の場を通して、理解を深める。						
学修の到達目標						
①臨床実習にむけて基本的態度を身につけ意欲的に取り組むことができる。 ②臨床実習に対応できる評価技術を修得することができる。 ③症例(模擬症例)を担当し、作業療法評価を一通りまとめることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	Advanced OSCEオリエンテーション(授業計画、実習で求められる基本的態度)	① ② ③	全員	演習	事前に提示する資料の確認(30分)	オリエンテーション内で提示する課題(30分)
2	Advanced OSCE 評価計画	① ② ③	全員	演習	オリエンテーション内で提示する課題(30分)	評価計画の完成(30分)
3	Advanced OSCE 実施(1)	① ② ③	全員	演習	評価計画の完成(30分)	実施により見いだされた改善点への対応(30分)
4	Advanced OSCE 実施(2)	① ② ③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応(30分)	実施により見いだされた改善点への対応(30分)
5	Advanced OSCE 実施(3)	① ② ③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応(30分)	実施により見いだされた改善点への対応(30分)
6	Advanced OSCE 実施(4)	① ② ③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応(30分)	実施により見いだされた改善点への対応(30分)
7	Advanced OSCE 実施(5)	① ② ③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応(30分)	実施により見いだされた改善点への対応(30分)
8	Advanced OSCE 実施(6)	① ② ③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応(30分)	実施により見いだされた改善点への対応(30分)
9	Advanced OSCE ビデオフィードバック	① ② ③	全員	演習	実施動画の確認と生理(30分)	FB内容の整理と改善策の立案(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成(1)	① ② ③	全員	演習	資料作成の材料の整理(30分)	資料作成(30分)
11	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成(2)	① ② ③	全員	演習	資料作成(30分)	資料作成(30分)
12	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成(3)	① ② ③	全員	演習	資料作成(30分)	資料作成(30分)
13	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成(4)	① ② ③	全員	演習	資料作成(30分)	資料作成(30分)
14	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成(5)	① ② ③	全員	演習	資料作成(30分)	資料作成(30分)
15	プレゼンテーション発表	① ② ③	全員	演習	資料作成(30分)	課題の整理(30分)
	実習に向けた課題の整理					
評価基準・評価方法						
受講態度(10%)、OSCE(60%)、ケースノート・発表(30%)を総合的に評価する。						
使用教科書						
これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項 OSCEに関する配布資料						
参考図書						
適時必要な資料は配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	グループごとに個々に対してフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術の習得や作業療法プロセスを学べるよう授業を展開をしていく。					
備考	臨床実習を想定して実施するため、学内ではあるが臨床実習で求められる基本的態度・マナーを心がけること。OSCE実施においては、実習に望ましい容姿・態度・服装(ケーシー服)にて臨むこと。実習は個々の臨床能力が要求されるため、主体的に取り組むこと、他学生と協力することを心がけること。担当教員の指示に従い、課題を進めること。					

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅱ（評価）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	4単位(180時間)	実習	SCT505		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
臨床実習Ⅱ（評価）の学習では、臨床実習指導者の指導のもと、基本的な評価方法を修得する。具体的には各検査の実施、検査結果を解釈し、問題点の抽出、ゴール立案までの流れを実践する。また、適切な記録、指導者への報告・連絡・相談といった作業療法士として必要な資質（態度）を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法士としての基本的態度を身につける。 2. 対象者と良好な関係を築くことができる。 3. 作業療法評価の一連の流れを実践することができる。 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：接遇に関する講義・実技並びに実習で取り組む課題の確認	①			これまでの実習記録の確認（30分）	実習課題の整理（30分）
2 ～ 81	4週間（1月～3月の期間）の学外実習を実施する。	① ② ③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	4週間（1月～3月の期間）の学外実習を実施する。					
	2年次までに必要な科目を修得した学生が、身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から1学生1施設4週間の実習を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8：30～17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
	-					
	-					
評価基準・評価方法						

<p>臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。</p>	
<p>使用教科書</p>	
<p>これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項</p>	
<p>参考図書</p>	
<p>適時必要に応じて資料を配布する。</p>	
<p>課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法</p>	<p>臨床実習前・中・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p>臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。</p>
<p>備考</p>	<p>臨床実習Ⅱ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。 実習では実習着（ケーシー服）を着用する。</p>

授業科目名		担当教員				
作業療法総合セミナーⅠ（評価）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	SCT506		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
「臨床実習Ⅱ」の体験から得た知識や技術を整理し、確認を行う。また、実習で担当した症例発表を行うなかで学生相互間による討議を重ねることで情報を共有すること、より質の高い介入ができるよう考えること、について学習を深めていく。他学生の情報は、自身が体験していない内容を補うことにも繋がり臨床領域の奥深さなどについても学習する。また、臨床で必要とされる基礎医学に対する知識や技術の習得をめざし、その確認を行う。						
学修の到達目標						
①臨床の場で実施した作業療法技術を再確認し、作業療法プロセスを適切にまとめ報告・質疑に答えることができる。 ②作業療法的見地をもって質問および説明をすることができる。 ③臨床で必要とされた基礎医学について整理し、理解を深めることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	4週間の作業療法プロセスをまとめたパワーポイントよりセミナーでの検討資料を作成する。	①	全員	演習	検討資料作成（30分）	検討資料作成（30分）
2	OSCE（1）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（30分）	実習で得た知識・技術の整理（30分）
3	OSCE（2）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（30分）	実習で得た知識・技術の整理（30分）
4	OSCE（3）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（30分）	実習で得た知識・技術の整理（30分）
5	OSCE（4）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（30分）	実習で得た知識・技術の整理（30分）
6	セミナー発表と討論（1）	① ②	全員	演習	検討資料作成（30分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）
7	セミナー発表と討論（2）	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）
8	セミナー発表と討論（3）	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）
9	セミナー発表と討論（4）	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実習課題の抽出と対策（1）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（30分）	対策案の実施と見直し（30分）
11	実習課題の抽出と対策（2）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（30分）	対策案の実施と見直し（30分）
12	臨床実習で必要とされた技術学習	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し（30分）	遂行上課題があった技術の見直し（30分）
13	基礎医学における知識と技術の整理（1）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）
14	基礎医学における知識と技術の整理（2）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（30分）
15	基礎医学の統合学習	③	全員	演習	実習症例の見直し（30分）	フィードバックで得た課題の改善（30分）
	セミナー発表・レポート課題					
評価基準・評価方法						
課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。						
使用教科書						
「臨床実習要項」、実習に関連のあるテキスト。						
参考図書						
適時必要に応じて配布する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術や実践的な知識・技術の習得ができるよう授業を展開をしていく。					
備考	学生間の活発な討議を期待する。質問は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅲ（総合前期）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	8単位(360時間)	実習	SCT707		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
臨床実習Ⅲ（総合前期）の学習では、これまでに学んだ基本的な評価方法を用い、作業療法計画立案、さまざまな医療現場の活動参加を実践する。また、必要に応じ作業療法計画の変更、他部門からの情報収集、記録・報告、医療従事者としての適切な人間関係の構築などより実践的な内容を臨床実習指導者のもとで学ぶ。						
学修の到達目標						
①対象者ならびに施設スタッフとの良好な人間関係を築くことができる。 ②作業療法評価・アプローチを一通り実践することができる。 ③施設の管理・運営について考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：実習の目的、手順、心得、マナー、感染予防、個人情報保護などの確認、実習に必要な実技練習				過去の実習記録の確認（30分）	課題の整理（30分）
2 ～ 16 1	8週間（5月～7月の期間）の学外実習				予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	臨床実習Ⅱを修得した学生が、身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から1学生1施設8週間の実習を行う。					
	具体的には、1学生1～2名の症例を担当し、担当症例に関する情報収集、作業療法評価の実施、課題の抽出、実習指導者の指導を仰ぎながら作業療法治療計画の立案、実施を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8：30～17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席は、実習すべき全日数の出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
16 2 ～ 16 5	実習報告会：学生間の報告と意見交換を実施。レジュメを作成し発表を行う。	③			実習報告階の準備・資料作成（30分）	得られた知見・情報の整理（30分）
-						
-						

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
-						
-						
-						
-						
評価基準・評価方法						
臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。						
使用教科書						
これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項						
参考図書						
適時必要に応じて資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	臨床実習前・中・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。					
備考	臨床実習Ⅲ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。 実習では実習着（ケシー服）を着用する。					

授業科目名		担当教員				
作業療法総合セミナーⅡ（評価と介入①）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	演習	SCT708		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
<p>「臨床実習Ⅲ」の体験から得た知識や技術を整理し確認を行う。また、実習で担当した症例発表を行うなかで学生相互間による討議を重ねることで情報を共有すること、より質の高い介入ができるよう考えること、について学習を深めていく。他学生の情報は、自身が体験していない内容を補うことにも繋がり臨床領域の奥深さなどについても学習する。また、臨床で必要とされる専門分野に対する知識を深め、かつ技術の習得をめざし、それを確認をしていく。</p>						
学修の到達目標						
<p>①臨床の場で実施した作業療法技術を再確認し、作業療法プロセスを適切にまとめ報告・質疑に答えることができる。 ②作業療法的見地をもって質問および説明をすることができる。 ③臨床で必要とされた専門分野について整理し、理解を深めることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	8週間の作業療法プロセスをまとめたレポートよりセミナーでの検討資料を作成する。	①	全員	演習	検討資料作成(30分)	検討資料作成(30分)
2	OSCE(1)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
3	OSCE(2)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
4	OSCE(3)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
5	OSCE(4)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
6	セミナー発表と討論(1)	① ②	全員	演習	検討資料作成(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
7	セミナー発表と討論(2)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
8	セミナー発表と討論(3)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
9	セミナー発表と討論(4)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実習課題の抽出と対策 (1)	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成 (30分)	対策案の実施と見直し (30分)
11	実習課題の抽出と対策 (2)	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成 (30分)	対策案の実施と見直し (30分)
12	臨床実習で必要とされた技術学習	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し (30分)	遂行上課題があった技術の見直し (30分)
13	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理 (1)	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理 (30分)	実習で得た知識・技術の整理 (30分)
14	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理 (2)	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理 (30分)	実習で得た知識・技術の整理 (30分)
15	専門基礎分野・専門分野の統合学習	③	全員	演習	実習症例の見直し (30分)	フィードバックで得た課題の改善 (30分)
	セミナー発表・レポート課題					
評価基準・評価方法						
課題 (90%)、受講態度 (10%) を総合的に評価する。						
使用教科書						
「臨床実習要項」、実習に関連のあるテキスト。						
参考図書						
適時必要に応じて配布する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術や実践的な知識・技術の習得ができるよう授業を展開をしていく。					
備考	学生間の活発な討議を期待する。質問は随時受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅳ（総合後期）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	8単位(360時間)	実習	SCT810		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
臨床実習Ⅳ（総合後期）の学習では、病院・施設においてゴール設定までの作業療法評価に加え、臨床実習指導者による指導のもと作業療法計画の作成とさまざまな医療現場の活動に参加する。また、これまでに学んだ臨床的な思考過程を更に発展させる。						
学修の到達目標						
①対象者ならびに施設スタッフとの良好な人間関係を築くことができる。 ②作業療法評価・アプローチを実践することができる。 ③施設の管理・運営について考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：実習の目的、手順、心得、マナー、感染予防、個人情報保護などの確認、実習に必要な実技練習	①			過去の実習記録の確認（30分）	得られた課題の整理（30分）
2 ～ 16 1	8週間（10月～12月の期間）の学外実習	① ② ③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	臨床実習Ⅱを修得した学生が、身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から1学生1施設8週間の実習を行う。					
	具体的な内容として、1学生1～2名の症例を担当する。担当症例に関する情報収集、作業療法評価の実施、課題の抽出、実習指導者の指導を仰ぎながら作業療法治療計画の立案、実施を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8：30～17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
	-					
	-					
	-					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
-						
-						
-						
評価基準・評価方法						
臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。						
使用教科書						
これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項						
参考図書						
適時必要に応じて資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	臨床実習前・中・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。					
備考	臨床実習Ⅳ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。					

授業科目名		担当教員				
作業療法総合セミナーⅢ（評価と介入②）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・古松山建吾（代表教員 加藤清人）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	演習	SCT810		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)作業ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古松山建吾（作業療法士）				
授業概要						
<p>「臨床実習Ⅲ」の体験から得た知識や技術を整理し確認を行う。また、実習で担当した症例発表を行うなかで学生相互間による討議を重ねることで情報を共有すること、より質の高い介入ができるよう考えること、について学習を深めていく。他学生の情報は、自身が体験していない内容を補うことにも繋がり臨床領域の奥深さなどについても学習する。また、臨床で必要とされる専門分野に対する知識を深め、かつ技術の習得をめざし、それを確認をしていく。</p>						
学修の到達目標						
<p>①臨床の場で実施した作業療法技術を再確認し、作業療法プロセスを適切にまとめ報告・質疑に答えることができる。 ②作業療法的見地をもって質問および説明をすることができる。 ③臨床で必要とされた専門分野について整理し、理解を深めることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	8週間の作業療法プロセスをまとめたレポートよりセミナーでの検討資料を作成する。	①	全員	演習	検討資料作成(30分)	検討資料作成(30分)
2	OSCE(1)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
3	OSCE(2)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
4	OSCE(3)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
5	OSCE(4)	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理(30分)	実習で得た知識・技術の整理(30分)
6	セミナー発表と討論(1)	① ②	全員	演習	検討資料作成(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
7	セミナー発表と討論(2)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
8	セミナー発表と討論(3)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)
9	セミナー発表と討論(4)	① ②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実習課題の抽出と対策 (1)	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成 (30分)	対策案の実施と見直し (30分)
11	実習課題の抽出と対策 (2)	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成 (30分)	対策案の実施と見直し (30分)
12	臨床実習で必要とされた技術学習	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し (30分)	遂行上課題があった技術の見直し (30分)
13	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理 (1)	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理 (30分)	実習で得た知識・技術の整理 (30分)
14	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理 (2)	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理 (30分)	実習で得た知識・技術の整理 (30分)
15	専門基礎分野・専門分野の統合学習	③	全員	演習	実習症例の見直し (30分)	フィードバックで得た課題の改善 (30分)
	セミナー発表・レポート課題					
評価基準・評価方法						
課題 (90%)、受講態度 (10%) を総合的に評価する。						
使用教科書						
「臨床実習要項」、実習に関連のあるテキスト。						
参考図書						
適時必要に応じて配布する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術や実践的な知識・技術の習得ができるよう授業を展開をしていく。					
備考	学生間の活発な討議を期待する。質問は随時受け付ける。					

リハビリテーション学科作業療法専攻 授業担当者索引

…あ行…

浅野 莉沙	作業療法専攻講師
東 華岳	理学療法専攻特任教授
安藤 彰浩	非常勤講師
石井 文康	非常勤講師
石田 啓子	非常勤講師
石田 裕保	理学療法専攻准教授
石原 魁介	非常勤講師
伊原 亮司	非常勤講師
大塚 智裕	非常勤講師
大野 陽哉	非常勤講師
大場 かおり	理学療法専攻准教授
大森 周太郎	非常勤講師
大藪 千穂	非常勤講師

…か行…

片桐 正博	非常勤講師
加藤 清人	作業療法専攻教授
川本 徹	非常勤講師
岸田 敏彦	非常勤講師
木村 暁夫	非常勤講師
久納 健太	非常勤講師
久保 和弘	非常勤講師
後藤 誠一	非常勤講師
古松山 建吾	作業療法専攻准教授

…さ行…

酒井 四季子	非常勤講師
坂田 崇好	非常勤講師
佐竹 裕孝	非常勤講師
佐藤 篤史	非常勤講師
塩崎 章嘉	非常勤講師
下郷 雅也	非常勤講師
下畑 享良	非常勤講師
代田 英里奈	非常勤講師
杉原 拓也	非常勤講師
鈴木 愁季	非常勤講師
世良 龍哉	作業療法専攻教授
曾田 直樹	理学療法専攻教授

…た行…

高田 信幸	非常勤講師
田口 正芳	非常勤講師
竹内 章郎	非常勤講師
竹腰 顕	非常勤講師
竹田 徳則	作業療法専攻特任教授
竹中 孝博	作業療法専攻准教授
多田 晃司	非常勤講師
立川 真也	非常勤講師
建石 光貴	非常勤講師
立岩 慧士	非常勤講師
谷口 泰弘	非常勤講師

辻 圭一	理学療法専攻教授
出口 睦雄	看護学科講師
寺本 佳津明	非常勤講師

…な行…

永井 貴士	作業療法専攻教授
中嶋 淳士	非常勤講師
中村 琢	非常勤講師
西本 裕	非常勤講師
野川 淳平	非常勤講師

…は行…

萩野 勝也	非常勤講師
早川 佳穂	非常勤講師
林 久人	非常勤講師
林 将大	非常勤講師
早矢仕 充寿	非常勤講師
林 宗典	看護学科講師
平野 智久	理事長
福岡 大輔	非常勤講師
藤崎 和彦	非常勤講師
藤橋 雄一郎	理学療法専攻准教授
武内 康雄	学長
古田 弥生	看護学科准教授
堀 信宏	理学療法専攻教授
堀 義治	非常勤講師
堀田 亮	非常勤講師

…ま行…

益川 浩一	非常勤講師
益川 優子	非常勤講師
松井 永子	非常勤講師
三品 弘司	看護学科教授
宮地 幸雄	非常勤講師
ミハト・セイト・エルト	非常勤講師
三輪 陽子	看護学科講師
武藤 吉徳	非常勤講師
森 泰子	非常勤講師

…や行…

山田 宏尚	非常勤講師
山田 恵	非常勤講師
山原 直紀	非常勤講師
山本 眞由美	非常勤講師
吉倉 延亮	非常勤講師